Panasonic

取扱説明書

デジタルカメラ/
レンズキット / ダブルズームレンズキット / ボディ

品番 DMC-G3K/DMC-G3W
DMC-G3

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（167～172ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

HDMI

保証書別添付

VQT3N39

安全上のご注意
はじめに
準備
基本
撮影
再生・編集
他の機器との接続
その他 Q&A

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
（167～172ページ）

再生・編集

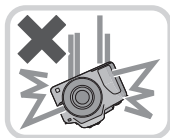
他の機器との接続

その他・Q & A

目的別かんたんもくじ

● レンズ交換で表現の幅を広げたい → 交換レンズについて詳しくは、カタログ / ホームページなどをご覧ください

ご使用の前に

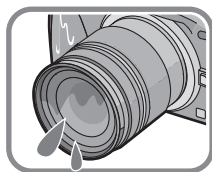
■ 本機の取り扱いについて…

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
  また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
  ・本機を落とす、またはぶつける
  ・レンズ部や液晶モニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。
ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンのすき間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
  ・砂やほこりの多いところ
  ・雨の日や浜辺など水がかかるところ

デジタルカメラボディのマウント内に手を入れないでください。センサー部は精密機器ですので故障、破損の原因になります。

■ つゆつきについて(レンズやファインダー、液晶モニターがくもるとき)…

- つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズや液晶モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- つゆつきが起こった場合、電源スイッチを [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ 「使用上のお願い」も、あわせてお読みください(P157)

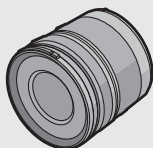
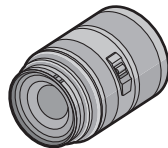
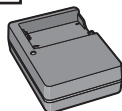
同梱品

デジタルカメラボディ
（本文中では**本体**と表記します）

付属品をご確認ください。

記載の品番は2011年6月現在のものです。変更されることがあります。

DMC-G3W（ダブルズームレンズキット商品）に付属

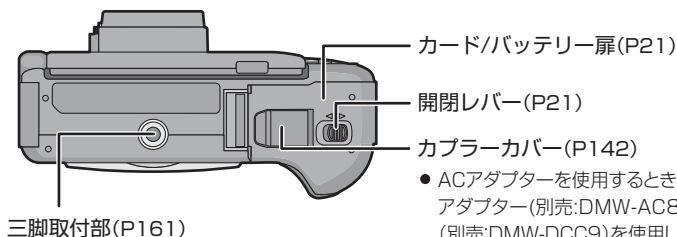
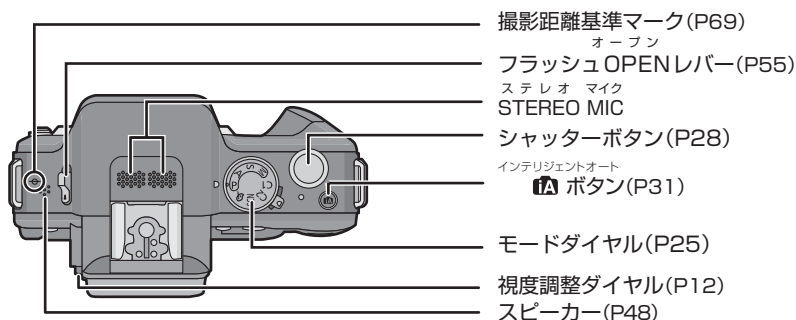
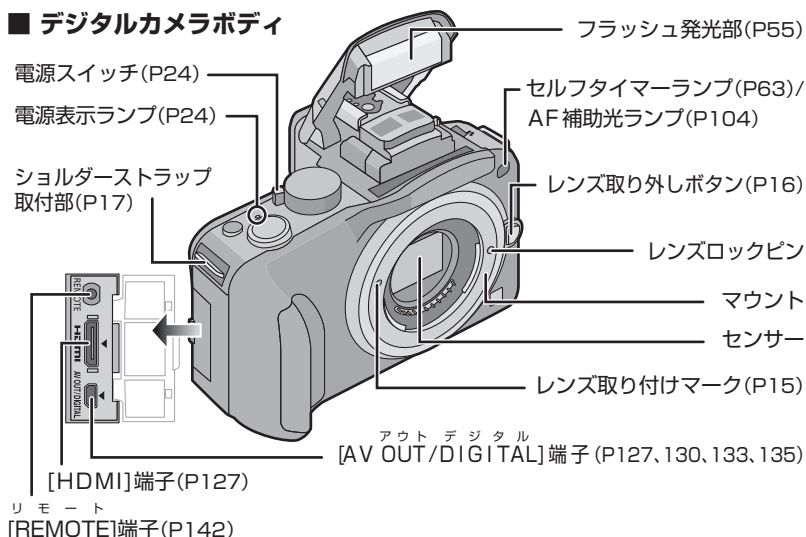
DMC-G3K（レンズキット商品）に付属

- □ **交換レンズ**（H-FS014042）
  LUMIX G VARIO 14–42 mm/
  F3.5–5.6 ASPH./MEGA O.I.S.
  （本文中では**レンズ**と表記します）
- □ **レンズフード**
  VYC1009
- □ **レンズキャップ**
  VYF3201
  （お買い上げ時は交換レンズに装着されています）
- □ **レンズリアキャップ**
  VFC4315
  （お買い上げ時は交換レンズに装着されています）

- □ **交換レンズ**（H-FS045200）
  LUMIX G VARIO 45–200 mm/
  F4.0–5.6/MEGA O.I.S.
  （本文中では**レンズ**と表記します）
- □ **レンズフード**
  VYC0986
- □ **レンズキャップ**
  VYF3201
  （お買い上げ時は交換レンズに装着されています）
- □ **レンズリアキャップ**
  VFC4315
  （お買い上げ時は交換レンズに装着されています）

同梱品（つづき）

バッテリーパック DMW-BLD10 （本文中では**バッテリー**と表記します）●充電してからお使いください。	**AVケーブル** K1HY08YY0016
バッテリーチャージャー※ DE-A93A （本文中では**チャージャー**と表記します）	**USB 接続ケーブル** K1HY08YY0015
ボディキャップ VKF4385 （お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています）	**ショルダーストラップ** VFC4634
CD-ROM ●パソコンにソフトウェアをインストールしてお使いください。	**タッチペン** VGQ0C14

※ 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー（DMW-BTC7）をお買い求めください。

- **カードは別売です。**
- 別売品については139ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本書では交換レンズ（H-FS014042）を用いて説明をしています。
- 付属品をなくされたときは、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口（P174～176）にお問い合わせください。

各部の名前と働き

■ デジタルカメラボディ

● ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC8)とDCカプラー(別売:DMW-DCC9)を使用してください。

各部の名前と働き（つづき）

[LVF/LCD]ボタン(P12)

アイカップ(P158)

ホットシュー(P140)

再生ボタン(P38、41)

動画ボタン(P36)

後ダイヤル(P13)

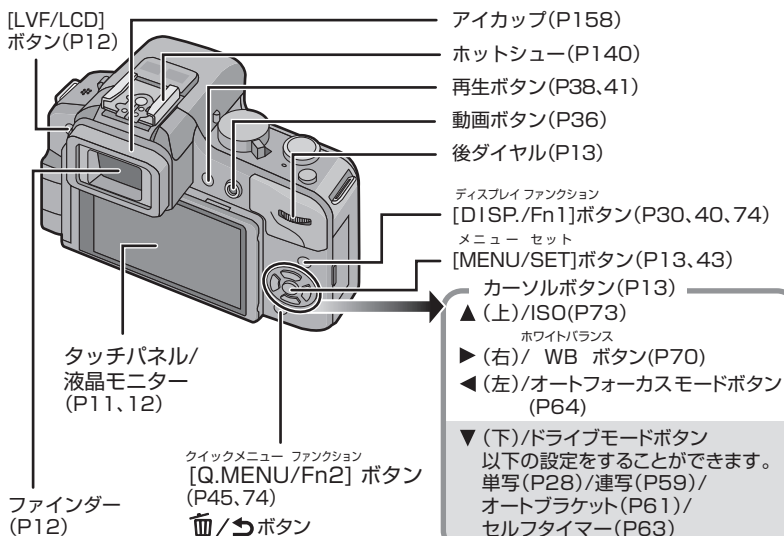
ディスプレイ ファンクション
[DISP./Fn1]ボタン(P30、40、74)

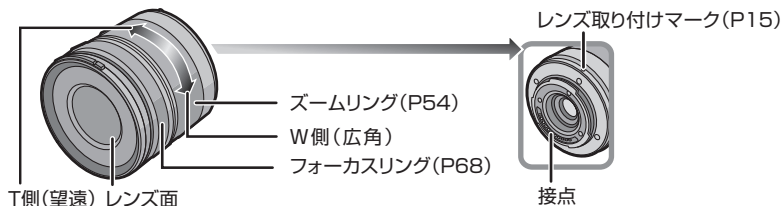
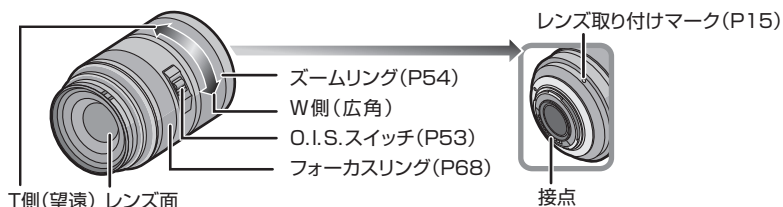
メニュー セット
[MENU/SET]ボタン(P13、43)

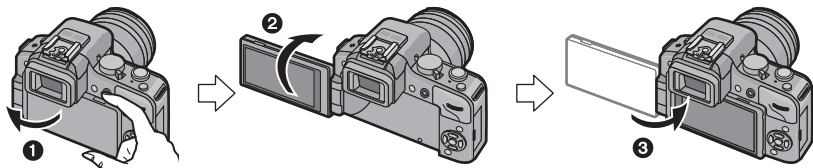
タッチパネル/液晶モニター(P11、12)

ファインダー(P12)

クイックメニュー ファンクション
[Q.MENU/Fn2] ボタン(P45、74)
🗑/⮌ボタン

カーソルボタン(P13)
- ▲(上)/ISO(P73)
- ▶(右)/ WB ボタン(P70)（WB：ホワイトバランス）
- ◀(左)/オートフォーカスモードボタン(P64)
- ▼(下)/ドライブモードボタン
  以下の設定をすることができます。
  単写(P28)/連写(P59)/
  オートブラケット(P61)/
  セルフタイマー(P63)

■ 同梱レンズ

H-FS014042(LUMIX G VARIO 14–42 mm/F3.5–5.6 ASPH./MEGA O.I.S.)

H-FS045200(LUMIX G VARIO 45–200 mm/F4.0–5.6/MEGA O.I.S.)

液晶モニター

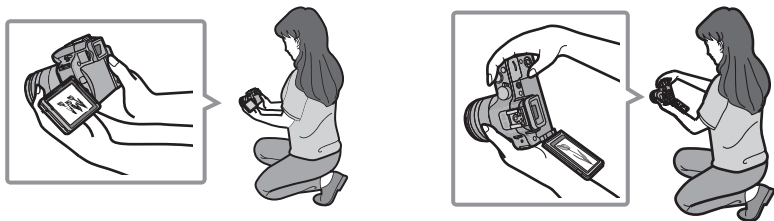
お買い上げ時、液晶モニターは収納状態になっています。
液晶モニターを下図のようにして液晶面を表にします。

❶ 液晶モニターを開く（最大180°開きます）
❷ レンズ方向に180°回転させる
❸ 元の位置へ閉じる

- **液晶モニターは十分開いてから回転させ、無理な力を加えないようお気をつけください。故障の原因になります。**

液晶モニターの角度を調節すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。
- AF補助光ランプを指などでふさがないでください。

■ ハイアングル撮影
- 前に人がいて、被写体に近づけないときなどに便利です。

- 手前に90°まで回転します。

■ ローアングル撮影
- 低い位置にある花を撮影するときなどに便利です。

- レンズ方向に180°まで回転します。

お知らせ
- 液晶モニターを使用しないときは、汚れや傷防止のため液晶モニターを内側に収納しておくことをおすすめします。

各部の名前と働き（つづき）

ファインダー

■ 液晶モニターとファインダーを切り換える

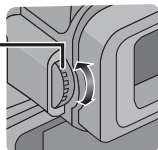
[LVF/LCD] を押す

- LCD（液晶モニター）表示とLVF（ライブビューファインダー）表示を切り換えることができます。
- [LVF/LCD]による切り換えはデジタルカメラの電源を[OFF]にしても保持されます。

■ 液晶優先再生について

カスタムメニューの[液晶優先再生]を[ON]に設定すると、撮影モードから再生モードに切り換えたときに液晶モニターが点灯します。
ライブビューファインダーを点灯させて撮影したときでも液晶モニターに切り換える手間がなくなります。

■ 視度調整について

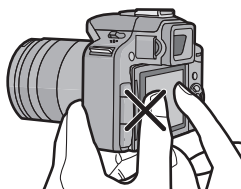
ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回して調整してください。

タッチパネル

本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。

画面をタッチする タッチパネルを押して離す動作です。	**ドラッグする** タッチパネルを押したまま動かす動作です。
タッチパネルに表示されるアイコンや画像を選択するときなどに使います。 ● 複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないことがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。	AF エリアを移動したり、スライドバーを操作するときなどに使います。 再生時は画像を送ることなどもできます。

お知らせ

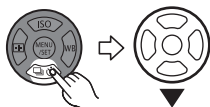
- 市販の液晶保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。
  （液晶保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります）
- 市販の保護シートをはり付けて使用している場合や、反応しにくいと感じるときは、**少し強めにタッチしてください。**

- 本機を持つ手がタッチパネルを押さえていると、タッチパネルは正常に動作しません。
- ボールペンなどの先のとがった硬いもので押さないでください。
- 爪を立てて操作しないでください。
- 液晶モニターが指紋などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 液晶モニターを強い力でこすったり、押したりしないでください。
- タッチパネルに表示されるアイコンについては、144ページの「液晶モニター/ ファインダーの表示」をお読みください。

■ タッチペンについて

指で操作しにくい場合など、細かな作業には、タッチペン（付属）が便利です。

- 付属のタッチペン以外は使わないでください。
- 乳幼児の手の届くところに置かないでください。

カーソルボタン /[MENU/SET] ボタン

本書ではカーソルボタンの上下左右を次のように、または、▲/▼/◀/▶で説明しています。

または ▼を押す

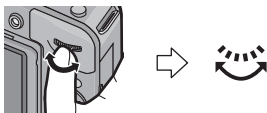
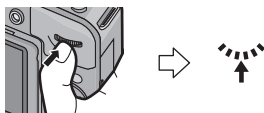
タッチパネル操作中でも、右図のようなガイドが画面に表示されているときは、カーソルボタンと[MENU/SET]ボタンでも操作することができます。

カーソルボタン：　項目の選択や、数値の設定などを行います。
[MENU/SET] ボタン：設定内容の決定などを行います。

後ダイヤル

後ダイヤルは左右方向に回す操作と押して決定する操作との2とおりあります。

回す：各種設定時には、項目の選択や、数値の設定などを行います。
押す：各種設定時には、設定内容の決定など、[MENU/SET] ボタンと同じ操作を行います。

- 本書では後ダイヤルの操作を次のように説明しています。

例:左右に回すとき

本機に使用可能なレンズ

■ マイクロフォーサーズ™ マウント規格レンズ

マイクロフォーサーズシステムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ（マイクロフォーサーズマウント）を使うことができます。

■ フォーサーズ™ マウント規格レンズ

マウントアダプター（別売：DMW-MA1）を使用することで、フォーサーズマウント規格のレンズを使用することができます。

■ ライカマウント規格レンズ

Mマウントアダプター、Rマウントアダプター（別売：DMW-MA2M、DMW-MA3R）を使用することで、ライカMマウント、ライカRマウントの交換レンズを使用することができます。

- お使いのレンズによっては、実際にピントの合う距離とレンズの距離表示が多少ずれる場合があります。
- ライカレンズ用マウントアダプター使用時は、[レンズ無しレリーズ]（P106）を[ON]に設定してください。

レンズと機能について

お使いのレンズによっては使用できない、または動作が異なる機能があります。

オートフォーカス※ / 自動絞り動作※ / 縦位置検出機能（P26）/ ボケ味コントロール（P34）/ 手ブレ補正（P53）/ クイック AF（P95）/ シェーディング補正（P98）など

※ 交換レンズ（H-FS014042、H-FS045200）は、動画撮影中のオートフォーカスと自動絞り動作に対応しています。別売のHD動画対応交換レンズ（H-VS014140）では、高いAF追従性能と静音設計により、さらにスムーズで静かな動画撮影ができます。

お使いのレンズについて詳しくは、ホームページでご確認ください。

対応レンズの最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

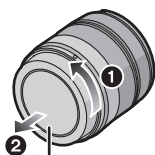
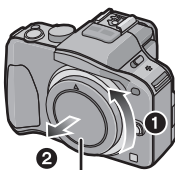
お知らせ

- お使いのレンズの絞り値によって、フラッシュ撮影可能範囲などが異なります。
- お使いのレンズに表記されている焦点距離は、35 mmフィルムカメラで換算すると2倍に相当します。（50 mmレンズを使用した場合は、100 mmレンズ相当になります）3D交換レンズについては、ホームページでご確認ください。

レンズを付ける・取り外す

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。
- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。ごみなどが付着した場合は、158ページをお読みください。

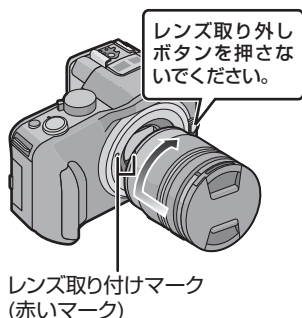
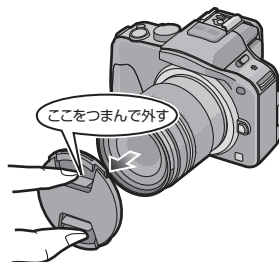
本体にレンズを付ける場合

1 レンズリアキャップとボディキャップを矢印の方向に回して外す

レンズリアキャップ

ボディキャップ

- マウント内に指を入れないでください。

2 本体とレンズのレンズ取り付けマーク(赤いマーク)を合わせて、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回す

- レンズを付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。
- レンズを本体に対して傾いた状態で付けようとすると、本体のレンズ取付部を傷つけるおそれがありますのでお気をつけください。

レンズ取り付けマーク
(赤いマーク)

3 レンズキャップを外す

レンズを付ける・取り外す（つづき）

本体からレンズを取り外す場合

1 レンズキャップを付ける

2 レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す

- 本体の内部にごみやほこりが付着するのを防ぐために、必ずボディキャップを付けてください。
- レンズの接点を傷つけないように、必ずレンズリアキャップを付けてください。

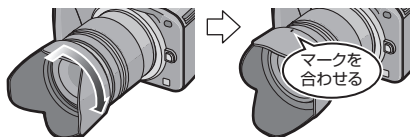
お知らせ

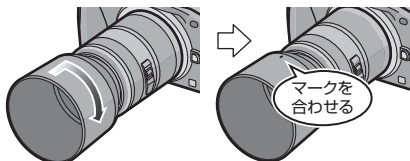
- 持ち運びするときなどはレンズ面の保護のため、レンズキャップを付けるか、MCプロテクター（別売）の装着をおすすめします。（P139）

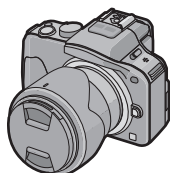
レンズフードを付ける

日差しの強い中、逆光時のゴーストやフレアを軽減します。余分な光をさえぎり、より美しく撮れます。

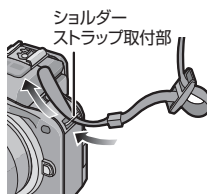
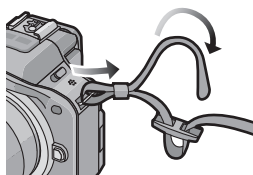
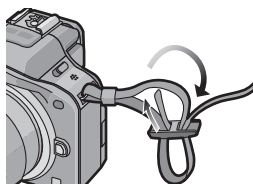
交換レンズ（H-FS014042）に付属しているレンズフード（花型）を取り付ける場合

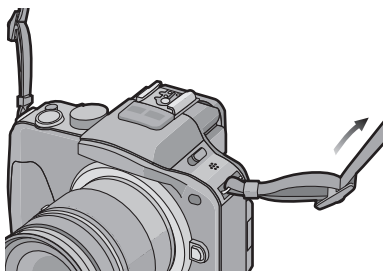
レンズフードの短いほうを上下にしてレンズに挿入し、矢印の方向へ止まるまで回す

交換レンズ（H-FS045200）に付属しているレンズフードを取り付ける場合

レンズフードをレンズに挿入し、矢印の方向へ止まるまで回す

お知らせ

- レンズフードを一時的に外して運ぶ場合は、向きを逆にして取り付けてください。

ショルダーストラップを付ける

● 落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをおすすめします。

1 ショルダーストラップを本体のショルダーストラップ取付部にとおす

2 矢印に従って、ショルダーストラップの端をリングにとおしたあと、留め具にとおす

3 ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴にとおす

4 ショルダーストラップのもう一方を引いて、抜けないことを確認する

● 手順**1**～**4**の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。

準備

バッテリーを充電する

■ 本機で使えるバッテリー(2011年6 月現在)

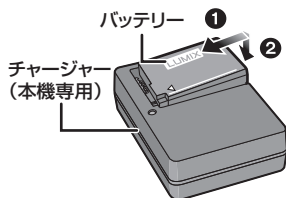
本機で使えるバッテリーはDMW-BLD10です。

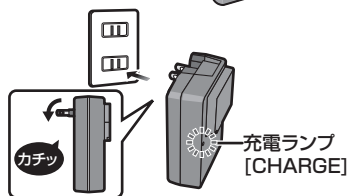
パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。

充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。

1 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む

2 電源コンセントに差し込む

- 充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください。

■ 充電ランプの表示について

点灯: 充電中は点灯します。

消灯: 充電が正しく完了すると、消灯します。

●点滅するときは

・バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が10 ℃～30 ℃のところで再度充電することをおすすめします。

・チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

■ 充電時間について

充電時間	約 120 分

●充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

お知らせ

●**電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**

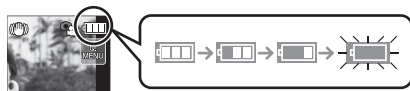
●バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。(バッテリーが膨らむ特性があります)

準備

使用時間と撮影枚数の目安

■ バッテリー残量表示について

残量表示が画面に表示されます。

●バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。(電源表示ランプも点滅します)
バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

写真記録(液晶モニター/ファインダー使用時)(条件はCIPA規格でプログラムAEモード時)

	交換レンズ(H-FS014042)装着時	交換レンズ (H-FS045200)装着時
記録可能枚数	約270枚	約250枚
撮影使用時間	約135分	約125分

CIPA規格による撮影条件

●CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。
●温度23 ℃/湿度50%RH、液晶モニターを点灯
●当社製のSDメモリーカード(2 GB)使用
●付属バッテリー使用
●電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始
●**30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
●10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。[例えば2分に1回撮影した場合は、上記(30秒に1回撮影)の枚数の約1/4になります]

バッテリーを充電する（つづき）

動画撮影（液晶モニター使用時）

→ AVCHD（画質設定を [FSH] で撮影）

	交換レンズ（H-FS014042）装着時	交換レンズ（H-FS045200）装着時
撮影可能時間	約110分	約100分
実撮影可能時間	約55分	約50分

→ MOTION JPEG（画質設定を [HD] で撮影）

	交換レンズ（H-FS014042）装着時	交換レンズ（H-FS045200）装着時
撮影可能時間	約120分	約110分
実撮影可能時間	約60分	約55分

- 温度23 ℃/湿度50%RH の環境下での時間です。時間は目安にしてください。
- 実撮影可能時間とは、電源の[ON]/[OFF]切り換え、撮影の開始/終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。
- **[MOTION JPEG] で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。**画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

再生（液晶モニター使用時）

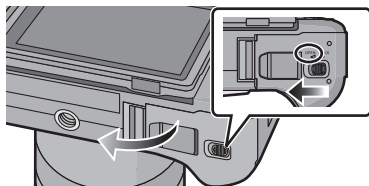
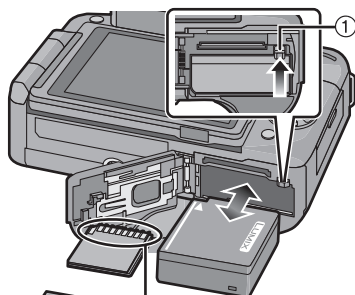
	交換レンズ（H-FS014042）装着時	交換レンズ（H-FS045200）装着時
再生使用時間	約210分	約190分

お知らせ

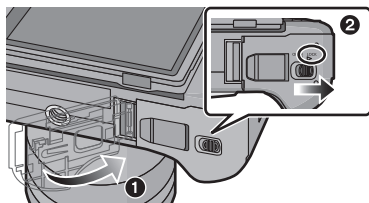
- **使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。**
  例えば、以下の場合は、使用時間と撮影枚数は短くなります。
  ・スキー場などの低温下
  ・[液晶モード]の[AUTO]または[MODE1] 使用時
  ・フラッシュ発光を繰り返した場合
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

バッテリー/カード（別売）を入れる・取り出す

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。

1 開閉レバーをOPEN側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く

2 バッテリー：
向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認する
取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す

カード：
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

3 ❶カード/バッテリー扉を閉じる
❷開閉レバーをLOCK側にスライドさせる

準備

お知らせ
- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。
- バッテリーを長期間放置すると、バッテリーは消耗します。
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、電源表示ランプが完全に消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）

カードについて

本機で使用できるカードについて

本機では、SD規格に準拠した以下のカードが使用できます。（本書では、これらを**カード**と記載しています）

	特長
SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/ miniSDカード※1/microSDカード※1	● **[AVCHD]で動画撮影の際は、SDスピードクラス※2が「Class4」以上のカードを使用してください。また、[MOTION JPEG]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。** ● SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカード対応機器で使用できます。 ● SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。 ● SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/ ● 左記の容量以外のカードは使えません。
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/ microSDHCカード※1	
SDXCメモリーカード (48 GB、64 GB)	

※1 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。
※2 SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。
（例） CLASS④ ④ CLASS⑥

カードアクセス中は・・・
カードに画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く点灯します。

アクセス表示
- **アクセス表示点灯中、画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中などは、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター（別売：DMW-AC8）を取り外さないでください。**
  また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。
  カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
  振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。
- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

お知らせ

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。
- カードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをおすすめします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。（P52）

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数・時間の表示について

● 記録可能枚数と時間との切り換えは、カスタムメニューの[残枚数/残時間切換](P105)で行えます。

記録可能枚数

記録可能時間

■ 記録可能枚数(写真:枚)

● 残り枚数が 10000 枚以上の場合は、[9999 +] と表示されます。

● **画像横縦比 [4:3]、クオリティ[ ] の場合**

記録画素数	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
L(16M)	220	900	3640	7260
M(8M)	410	1650	6690	13000
S(4M)	700	2840	11500	22460

● **画像横縦比 [4:3]、クオリティ[RAW] の場合**

記録画素数	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
L(16M)	69	270	1120	2250
M(8M)	80	320	1310	2610
S(4M)	87	350	1420	2850

■ 記録可能時間(動画撮影時)(h: 時間、m: 分、s: 秒)

● **撮影モード [AVCHD] の場合**

画質設定	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
FSH	13m00s	1h00m	4h9m	8h25m
SH	13m00s	1h00m	4h9m	8h25m

● **撮影モード [MOTION JPEG] の場合**

画質設定	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
HD	7m20s	32m10s	2h12m	4h29m
VGA	19m20s	1h23m	5h45m	11h39m
QVGA	53m50s	3h52m	15h55m	32h17m

● 記録可能枚数・時間は目安です。(撮影条件、カードの種類によって変化します)
● 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。
● [AVCHD]で動画を連続で撮影できるのは、最大13時間3分20秒までです。画面には13時間3分20秒までしか表示されません。ただし、バッテリー残量によっては、撮影が途中で終了する場合があります。(P19)
● [MOTION JPEG]で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

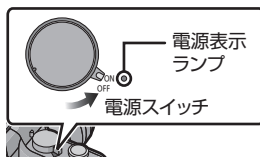
準備

時計を設定する

お買い上げ時の時計設定のみタッチ操作できます。時計設定を変更する場合は、セットアップメニューの[時計設定](P47)をお読みください。

- お買い上げ時は、時計設定されていません。

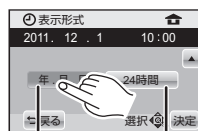
1 電源スイッチを[ON]にする

- 電源が入ると電源表示ランプが点灯します。

2 [時計設定]をタッチする

3 合わせたい項目(年・月・日・時・分)をタッチして、[▲]/[▼]で設定する

- [▲]/[▼]をタッチしたままにすると、連続して設定内容を切り換えることができます。
- [戻る]をタッチすると、時計を設定せずに中止することができます。

[表示順・時刻表示形式]を設定する場合

- [表示形式]をタッチすると、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。
- 表示順を変えると、以下のように表示されます。
  (例:2011年12月1日10時00分)
  ・[月.日.年]:10:00 DEC. 1.2011
  ・[日.月.年]:10:00 1.DEC.2011
  ・[年.月.日]:2011.12. 1 10:00

4 [決定]をタッチして決定する

5 確認画面で[決定]をタッチする

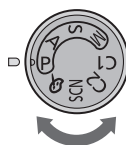
お知らせ

- **バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約24時間入れてください)**
- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込み(P114)を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
- 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

撮影モードを選ぶ

■ モードダイヤルで撮影モードを選ぶには

モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。

⊃ の部分に
使用したい
モードを合わせる

■ インテリジェントオートモードを選ぶには

[iA] ボタンを押す

- インテリジェントオートモードに切り換わると、[iA]ボタンが点灯します。
- [iA]ボタンが点灯中は、モードダイヤルで選ばれている撮影モードは無効になります。

基本

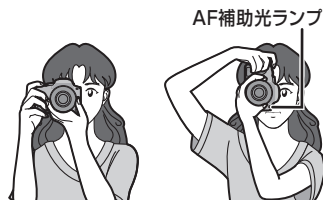
	モード	説明	ページ
iA	インテリジェントオートモード	カメラにおまかせで撮影します。	P31
P	プログラムAEモード	お好みの設定で撮影します。	P35

応用

	モード	説明	ページ
A	絞り優先AEモード	絞り値を決めて撮影します。	P77
S	シャッター優先AEモード	シャッタースピードを決めて撮影します。	P77
M	マニュアル露出モード	絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。	P77
C1 C2	カスタムモード	あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。	P84
SCN	シーンモード	撮影シーンに合わせて撮影します。	P79
	クリエイティブコントロールモード	画像効果を確認しながら撮影します。	P83

本機の構えかたについて

縦に構える場合

- **フラッシュ発光部やAF補助光ランプを指などでふさがないでください。**
- 両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構えてください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- 撮影時には、足場が安定していることを確認し、ボールや競技者などと衝突するおそれがある場所では周囲に十分お気をつけください。

■ 縦位置検出機能について

本機を縦に構えて撮影した写真を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。([回転表示](P118)を[ON]に設定している場合のみ)

- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 縦位置検出機能は、対応したレンズを使用しているときのみ使えます。
(対応レンズについては、カタログ/ホームページなどをご覧ください)
- 3D写真の縦撮影には対応していません。

写真を撮る

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN

写真撮影時のピントの合わせかた（AFS/AFC）

1　撮影メニューから[フォーカスモード]を選ぶ(P43)

2　設定したい項目を選び、[MENU/SET] を押す

●通常は[AFS]をお使いください。

AFS	AFS とは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。 半押ししている間、ピントは固定されます。
AFC	AFCとは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行うので、構図が決めやすくなります。動いている被写体を撮影する場合は、予測してピント合わせを行います。(動体予測) ●ズームリングをW端からT端に回したり、急に被写体を遠くから近くに変えたあとは、ピントが合うまで時間がかかることがあります。 ●撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。 ●シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。 ●使用するレンズによって、動作しない場合があります。詳しくは、14ページのホームページをご覧ください。
MF	フォーカスリングを回して手動でピントを合わせます。(P68)

●設定後はメニューを終了してください。

3　シャッターボタンを半押し（軽く押す）する

フォーカス表示

AFエリア

フォーカスモード	AFS		AFC	
ピント	合っている	合っていない	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅	点灯	点滅または消灯
AFエリア	緑	—	緑※1	—
電子音	ピピッ	—	ピピッ※2	—

※1 オートフォーカスモードを[▦]に設定している場合は、半押し中にピントが合った1回目のみ AF エリアが一瞬表示されます。

※2 半押し中にピントが合った 1 回目のみ電子音が鳴ります。

●[AFC]で明るさが足りないときは[AFS]と同じ動作をします。このとき画面の[AFC]表示が黄色で[AFS]に変わります。

写真を撮る（つづき）

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN

お知らせ
- ピントが合う範囲は、使用するレンズによって異なります。
  - ・交換レンズ（H-FS014042）装着時：0.3 m～∞
  - ・交換レンズ（H-FS045200）装着時：1.0 m～∞

■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの／
ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき／暗いときや手ブレしているとき／
被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

写真を撮る

- ▼（ ）を押して、ドライブモードを［ ］に設定する。

1 撮影モードを選ぶ

2 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。（フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します）
- **お買い上げ時は、［フォーカス優先］（P103）が［ON］に設定されているため、ピントが合うまで撮影できません。**

絞り値 シャッタースピード

3 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

タッチシャッター機能を使って撮る

ピントを合わせたい被写体にタッチするだけで、ピントを合わせて自動的にシャッターを切ります。

1 撮影状態で、[ ]をタッチする

- アイコンが[ ]に変わり、タッチシャッター撮影が可能な状態になります。

2 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- タッチした場所にオートフォーカスモードの[■]と同じ働きのAFエリアが表示され、ピントが合うと撮影されます。
- タッチしたい被写体の上にヒストグラムが表示されている場合は、ヒストグラムをドラッグ(P12)して移動させてからタッチしてください。

3 [ ]をタッチして、タッチシャッター機能を解除する

お知らせ

- [フォーカス優先]が[ON]の場合、[フォーカスモード]を[AFS]に設定してタッチシャッターに失敗したときは、AFエリアが赤く点灯したあと消え、シャッターは切れません。
  [AFC]に設定時は、フォーカス表示が緑点滅しているとシャッターは切れませんが、画面にタッチし続けた状態で被写体にピントが合うと、シャッターが切れます。
- [測光モード](P95)が[•]のときは、タッチした場所で測光を行います。画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさの影響を受ける場合があります。

写真を撮る（つづき）

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN ◎

撮影画面の表示情報を切り換える

[DISP./Fn1]ボタンは、[DISP.](ディスプレイ)と[Fn1](ファンクション1)の２とおりの使いかたができます。
お買い上げ時は、[DISP.] が設定されています。

- 設定を切り換える場合は、カスタムメニューの[DISP./Fn1 ボタン]で選択してください。
  - ・[DISP.]選択時は、撮影画面の表示情報を切り換えることができます。
  - ・[Fn1]選択時は機能をボタンに割り当てることができます。
    ファンクションボタンについて詳しくは 74 ページをお読みください。

[DISP.] ボタンを押して切り換える

ディスプレイアイコン

- [DISP.]をタッチすることでも、撮影画面を切り換えることができます。カスタムメニューの[DISP./Fn1ボタン]が[Fn1]のときは、[DISP.]をお使いください。
- カスタムメニューの[LCD表示スタイル]、[LVF表示スタイル]で、液晶モニターとファインダーの表示画面をそれぞれ[▭](液晶モニタースタイル)または[▭](ファインダースタイル)から選ぶことができます。

([▭] 液晶モニタースタイル)

- 画面は以下に切り換わります。
  - ・情報あり※1、2
  - ・情報なし※1

([▭] ファインダースタイル)

- 画面は以下に切り換わります。
  - ・情報あり（詳細情報）※1、2
  - ・情報あり※1

※1 カスタムメニューの[ガイドライン表示]を[OFF]以外に設定すると、ガイドラインが表示されます。

※2 カスタムメニューの[ヒストグラム]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。また、カスタムメニューの[露出メーター]を[ON]に設定すると、露出メーターを表示させることができます。(P103)

カメラにおまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）

撮影モード：iA

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラまかせで気軽に撮りたいときや初心者におすすめです。

- 以下の機能が自動的に働きます。
  - ・自動シーン判別/逆光補正/顔認識/オートホワイトバランス/インテリジェントISO/クイックAF/デジタル赤目補正/超解像/iDレンジコントロール/長秒ノイズ除去/シェーディング補正/フォーカス優先/AF補助光

[iA]を押す

- インテリジェントオートモードまたはインテリジェントオートプラスモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。(P33)
お買い上げ時は、インテリジェントオートモードが設定されています。
- インテリジェントオートモードに切り換わると、[iA]ボタンが点灯します。
撮影中は、ガラスなどに光が反射するのを防止するために[iA]ボタンが消灯しますが、故障ではありません。

- もう一度押すと[iA]ボタンが消灯し、インテリジェントオートモード以前に設定していた撮影モードに切り換わります。
- 被写体をタッチすると追尾AF機能が働きます。カーソルボタンの◀を押し、シャッターボタンを半押ししても可能です。詳しくは 65ページをお読みください。
- 撮影画面で[ ]をタッチすると、ボケ味コントロールを設定できます。(P34)
- **インテリジェントオートモードでは、[フォーカス優先](P103)が[ON]に固定されます。そのため、ピントが合うまで、撮影できません。**

設定を変更する

インテリジェントオートモードでは以下のメニューを設定できます。

メニュー	項目
撮影	[フォトスタイル]※/[画像横縦比]/[記録画素数]/[クオリティ]/[個人認証]/[フォーカスモード]/[手ブレ補正]※
動画	[フォトスタイル]※/[撮影モード]/[画質設定]/[フォーカスモード]/[AF連続動作]/[風音低減]
カスタム	[ヒストグラム]/[ガイドライン表示]/[残枚数/残時間切換]/[タッチ設定]
セットアップ	[時計設定]/[ワールドタイム]/[電子音]/[液晶モード]

- メニューの設定方法については43ページをお読みください。

※ 他の撮影モードと設定できる内容が異なります。

■ フラッシュ

- **フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。(P55)**
- [i⚡A]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]、[i⚡S]になります。
- [i⚡A◎]、[i⚡S◎]のときは、デジタル赤目補正が働きます。
- [i⚡S◎]、[i⚡S]のときは、シャッタースピードが遅くなります。

基本

カメラにおまかせで撮る（[iA]：インテリジェントオートモード）（つづき）

撮影モード：[iA]

自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

写真撮影時

[iA] →

i人物	i風景	iマクロ	
i夜景&人物 ・[i⚡A]選択時のみ	i夜景	i赤ちゃん※	i夕焼け

動画撮影時

[iA] →

i人物	i風景	iローライト	iマクロ

- どのシーンにもあてはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- [i人物]、[i夜景&人物]、[i赤ちゃん]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。**（顔認識）**
- [i夜景]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- 追尾AF時は、指定した被写体に最適なシーンを判別します。
- [個人認証]を[ON]に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[i人物]、[i夜景&人物]、[i赤ちゃん]の右上に[R]が表示されます。

※ [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔認識したときのみ表示されます。

お知らせ

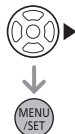
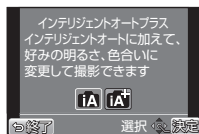
- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  - ・被写体条件
    顔の明暗/被写体の大きさ・色/被写体までの距離/被写体の濃淡/被写体が動いている場合
  - ・撮影条件
    夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレが発生した場合/ズーム倍率
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをおすすめします。
- **逆光補正について**
  - ・逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。インテリジェントオートモードでは自動で逆光補正が働きます。

インテリジェントオートプラスモードを使って撮る

カメラが最適に設定した明るさや色合いを、簡単にお好みに合わせることができます。
カメラにおまかせの設定を好みに合わせたいが、詳しい設定が苦手な方に便利なモードです。

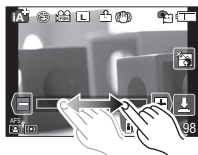
1 インテリジェントオートモード時に [MENU/SET] を押す

2 [iAモード] を選び、[MENU/SET] を押す

3 ▶で[ ]を選び、[MENU/SET] を押す

明るさを設定する

1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

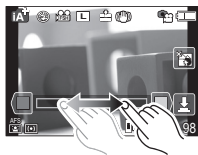
- 後ダイヤルを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作(P34)、操作の終了に切り換わります。

2 スライドバーをタッチして、設定する

- 後ダイヤルを回しても設定できます。

色合いを設定する

1 ▶(WB)を押して設定画面を表示する

2 スライドバーをタッチして、設定する

- 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
- 後ダイヤルを回しても設定できます。

お知らせ

- [ ]をタッチすることでも、写真を撮影することができます。
- 設定した明るさと色合いは、電源スイッチを[OFF]にする、または他の撮影モードに変更すると、標準(中心点)に戻ります。

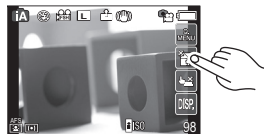
基本

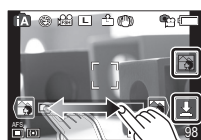
ボケ味コントロール機能を使って撮る

撮影モード：

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

1 [ ] をタッチして、設定画面を表示する

- ファインダー使用時は、後ダイヤルを数回押して、ボケ味コントロール設定画面を表示してください。

2 スライドバーをタッチして、設定する

- 後ダイヤルを回しても設定できます。

3 写真または動画を撮影する

- [ ] をタッチすることでも、写真を撮影することができます。
- [ ] をタッチすると、ボケ味コントロール操作を終了します。
- ファインダー使用時は、後ダイヤルを押してボケ味コントロール操作を終了します。

お知らせ

- インテリジェントオートモードのボケ味コントロール設定画面では、オートフォーカスモードが [[■]] になります。カーソルボタンの ◀ を押すと AF エリア設定画面が表示されます。（大きさは変更できません）
- 動画撮影開始時に、撮影状況によっては、ボケ味が変わる場合があります。
- 動画撮影中は、適正露出の範囲で絞り制御を行うため、被写体の明るさによっては選択カーソルを動かしても実際の絞りは変わらず、ボケ具合に変化がない場合があります。（例えば、室内などの暗いシーンでは、選択カーソルを両端に動かしても絞りは開放のままでボケ具合に変化がない場合があります）
- 使用するレンズによっては、ボケ具合を操作しているときに、レンズ部から音がすることがありますが、このときの音はレンズの絞り動作によるもので、異常ではありません。
- 使用するレンズによっては、動画撮影中にボケ具合を操作すると、その動作音が記録されることがあります。
- 使用するレンズによっては動作しない場合があります。対応レンズについては、ホームページをご覧ください。

お好みの設定で撮る（P：プログラム AE モード）

撮影モード：P

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

モードダイヤルを [P] に合わせる

お知らせ

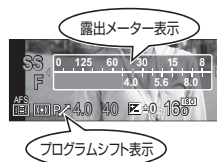
- シャッタースピードは、[ISO160]、開放絞り値F3.5[交換レンズ(H-FS014042)装着時]またはF4.0[交換レンズ(H-FS045200)装着時]の場合、約20秒～1/4000秒の間で自動的に設定されます。

プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。
プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

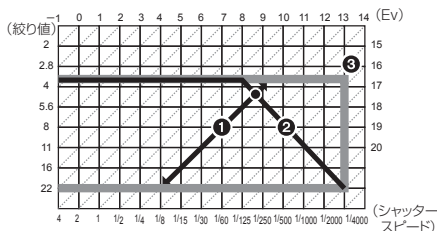
1 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

2 数値が表示されている間に(約10秒間)、後ダイヤルを回してプログラムシフトする

- 数値の表示中は、後ダイヤルを押すごとに、プログラムシフト操作と露出補正操作(P58)が切り換わります。
- 後ダイヤルを回すと、[露出メーター]が表示されます。(P103)
- プログラムシフトされている場合は、画面にプログラムシフト表示が出ます。
- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを[OFF]にするか、プログラムシフト表示が消えるまで、後ダイヤルを回してください。

お知らせ

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示され、点滅します。
- プログラムシフトが有効になってから10秒以上経過すると、プログラムシフト設定可能な状態は解除され、通常のプログラムAEに戻りますが、プログラムシフトされた設定は維持されています。
- 被写体の明るさによっては、プログラムシフトできない場合があります。
- ISO感度を[iISO]に設定すると、プログラムシフトできません。

<プログラムシフトの例>
交換レンズ(H-FS014042)装着時

基本

動画を撮る

撮影モード: iA P A S M C1 C2 SCN ⊘

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、Motion JPEGで記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。
使用するレンズにより、動画撮影中に働く機能に差があります。また、レンズの動作音などが記録される場合があります。詳しくは、14ページをお読みください。

動画撮影時のピントの合わせかた(AF連続動作)

ピント合わせは、動画撮影メニューの[フォーカスモード]と[AF連続動作]の設定によって異なります。

フォーカスモード	AF連続動作	設定
AFS/AFC	ON	ピントを合わせ続けることができます。 ● 撮影中、ピントが合いにくいときは、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
	OFF	動画撮影開始時のピント位置で固定します。 ● 撮影中にシャッターボタンを半押しするか、被写体をタッチしてピントを合わせることができます。
MF	ON	手動でピントを合わせることができます。
	OFF	

- 撮影環境や使用レンズによっては、動画撮影時にオートフォーカスが働くと、動作音が記録される場合があります。動作音が気になる場合は、動画撮影メニューの[AF連続動作]を[OFF]に設定するなどして、撮影することをおすすめします。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。

動画を撮る

各撮影モードに適した動画が撮影できます。

- **画面は撮影モードを[P](プログラムAEモード)に設定したときの例です。**

記録経過時間　記録動作表示

3s　±0　残1m37s

記録可能時間

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- [撮影モード]および[画質設定]の設定については、100 ページをお読みください。

2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

お知らせ

- 記録開始時の約0.5秒間、音声が録音されません。動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 画面に表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。[記録枠表示](P105)を[ ]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- [EXテレコン(写真)]、[EXテレコン(動画)]を[ON]に設定している場合は、写真と動画のズーム倍率が異なるため、写真撮影画面と動画撮影画面が切り換わる際に、画角が変わります。(P54)
- 動画撮影中は、ISO感度は[AUTO](動画用)の動作になります。また、[ISO感度上限設定]は機能しません。
- 動画撮影時は、[手ブレ補正]を[ ]に設定していても、[ ]に固定されます。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC8)の使用をおすすめします。(P142)
- ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。
- 一部の撮影モードでは、以下のような分類で撮影されます。下記以外では、それぞれの撮影モードに合った動画を撮影できます。

選択されている撮影モード	動画撮影時の撮影モード
・プログラム AE モード ・絞り優先 AE モード ・シャッター優先 AE モード ・マニュアル露出モード ・シーンモードの [背景ボケ]、[ペット]	通常動画
・シーンモードの [赤ちゃん1]、[赤ちゃん2]	人物モード ● 動画撮影中に記録した写真([ ](動画優先))(P86)には、月齢/年齢や名前は記録されません。
・シーンモードの [夜景& 人物]、[夜景]、[イルミネーション]	ローライトモード

基本

再生する

写真を見る

1 [▶] を押す

2 画面を水平にドラッグ(P12)して画像を送る

次の画像へ送る:右から左にドラッグ

前の画像に戻す:左から右にドラッグ

- カーソルボタンの◀/▶を押しても画像を送ることができます。
- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。
- 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。(画像は縮小して表示されます)

■ 再生を終了するには

再度 [▶] を押すか、動画ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

お知らせ

- 本機は一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 他機で撮影された写真は本機で再生できない場合があります。

複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

[⊞] をタッチする

- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。
  - ·[■]:1画面
  - ·[⊞]:12画面
  - ·[▦]:30画面
  - ·[CAL]:カレンダー再生
- 後ダイヤルを回しても再生画面を切り換えることができます。
- 連写アイコン[⧉]が付いた画像を選ぶと、連写グループ内の画像がマルチ再生されます。
- スライドバーに[▲]/[▼]が表示されている場合は、タッチして画面を切り換えてください。
- スライドバーを上下にドラッグ(P12)すると画面を切り換えることができます。
- 画面を上下にドラッグ(P12)すると少しずつ画像を切り換えることができます。
- [[!]]と表示される画像は再生できません。

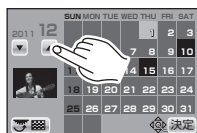
■ 1画面表示に戻すには

画像を選び、タッチしてください。

画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)

1 マルチ再生画面で、[CAL]をタッチする

2 [▲]/[▼]をタッチして再生したい月を選ぶ

- 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。
- [▦]をタッチするとマルチ再生画面が表示されます。

3 再生したい日付を選び、[決定]をタッチする

4 再生したい画像をタッチする

- カレンダー画面表示に戻すには、後ダイヤルを左側に回す、または、[CAL]をタッチしてください。

お知らせ

- はじめに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2011年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

再生画面を拡大する(再生ズーム)

拡大したい部分をタッチする

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

- 後ダイヤルを回しても画像を拡大/縮小することができます。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置が表示されます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- 画面をドラッグ(P12)すると拡大部分を移動することができます。
- [×1.0]をタッチすると、元の大きさ(1倍)に戻ります。
- [⊖]をタッチすると倍率は小さくなります。

基本

再生する（つづき）

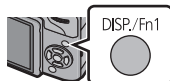
■ 再生ズームのまま表示画像を切り換えるには

再生ズームのズーム倍率、ズーム位置を保持したまま表示画像を切り換えることができます。

再生ズーム中に後ダイヤルを押して画像送り操作に切り換え、[|◀◀]/[▶▶|]をタッチして画像を送る

- カーソルボタンの◀/▶を押しても画像を送ることができます。
- 以下の画像は、ズーム位置が中央に戻ります。
  - ・[画像横縦比]が異なる画像
  - ・[記録画素数]が異なる画像
  - ・回転方向が異なる画像（[回転表示]を[ON]にしている場合）

再生画面の表示情報を切り換える

[DISP.]ボタンを押して切り換える

- 画面は以下に切り換わります。

  - ・情報あり
  - ・詳細情報表示※1（P146）
  - ・ヒストグラム表示※1（P146）
  - ・情報なし（ハイライト表示）※1、2
  - ・情報なし

  ※1 再生ズーム時、動画再生中、スライドショー中は表示されません。

  ※2 カスタムメニューの[ハイライト表示]（P103）を[ON]にしているときのみ表示されます。

- 再生時はヒストグラムをR（レッド）、G（グリーン）、B（ブルー）、Y（輝度）に分けて表示します。

動画を見る

- 本機で再生できる動画のファイル形式はAVCHDまたはQuickTime Motion JPEGです。
- 本機で再生できるAVCHD形式の動画は、本機で撮影した[AVCHD]動画および、当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影したAVCHD形式([AVCHD Lite]を含む)の動画のみです。

1 [▶]を押す

2 動画アイコン([🎥]、[▭])が付いた画像を選び、[▶]をタッチして再生する

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。
  例)8分30秒のとき:8m30s
- [AVCHD]で撮影した動画は、一部の情報(撮影情報など)が表示されません。
- カーソルボタンの▲を押しても、動画を再生することができます。
  再生中の画面右下の表示は、カーソルボタンの▲/▼/◀/▶に対応しています。

■ 動画再生中の操作

1　画面をタッチしてコントロールパネルを表示する

- 約2秒間何も操作しないと元の状態に戻ります。

2　コントロールパネルをタッチして操作する

▶/❚❚	再生/一時停止	■	停止
◀◀	早戻し再生	▶▶	早送り再生
◀❚❚	コマ戻し(一時停止中)	❚❚▶	コマ送り(一時停止中)
＋	音量上げる	－	音量下げる

- **早送り/早戻し再生について**
  - ・再生中に[▶▶]をタッチすると早送り再生([◀◀]をタッチすると早戻し再生)になります。もう一度[▶▶]/[◀◀]をタッチすると、早送り/早戻し速度が速くなります。(画面表示が[▶▶]から[▶▶▶]に変わります)
  - ・[▶/❚❚]をタッチすると、通常再生に戻ります。
  - ・大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。

お知らせ

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はCD-ROM(付属)のソフトウェア「QuickTime」または「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。
- 他機で撮影された動画は本機で再生できない場合があります。

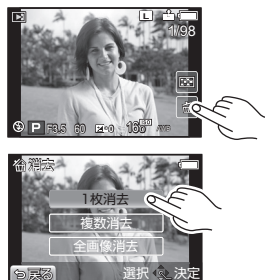
基本

画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

[▶]を押す

1枚消去

1 消去する画像を選び、[🗑]をタッチする

2 [1枚消去]をタッチする

- 確認画面が表示されます。
  [はい]を選ぶと消去されます。

複数消去(100枚※まで)/全画像消去

※ 連写グループは1枚として扱います。(選んだ連写グループ内のすべての画像が消去されます)

1 [🗑]をタッチする

2 [複数消去]または[全画像消去]をタッチする

- [全画像消去]→確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。
- [全画像消去]選択時、[★以外全消去]を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

3 ([複数消去]選択時)消去したい画像をタッチする(繰り返す)

- 設定した画像に[🗑]が表示されます。もう一度タッチすると設定が解除されます。

4 ([複数消去]選択時)[実行]をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

お知らせ

- 消去中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC8)を使用してください。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。
- DCF規格外または[プロテクト]設定された画像の場合は、[全画像消去]または[★以外全消去]をしても消去されません。

メニューを使って設定する

お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。
特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

メニューの設定方法

● カスタムメニューの[メニュー位置メモリー](P106)を[ON]に設定していると、前回終了したメニュー項目を選択状態の画面になります。お買い上げ時は[ON]に設定されています。

1 [MENU/SET]を押す

2 ▲/▼/◀/▶または後ダイヤルを回してメニューを選ぶ

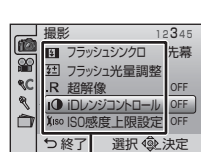
メニュー	内容
[ ] 撮影(P92～99)	横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
[ ] 動画(P100～101)	撮影モードや画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
[C] カスタム (P102～106)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。
[ ] セットアップ (P47～52)	時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。
[ ] 再生(P110～122)	画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

3 [MENU/SET]を押してメニューを表示させる

4 ▲/▼または後ダイヤルを回してメニュー項目を選ぶ

● 一番下の項目を選んで、さらに▼を押す、または後ダイヤルを右に回すと、次の画面に移ります。

メニュー項目

基本

メニューを使って設定する（つづき）

5 [MENU/SET] または後ダイヤルを押す

- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされかたが異なるものがあります。

6 ▲/▼ または後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ

- 右図の画面は [iDレンジコントロール] を [OFF] から [強] に設定する例です。

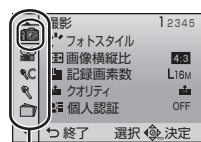
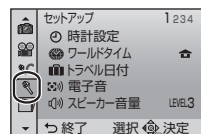
7 [MENU/SET] または後ダイヤルを押して決定する

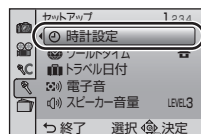
■ メニューを終了する

[🗑/↩] を数回押す、またはシャッターボタンを半押しする

■ 他のメニューに切り換えるには

例）撮影メニューからセットアップメニューに切り換え

1 ◀を押す

2 ▼または後ダイヤルを回して
セットアップメニューアイコン [🔧] を選ぶ

3 ▶または後ダイヤルを押す

- 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

お知らせ

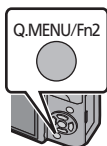
- 本機では仕様上、お使いのモードやメニュー設定により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

クイックメニューを使って設定する

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

- モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。使えない項目はグレーで表示されます。

[Q.MENU/Fn2]ボタンは、[Q.MENU](クイックメニュー)と[Fn2](ファンクション2)の2とおりの使いかたができます。
お買い上げ時は、クイックメニューが設定されています。

- 設定を切り換える場合は、カスタムメニューの[Q.MENU/Fn2ボタン]で選択してください。
  - ・[Q.MENU]選択時は、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。
  - ・[Fn2]選択時は機能をボタンに割り当てることができます。
    ファンクションボタンについて詳しくは 74 ページをお読みください。

1 [Q.MENU] ボタンを押して、クイックメニューを表示する

- [Q. MENU]をタッチすることでも、クイックメニューを表示させることができます。カスタムメニューの[Q.MENU/Fn2ボタン]が[Fn2]のときは、[Q. MENU]をお使いください。

タッチクイックメニューアイコン

基本

2 メニュー項目をタッチする

- [◁]/[▷]をタッチすると、メニュー項目を切り換えることができます。

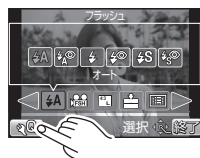
3 設定内容を選びタッチする

4 設定が終了したら[終了]をタッチしてメニューを終了する

クイックメニューを使って設定する（つづき）

■ クイックメニューをお好みの項目に変更する

使用するクイックメニューを 15 項目まで設定しておくことができます。
撮影状況などに合わせて、メニュー項目を設定してください。

1 [Q] をタッチする

2 上段からメニューを選び、下段へドラッグする

- ドラッグした場所に空きがない場合、入れ換えるメニュー項目へドラッグしてください。
  入れ換えて設定することができます。
- 下段から上段にドラッグすると設定が解除され空き項目になります。
- [◁]/[▷]をタッチすると、メニュー項目や設定内容を切り換えることができます。
- 設定できる項目は、以下のとおりです。

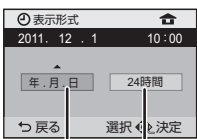
クイックメニューとして、設定することができる項目

クイックメニュー画面に表示させることができる項目

撮影メニュー	
· 画像横縦比(P93)／記録画素数(P93)	· iD レンジコントロール(P97)
· クオリティ(P94)	· EX テレコン(写真·動画)(P54)
· FOCUS フォーカスモード(P27)	· 連写速度(P59)
· 測光モード(P95)	· オートブラケット(P61)
· フラッシュ(P55)	· セルフタイマー(P63)
· I.R 超解像(P97)	· 手ブレ補正(P53)

撮影機能
· オートフォーカスモード(P64)
· ISO感度(P73)
· ホワイトバランス(P70)
· 露出補正(P58)
· 絞り(P77)
· シャッタースピード(P77)
· ドライブモード 単写(P28)、連写(P59)、オートブラケット(P61)、セルフタイマー(P63)

動画撮影メニュー
· 撮影モード(P100)／画質設定(P100)
· 写真撮影(P101)

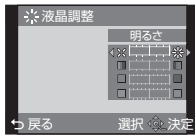
カスタムメニュー
· ヒストグラム(P102)
· ガイドライン表示(P102)
· 残枚数/残時間切換(P105)

3 [終了] をタッチする

- 上記手順 **1** の画面に戻ります。撮影画面にするには [終了] をタッチしてください。

セットアップメニューを使う

[時計設定]、[エコモード]、[オートレビュー]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

セットアップメニューの設定方法はP43へ

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定・お知らせ
時計設定 日付や時刻を変更するときに設定します。	**1 ◀/▶ で合わせたい項目を選び、▲/▼ で設定する** [ワールドタイム]の設定 時計設定 2011. 12. 1 10:00 表示形式 戻る 選択 決定 表示形式 **[表示順・時刻表示形式]を設定する場合** ● [表示形式] を選び、[MENU/SET]を押すと、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。 表示形式 2011. 12 . 1 10:00 年.月.日 24時間 戻る 選択 決定 表示順 時刻表示形式 **2 [MENU/SET]を押して決定する** ● お知らせについては、24ページの「時計を設定する」のお知らせをお読みください。
ワールドタイム お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。 旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。	**[旅行先]、[ホーム] のいずれかを選択後は、◀/▶ でエリアを選び、[MENU/SET] を押して決定してください。** ● お買い上げ時はまず[ホーム]を設定してください。[旅行先]の設定は、[ホーム]設定後に行えます。 **[旅行先]**: 旅行先の地域 現地時刻 10:30 ホームとの時差 +0:30 戻る 選択 決定 **[ホーム]**: お住まいの地域 現在時刻 10:00 GMT(グリニッジ標準時)との時差 GMT+9:00 戻る 選択 決定 ● エリア選択時に▲を押すと、サマータイム[ ](夏時間)の設定/解除ができます。 ● ホームでサマータイムを設定しても、現在の日時は進みません。時計設定を1時間進めてください。 ● 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

基本

セットアップメニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ
トラベル日付 旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。 記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P114)で撮影画像に焼き込むことができます。	**[トラベル日付設定]**: **[OFF]**: 経過日数は記録されません。 **[設定]**: 出発日、帰着日を設定します。撮影時に旅行の経過日数(何日目か)が記録されます。 ● 現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。[トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。 **[旅行先]**: **[OFF]** **[設定]**: 撮影時に旅行先が記録されます。 ● 文字入力の方法については、91ページの「文字を入力する」をお読みください。 ● CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。 ● トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。 ● 設定したトラベル日付は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。 ● 出発日より前は、オレンジ色で－(マイナス)付きで表示され、日付情報は記録されません。 ● トラベル日付が白色で－(マイナス)付きで表示される場合は[ホーム]と[旅行先]との間に、日付をまたぐ時差があります。(記録されます) ● [AVCHD]で撮影された動画は[トラベル日付]は記録できません。 ● 動画撮影の際、[旅行先]は記録できません。 ● インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。
電子音 電子音や電子シャッター音の音量を設定します。	**[電子音音量]**: [消音]: なし [小]: 小 [大]: 大 **[電子シャッター音音量]**: [消音]: なし [小]: 小 [大]: 大 ● [電子シャッター音音量]は、連写の[SH]設定時にのみ働きます。
スピーカー音量 スピーカーの音量を7段階に調整します。	● テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。

セットアップメニューの設定方法はP43へ

セットアップメニューの設定方法はP43へ

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定・お知らせ
液晶調整 / LVF調整 液晶モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。	**1 ▲/▼で設定項目を選び、◀/▶または後ダイヤルで調整する** **2 [MENU/SET]を押して決定する** ●液晶モニター表示時は液晶モニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。 ●被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
LCD 液晶モード 周囲の明るさに応じて、液晶モニターの明るさを設定できます。	**[A✱(AUTO)]**：　周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 **[1✱(MODE1)]**：液晶モニターを明るくします。 **[2✱(MODE2)]**：液晶モニターを標準的な明るさにします。 **[3✱(MODE3)]**：液晶モニターを暗くします。 ●液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ●[MODE1]の液晶モニターの画面は、撮影時、30秒間何も操作しないと、自動的に標準的な明るさに戻ります。ボタンまたはタッチ操作で、再び明るく点灯します。 ●太陽光などが反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってください。 ●[AUTO]または[MODE1]時は記録可能枚数が減少します。 ●再生時は、[AUTO]は選択できません。 ●動画撮影中は、[AUTO]は働きません。 ●周囲が暗い場所などでメニュー画面を表示すると、[MODE2]設定にかかわらず、液晶モニターの画面が暗くなります。 ●ACアダプター(別売：DMW-AC8)使用時の初期設定は[MODE2]になります。
ECO エコモード 設定した時間の間に何も操作しないと、自動的に電源を切ります。 また、使用しない間、液晶モニターを自動的に消灯することで、バッテリーの消耗を防ぎます。	**[スリープモード]**： **[OFF]、[1分]、[2分]、[5分]、[10分]** 設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。 **[自動液晶OFF]**： **[OFF]、[15秒]、[30秒]** 設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に液晶モニターを消灯します。 ●[スリープモード]を解除する場合は、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを[OFF]にしてからもう一度[ON]にしてください。

セットアップメニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ
ECO エコモード （つづき）	●インテリジェントオートモード時は、[スリープモード]は[5分]に固定されます。 ●[自動液晶OFF]を[15秒]または[30秒]に設定すると[スリープモード]は[2分]に固定されます。 ●液晶モニターを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。 ●以下の場合、[スリープモード]は働きません。 ・AC アダプター使用時　・パソコンまたはプリンター接続時 ・動画撮影/動画再生時　・スライドショー時
オートレビュー 撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	**[OFF]、[1秒]、[3秒]、[5秒]** **[ホールド]**：シャッターボタン半押しまで表示 ●[ホールド]に設定した場合、単写、セルフタイマー撮影時は、オートレビュー中に再生画面の表示切り換えや、後ダイヤルを回しての拡大などができます。 ●[SH]または[H]設定時の連写、オートブラケット撮影時は、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。（ホールドはされません） ●[ハイライト表示]を[ON]に設定していると、オートレビュー時に白とびの起こっている部分が黒と白の点滅で表示されます。 ●[M]または[L]設定時の連写では働きません。 ●[個人認証]の[自動登録]を[ON]に設定時は、[3秒]または[5秒]のみ設定できます。
USB USBモード USB接続ケーブル（付属）を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。	**[接続時に選択]**：パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC] または[PictBridge(PTP)]のいずれかを選択します。 **[PictBridge(PTP)]**：PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。 **[PC]**：パソコンに接続する場合に設定します。
TV画面タイプ テレビの種類に合わせて設定します。	[16:9]：画面が16：9のテレビと接続時 [4:3]：画面が4：3のテレビと接続時 ●AVケーブル接続時に働きます。

セットアップメニューの設定方法はP43へ

項目	設定・お知らせ
HDMI出力解像度 HDMIミニケーブル(別売)を使って本機をHDMI対応のハイビジョンテレビに接続して再生する際に、HDMI出力の映像方式を設定します。	[AUTO]: 接続したテレビからの情報を元に、自動的に出力解像度を決定します。 [1080i]: 有効走査線数1080本のインターレース方式で出力します。 [720p]: 有効走査線数720本のプログレッシブ方式で出力します。 [480p]: 有効走査線数480本のプログレッシブ方式で出力します。 ● [AUTO]に設定していて映像がテレビに出ないときは、[1080i]、[720p]または[480p]に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。(テレビの説明書もお読みください) ● HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。 ● 詳しくは、127ページをお読みください。
ビエラリンク 本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ビエラのリモコンで操作できるように設定します。	[OFF]: 本機のボタンでの操作になります。 [ON]: ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。(すべての操作はできません) 本機のボタンでの操作は制限されます。 ● HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。 ● 詳しくは、128ページをお読みください。
3D テレビ出力 3D画像の出力方法を設定します。	[3D]: 3D対応テレビに接続する場合に設定します。 [2D]: 3D非対応のテレビに接続する場合に設定します。 3D対応テレビで2D(従来の画像)再生したい場合も、この設定にしてください。 ● HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。 ● 3D画像を3Dで再生する方法については、125ページをお読みください。
シーンメニュー シーンモードに切り換えたときに表示される画面を設定します。	[OFF]: 現在選択されているシーンモードの撮影画面を表示 [AUTO]: シーンモードの選択画面を表示
タッチパネル調整 タッチしたものと違うものが選択されたり、タッチ操作が反応しなかった場合などに、タッチパネルの位置調整をします。	**1** **[MENU/SET]を押す** **2** **画面に表示されるオレンジ色の[+]マークを、タッチペン(付属)で順番にタッチする(5か所)** ● 位置調整が完了するとメッセージが表示されます。 (画面例: ↩戻る) **3** **[MENU/SET]を押して終了する** ● 正しい位置をタッチしなかった場合、タッチパネル調整は行われません。[+] マークをタッチし直してください。

基本

セットアップメニューを使う（つづき）

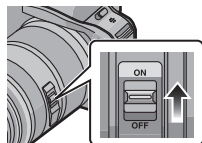
セットアップメニューの設定方法はP43へ

項目	設定・お知らせ
Ver. バージョン表示 本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。	● レンズを取り付けていないときは、レンズファームウェアは［–.–］と表示されます。
番号リセット 次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。	● フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。 ● フォルダー番号は100～999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット（下記）することをおすすめします。 ● フォルダー番号を100にリセットするには、まずカードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。
設定リセット 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	**撮影設定** **セットアップ/カスタム設定** ● 撮影設定をリセットすると、[個人認証]で登録したデータもリセットされます。 ● セットアップ/カスタム設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。また、再生メニューの[回転表示] は[ON]になります。 ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の誕生日設定、名前設定 ・[トラベル日付] の設定内容（出発日、帰着日、旅行先） ・[ワールドタイム] の設定内容 ● フォルダー番号、時計の設定は変わりません。
フォーマット カードをフォーマット（初期化）します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。**	● フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC8）を使用し、フォーマット中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。 ● 他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。 ● フォーマットできないときは、別のカードを入れてお試しいただいてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

手ブレを補正する

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。交換レンズ（H-FS014042、H-FS045200）には、手ブレ補正機能があります。

- 交換レンズ（H-FS045200）には、O.I.S.スイッチがあります。（右図）O.I.S.スイッチのあるレンズをご使用の場合は、レンズのO.I.S.スイッチを[ON]にすることで手ブレ補正機能が働くように設定することができます。（お買い上げ時は[((✋))]に設定されています）
- 交換レンズ（H-FS014042）には、O.I.S.スイッチがありません。手ブレ補正の設定は撮影メニューで行ってください。

■ 撮影メニューで手ブレ補正を設定する

1 撮影メニューから［手ブレ補正］を選ぶ（P43）

2 カーソルボタンの▲/▼で設定を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定内容
OFF	手ブレ補正は働きません。（O.I.S.スイッチのないレンズをご使用の場合のみ選択できます）
((✋))（通常）	撮影モード時、常に手ブレを補正します。
((✋))↕※（流し撮り）	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り（一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法）するときに適しています。

※インテリジェントオートモード時は設定できません。

- 手ブレ補正機能のないレンズを使用した場合、［手ブレ補正］は選択できません。
- 設定後はメニューを終了してください。

■ 手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[((📷))]が表示されたときは、手ブレ補正、三脚、セルフタイマー（P63）、シャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）（P142）などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
  - ・スローシンクロ / 赤目軽減スローシンクロ
  - ・シーンモードの[夜景&人物]/[夜景]/[パーティー]
  - ・シャッタースピードを遅くしたとき

お知らせ

- 三脚を使用するときは、手ブレ補正を[OFF]にすることをおすすめします。[OFF]に設定すると、画面に[((✋))OFF]が表示されます。
- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  - ・手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
  - ・デジタルズーム使用時
  - ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - ・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき

  シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
- 以下の場合、[((✋))↕]での流し撮りの効果が出にくくなります。
  - ・夏の日中など、明るいところ
  - ・シャッタースピードが1/100より速い場合
  - ・被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅い場合（背景が流れません）
  - ・本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合
- [((✋))↕]での流し撮りは、ファインダー撮影をおすすめします。

基本

撮影

ズームを使って撮る

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN

[iA モード時は光学ズームのみ、SCN モード時は光学ズーム、EX テレコンのみ]

■ 光学ズーム

ズームリングを回して、風景などを広く（広角：W側）撮ったり人や物を大きく（望遠：T側）撮ることができます。

■ EX テレコン(EX)

さらに大きく撮るには、撮影メニューまたは動画撮影メニューで[EXテレコン（写真）]、[EX テレコン（動画）]をそれぞれ[ON]に設定してください。

- [EXテレコン（写真）]使用時は、記録画素数を[M]または[S]（EX付きの記録画素数）に設定してください。

■ デジタルズーム

撮影メニューまたは動画撮影メニューの[デジタルズーム]を[2×]または[4×]に設定するとより拡大が可能になります。

■ ズームの種類と撮影倍率

種類	光学ズーム	EXテレコン（EX）	デジタルズーム
撮影倍率	使用するレンズによって異なります。	写真時：2倍※1 動画時：3.6 倍※2	2倍（[2×]選択時） 4倍（[4×]選択時）
画質	劣化しない	劣化しない	拡大するほど劣化する

※ 1 記録画素数[S]（4 M）、画像横縦比[4:3]選択時。記録画素数や画像横縦比により変わります。
※ 2 画質設定 [SH]、[HD]選択時。
　[FSH]選択時は、EXテレコンでの拡大はできません（1 倍）。
　[VGA]、[QVGA]選択時は、EXテレコン倍率は 4.8倍に変わります。

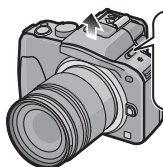
お知らせ

- EXテレコン使用時は、写真と動画のズーム倍率が異なるため、写真撮影画面と動画撮影画面の画角が変わります。[記録枠表示]（P105）の設定を撮影したいモードに合わせておくと、あらかじめ撮影時の画角を確認できます。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー（P63）を使って撮影することをおすすめします。
- 以下の場合、[EXテレコン（写真）]および[デジタルズーム]は使えません。
  - ・[クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定時
  - ・[連写速度]を[SH]に設定時

内蔵フラッシュを使って撮る

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN

■ フラッシュを開く/閉じる

開くとき

閉じるとき

- 使わないときは、フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュを閉じているときは、[⊗]に固定されます。

お知らせ

- **フラッシュを閉じるときに、指などを挟まないようにお気をつけください。**

フラッシュ設定を切り換える

使えるモード：P A S M C1 C2 SCN

撮影内容に合わせて、内蔵フラッシュの発光のしかたを設定します。

- フラッシュを開く。

1　撮影メニューから［フラッシュ］を選ぶ**(P43)**

2　カーソルボタンの▲/▼でモードを選び、[MENU/SET]を押す

- 設定後はメニューを終了してください。

項目	設定内容
⚡A：オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
⚡A◎：赤目軽減オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る(赤目現象)のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ● **暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。**
⚡：強制発光 ⚡◎：赤目軽減強制発光	フラッシュを強制的に発光させます。 ● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。**
⚡S：スローシンクロ ⚡S◎：赤目軽減スローシンクロ	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。 ● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。** ● **シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をおすすめします。**
⊗：発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。** ● **内蔵フラッシュ使用時に発光禁止にするには、フラッシュを閉じてください。**

フラッシュは2回発光します。特に[⚡A◎]、[⚡◎]、[⚡S◎]に設定した場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

内蔵フラッシュを使って撮る（つづき）

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
（○：設定可、×：設定不可、◎：シーンモード初期設定）

	⚡A	⚡A◉	⚡	⚡◉	⚡S	⚡S◉	⊘
iA	○※	×	×	×	×	×	○
P	○	○	○	○	○	○	○
A	○	○	○	○	○	○	○
S	○	○	○	○	×	×	○
M	×	×	○	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	×	○
	○	◎	○	×	×	×	○
	○	◎	○	×	×	×	○
	×	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	×	○
	◎	○	○	×	×	×	○

	⚡A	⚡A◉	⚡	⚡◉	⚡S	⚡S◉	⊘
	◎	×	○	×	×	×	○
	◎	×	○	×	×	×	○
	◎	×	○	×	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎	○
	×	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	×	◎
1	○	◎	○	×	×	×	○
2	○	◎	○	×	×	×	○
	◎	×	○	×	×	×	○
	×	×	×	○	×	◎	○
	×	×	×	×	×	×	◎

※[i⚡A]と表示されます。

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源を[OFF]にしても記憶しています。シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定はモードを変更するたびに初期設定に戻ります。
- 動画撮影時はフラッシュは発光しません。

■ フラッシュ撮影可能範囲

	交換レンズ(H-FS014042)装着時		交換レンズ(H-FS045200)装着時	
	W端時	T端時	W端時	T端時
ISO感度[AUTO]設定時	約 50 cm～約6.7 m※	約 30 cm～約4.1 m※	約1.0 m～約5.8 m※	約1.0 m～約4.1 m※

※[ISO感度上限設定](P97)を[OFF]に設定時

- フラッシュ撮影時に被写体との距離が近い場合、レンズでフラッシュ光がさえぎられたり、フラッシュ光の照明範囲外となるため、撮影画像の一部が暗くなります。被写体との距離を確認しながら撮影してください。フラッシュ光がさえぎられる被写体との距離は、使用するレンズによって異なります。
  - ・交換レンズ(H-FS014042)装着時：50 cm以内(W 端)/30 cm以内(T 端)
  - ・交換レンズ(H-FS045200)装着時：1.0 m以内

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A	1/60 ※1～1/4000秒
⚡A◎	
⚡	1/60 ※2～1/160秒
⚡◎	

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡S	1～1/4000秒
⚡S◎	
⊘	60 ※3～1/4000秒

※1 シャッター優先AEモード時は60秒となります。
※2 シャッター優先AEモード時は60秒、マニュアル露出モード時はB（バルブ）となります。
※3 マニュアル露出モード時はB（バルブ）となります。

- フラッシュ発光時は、シャッタースピードが1/160秒より速い設定には設定できません。
- インテリジェントオートモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

お知らせ

- フラッシュに物を近づけたり、発光中にフラッシュを閉じないでください。熱や光で変形、変色する場合があります。
- 赤目軽減オートなどの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- **使用するレンズによってはフラッシュ光がさえぎられたり、フラッシュ光がレンズの画角をカバーできないため、撮影画像の一部が暗くなる場合があります。**
- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードにさえぎられ、画面の下が暗く（ケラレ）なり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをおすすめします。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュが優先されます。
  外部フラッシュについては、140ページをお読みください。

露出を補正して撮る

撮影モード：P A S C1 C2 SCN

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出オーバー

露出をマイナス方向に補正してください。

適正露出

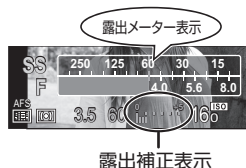
露出をプラス方向に補正してください。

露出アンダー

1 後ダイヤルを押して露出補正操作に切り換える

2 後ダイヤルを回して、露出を補正する

- 露出補正値は－5 EV～＋5 EVの範囲で設定可能です。
  動画撮影時は－3 EV～＋3 EVの範囲で設定可能です。
- 露出を補正しない場合は、"0"を選んでください。
- 後ダイヤルを回すと、[露出メーター]が表示されます。(P103)(ただし、SCN、 モード時は表示されません)

露出補正表示

お知らせ

- 露出量が－3 EVから＋3 EVの範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。撮影画像の実際の明るさは、オートレビューや再生画面で確認しながら撮影することをおすすめします。
- 設定した露出補正量は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- プログラムAEモードでは、絞り値とシャッタースピードの数値が画面に表示中は後ダイヤルを押すごとに、プログラムシフト操作と露出補正操作が切り換わります。
- 絞り優先AEモードでは後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作(P77)と露出補正操作が切り換わります。
- シャッター優先AEモードでは後ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作(P77)と露出補正操作が切り換わります。

連写する

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN ♂

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
連写速度を[SH]で撮影した画像は、ひとつの連写グループ(P107)として記録されます。

1 ▼(連写/セルフタイマー)を押す

2 連写アイコン([連写H] など)をタッチする

3 連写速度を選び、タッチする

		[SH](超高速)	[H](高速)	[M](中速)	[L](低速)
連写速度		20 コマ/秒	4 コマ/秒	3 コマ/秒	2 コマ/秒
連写中のライブビュー		なし	なし	あり	あり
連写コマ数	RAWファイルあり	ー	4～7コマ※		
	RAW ファイルなし	最大40コマ	カードの空き容量による※		

※カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは画像横縦比、記録画素数、クオリティの設定、使用するカードによって異なります。

- 連写速度は、以下の設定によって低下することがあります。
  ・ISO感度(P73)/[記録画素数](P93)/[クオリティ](P94)/[フォーカスモード](P27)/[フォーカス優先](P103)
- 連写速度は、撮影メニューの [連写速度]でも設定できます。
- RAWファイルについては、94ページをお読みください。

4 [決定]をタッチする

5 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。

連写[H(高速)設定時]

撮影

連写する（つづき）

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN ♪

■ 連写とピントについて

ピント合わせは、撮影メニューの[フォーカスモード](P27)とカスタムメニューの[フォーカス優先](P103)の設定によって異なります。

フォーカスモード	フォーカス優先	ピント合わせ
AFS	ON	1 コマ目
	OFF	
AFC ※1	ON	常時ピント※2
	OFF	予測ピント※3
MF	―	マニュアルで設定したフォーカス

※1 被写体が暗い場合や連写速度を[SH]に設定時は、ピントは1コマ目に固定されます。
※2 常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。
※3 連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。

お知らせ

- シャッターボタンを押したまま連続撮影するときは、シャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）の使用をおすすめします。シャッターリモコンについては、142ページをお読みください。
- [SH]または[H]（フォーカスモードが[AFS]または[MF]の場合）設定時、1コマ目の露出、ホワイトバランスに固定されます。被写体の明るさの変化によっては、2コマ目以降が明るく撮れたり、暗く撮れたりする場合があります。
  [H]（フォーカスモードが[AFC]の場合）、[M]または[L]設定時、1コマごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- 暗いところでは、シャッタースピードが遅くなるため、連写速度（コマ/秒）が遅くなることがあります。
- インテリジェントオートモード時は、[連写速度]は[H]に固定されます。
- フラッシュが発光するときは、1コマしか撮影できません。
- ホワイトバランスブラケットに設定時は、連写は無効になります。
- 動画撮影では連写は無効になります。

露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN

シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら最大で7枚まで撮影します。

補正幅：[3･1/3]、ブラケット順序：[0/－/＋] 設定時の例

1枚目	2枚目	3枚目
±0 EV	－1/3 EV	＋1/3 EV

1 ▼(連写/セルフタイマー)を押す

2 オートブラケットアイコン([3･1/3] など)をタッチする

3 補正幅を選び、タッチする

4 [決定]をタッチする

5 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケット表示が点滅します。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでにオートブラケットの設定を変更したり、電源スイッチを[OFF]にした場合は、1 枚目からの撮影になります。

オートブラケット表示

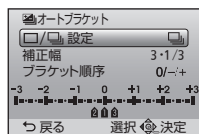
露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）（つづき）

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN ⊘

▲/▼/◄/► はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ オートブラケットの単写・連写設定、補正幅、撮影順序を変更する場合

1 撮影メニューから［オートブラケット］を選ぶ(P43)

2 ▲/▼で［□ /⧉ 設定］、［補正幅］または［ブラケット順序］を選び、[MENU/SET] を押す

3 ▲/▼ で設定内容を選び、[MENU/SET] を押す

項目	設定内容
□/⧉設定	□（単写）
	⧉（連写）

- ［□］設定時は、1 枚ずつ撮影できます。
- ［⧉］設定時は、設定枚数まで連続撮影できます。

項目	設定内容
補正幅	3•1/3（3枚撮影）
	3•2/3（3枚撮影）
	3•1 （3枚撮影）
	5•1/3（5枚撮影）
	5•2/3（5枚撮影）
	5•1 （5枚撮影）
	7•1/3（7枚撮影）
	7•2/3（7枚撮影）
	7•1 （7枚撮影）

項目	設定内容
ブラケット順序	0/−/+
	−/0/+

- 設定後はメニューを終了してください。

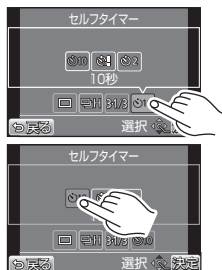
お知らせ

- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- ［超解像］を［拡張］に設定時、オートブラケットを連続撮影する場合、設定枚数分がすべて撮影されるまでに時間がかかることがあります。
- インテリジェントオートモード時は、それぞれの設定が［⧉］、［3•2/3］、［0/−/+］に固定されます。
- フラッシュが発光するときは、1 枚しか撮影できません。
- ホワイトバランスブラケット設定時は、オートブラケットは無効になります。
- 動画撮影ではオートブラケットは無効になります。

セルフタイマーを使って撮る

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN ⌀

1 ▼(□/⏱)を押す

2 セルフタイマーアイコン(⏱10など)をタッチする

3 セルフタイマーの時間を選び、タッチする

項目	設定内容
⏱10	10 秒
⏱10▮	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影
⏱2	2 秒

4 [決定]をタッチする

5 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- ピントが合うまで、撮影されません。フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。
- ピントが合っていない場合でもシャッターボタンの全押しで撮影されるようにしたいときは、カスタムメニューの[フォーカス優先]を[OFF]に設定してください。(P103)
- セルフタイマーランプが点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。
- [⏱10▮]選択時は、1枚目および2枚目撮影後にセルフタイマーランプが再度点滅し、2秒後に撮影動作を開始します。

セルフタイマー (10秒設定時)

お知らせ

- セルフタイマーの時間は、撮影メニューの[セルフタイマー]でも設定できます。
- インテリジェントオートモード時は、撮影メニューでのセルフタイマーの時間の設定はできません。
- セルフタイマーを2秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
- [⏱10▮]設定時、撮影状況によっては撮影間隔が 2 秒以上になることがあります。
- [⏱10▮]設定時、フラッシュ発光量は一定にならないことがあります。
- インテリジェントオートモードやホワイトバランスブラケット設定時は、[⏱10▮]に設定できません。
- 動画撮影ではセルフタイマーは無効になります。

自動でピントを合わせて撮る（オートフォーカス）

撮影モード：P A S M C1 C2 SCN

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを選択できます。
また、タッチパネルを使って指定した被写体にピントを合わせることができます。
（カスタムメニューの[タッチ設定]で、[タッチAF]を[ON]に設定してください）
撮影状況や撮りたい構図に合わせて使い分けてください。

1 [フォーカスモード]を[AFS]または[AFC]に設定する（P27）

2 ◀( )を押す

3 オートフォーカスモードを選び、タッチする

- [ ]、[ ]、[ ]、[ ]を選択時に▼を押すと、AFエリア選択画面が表示されます。AFエリア選択画面での操作については、66、67ページをお読みください。

4 [決定]をタッチする

お知らせ

- シーンモードの[料理]、[夜景]、[イルミネーション]では[ ]に設定できません。
- [フォーカスモード]の[AFC]では[ ]に設定できません。
- デジタルズーム使用時は、[ ]に固定されます。
- シーンモードの[背景ボケ]ではAFエリアが小さな1点に固定されます。

（顔認識）について

人の顔を自動的に検知します。（最大15個）認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。

カメラが顔を認識するとAFエリア枠が表示されます。
黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。
白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。

お知らせ

- **AFエリアの位置と大きさを変えることができます。（P67）**
- [ ]選択時、[測光モード]を[ ]に設定すると、人の顔に合わせて露出を調整します。（P95）
- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[ ]に切り換わります。
  - ・顔が正面を向いていない／傾いている／極端に明るいまたは暗い／サングラスなどで隠れている／小さく写っている
  - ・顔の陰影が少ない　・動きが速い　・被写体が人物以外である　・手ブレしている

[追尾AF]（追尾AF）について

指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントと露出を合わせ続けます。（動体追尾）

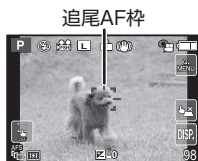
■ タッチパネル操作時

被写体をタッチしてロックできます。

- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。
- ロック中は AFエリアが黄色になります。
- [OFF]をタッチすると、ロックは解除されます。

■ ボタン操作時

被写体を追尾AF枠に合わせ、シャッターボタンを半押しするとロックできます。

- 被写体を認識すると、AFエリアが緑色になります。
- シャッターボタンを離すとAFエリアが黄色に変わります。
- [MENU/SET]を押すと、ロックは解除されます。
- インテリジェントオートモードでは、カーソルボタンの ◀を押すごとに追尾AFと顔認識が切り換わります。

追尾AF枠

お知らせ

- [測光モード]を [(•)] に設定すると、ロックした被写体に合わせて露出を調整します。（P95）
- ロックに失敗したときは、追尾AF枠が赤く点滅したあと消えます。もう一度ロックをやり直してください。
- 追尾AFに失敗したときは、追尾AFは働きません。その際、オートフォーカスモードは[■]に切り換わります。
- 以下の場合、[追尾AF]は[■]の動作になります。
  - ・[フォトスタイル]の[モノクローム]
  - ・クリエイティブコントロールモードの[セピア]
- 以下の場合は、動体追尾機能が働かないことがあります。
  - ・被写体が小さすぎる
  - ・被写体の動きが速い
  - ・手ブレしている
  - ・撮影場所が明るすぎる / 暗すぎる
  - ・被写体と背景の色が同じか類似した色があるとき
  - ・ズーム操作時

[23点]（23点）について

AFエリアごとに最大23点までピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。（AFエリア枠は画像横縦比の設定と同じになります）

お知らせ

- **23個のAFエリアを9つのエリアに分け、ピントを合わせる位置を選択できます。（P67）**
- 動画撮影中、[23点]に設定している場合は、動画用マルチオートフォーカスモードに切り換わります。

自動でピントを合わせて撮る（オートフォーカス）（つづき）

撮影モード：P A S M C1 C2 SCN ⓒ

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

[■]（1点）について

中央のAFエリア内にピントを合わせます。

お知らせ

- **AFエリアの位置と大きさを変えることができます。****(P67)**
- [■]で被写体が撮りたい構図の中央にないときなどは、被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタン半押しでピントと露出を固定し、半押ししたまま撮りたい構図に本機を動かして撮影することもできます。([フォーカスモード]を[AFS]に設定したときのみ)

[+]（ピンポイント）について

[■] より小さな点で繊細なピント合わせができます。画面を拡大することで、細かいピントを合わせる位置の設定ができます。

1 被写体を選び、タッチする
- ピントを合わせる位置を決めるためのアシスト画面が約5倍で拡大表示されます。

2 画面をドラッグして中央の十字の交点に被写体を合わせる
- カーソルボタンでピントを合わせる位置を移動することもできます。
- [🗑/↩]を押すとピントを合わせる位置は中央に戻ります。

お知らせ

- シャッターボタンを半押しするとピントが合っている位置を確認するための画面が約5倍で拡大表示されます。
- アシスト画面では、[⬇]をタッチすることでも、写真を撮影することができます。
- ◀を押し、[+]を選んでから▼を押して拡大位置の設定画面を表示させたあと、カーソルボタンで拡大位置を決めて[MENU/SET]を押してもアシスト画面が表示できます。
- 被写体によって、ピントが合ったときに表示されるAFエリアの大きさが変わることがあります。
- 以下の場合、[+]は[■]の動作になります。
  ・動画撮影時

AFエリアの位置を設定する / 大きさを変更する

- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。
- ボタン操作では、◀ を押して ▼を押すと AF エリア設定画面を表示できます。

[顔認識]、[■] 選択時

AF エリアの位置と大きさを変更することができます。

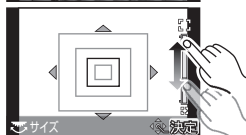
1 被写体を選び、タッチする

- AFエリア設定画面が表示されます。
- カーソルボタンでAFエリアを移動することもできます。
- [削除/戻る]を押すとAFエリアは中央に戻ります。

2 スライドバーをタッチしてAFエリア枠の大きさを変更する

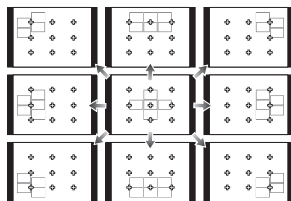
- 4種類の大きさに変更できます。
- 後ダイヤルを回しても拡大 / 縮小できます。

3 [決定]をタッチする

- [MENU/SET]を押して決定することもできます。
- [OFF]をタッチするとAFエリア枠の設定が解除されます。

[23点] 選択時

23個のAFエリアを9つのエリアに分け、ピントを合わせる位置を選択できます。

画面をタッチしてAFエリア設定画面を表示させ、右図のようにAFエリア枠を選択してください。

- タッチパネルから指を離してしばらくするとAFエリア枠が消え、[+]表示（選択した AF エリア枠の中心点）のみが画面に残ります。
- カーソルボタンでAFエリアを移動し、[MENU/SET]を押して決定することもできます。
- [OFF]をタッチするとAFエリア枠の設定が解除されます。

■ [ダイレクトフォーカス移動]でAFエリアを簡単に移動する

[顔認識]、[23点]、[■]選択時にカスタムメニューの[ダイレクトフォーカス移動]を [ON]に設定すると、カーソルボタンで直接AFエリアを移動することができます。[+]のときは、拡大位置を移動することができます。

- オートフォーカスモード、ホワイトバランス、ISO感度、ドライブモードなどカーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー(P45)のメニュー項目に設定してお使いください。

お知らせ

- [測光モード](P95)が[・]のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。画面の端では、AFエリア周辺の明るさの影響を受ける場合があります。
- クリエイティブコントロールモード時は、[ダイレクトフォーカス移動]は[OFF]に固定されます。

手動でピントを合わせて撮る（マニュアルフォーカス）

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN ⊘

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

1 撮影メニューの［フォーカスモード］を［MF］に設定する（P43）

2 レンズのフォーカスリングを回してピントを合わせる

- カスタムメニューの［MFアシスト］を［ON］に設定時は、フォーカスリングを回すとアシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。（MFアシスト）
- カスタムメニューの［MFガイド］を［ON］に設定時は、フォーカスリングを回すと画面にMFガイドが表示されます。近距離側、遠距離側へのフォーカスリングの回転方向を確認できます。

MFアシスト（拡大画面）

MFガイド

MFアシストについて

■ MF アシストを表示する

- フォーカスリングを回す、または画面をタッチすると表示されます。
- カーソルボタンの◀を押して拡大位置の設定画面を表示させたあと、カーソルボタンで拡大位置を決めて［MENU/SET］を押しても表示できます。
- カスタムメニューの［ダイレクトフォーカス移動］が［ON］のときは、カーソルボタンを押すと拡大位置の設定画面になります。

■ MF アシストの表示を変更する

拡大倍率を約4倍/5倍/10倍に変更できます。4倍の場合は画面中央に、5倍/10倍の場合は画面全体に拡大表示されます。

- ［⊕］/［⊖］をタッチする、または後ダイヤルを回すと倍率を変更できます。

■ 拡大位置を移動する

- 画面をドラッグ（P12）する、またはカーソルボタンを押すと移動できます。
- 以下の操作を行うと、拡大位置は中央に戻ります。
  - ・フォーカスモードを［MF］以外に設定したとき
  - ・［画像横縦比］、［記録画素数］を変更したとき
  - ・電源スイッチを［OFF］にしたとき
  - ・拡大位置の設定画面で［🗑/↩］を押したとき

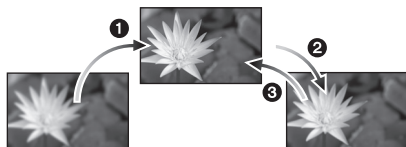
■ MF アシストを終了する

- シャッターボタンを半押しすると終了します。
- 画面の［終了］をタッチする、または［MENU/SET］を押しても終了します。
- フォーカスリングを回して表示した場合は、操作をやめると約10秒後に終了します。

お知らせ

- デジタルズーム使用時、または動画撮影中はMFアシストは表示されません。
- 使用するレンズによりMFアシストまたはMFガイドは表示されない場合がありますが、MFアシストはタッチパネル操作またはボタン操作で本機を直接操作すると表示させることができます。

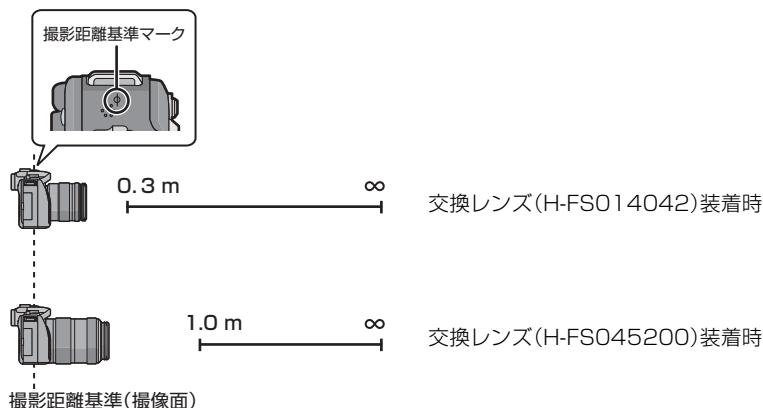
マニュアルフォーカスのテクニック

❶ フォーカスリングを回して、ピントを合わせる
❷ さらに同じ方向に少し回す
❸ ゆっくり戻しながら微調整する

お知らせ

- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- スリープモード解除後は、必ずピントを合わせ直してください。
- 近距離を撮影する場合は…
  - ・三脚を使用し、セルフタイマー(P63)を使って撮影することをおすすめします。
  - ・ピントの合っている範囲(被写界深度)が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
  - ・画像の周辺部の解像度が少し低下することがありますが、故障ではありません。

撮影距離基準について

撮影距離基準マークは撮影距離の基準となるマークです。
マニュアルフォーカスや接写の目安にしてください。

撮影

ホワイトバランスを調整する

撮影モード：P A S M C1 C2 SCN

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 ▶(WB)を押す

2 ホワイトバランスを選び、タッチする

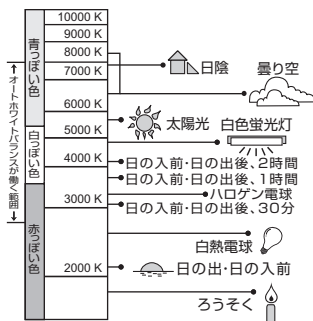
- [◁]/[▷]をタッチすると、項目を切り換えることができます。

3 [決定] をタッチする

項目	撮影状況
[AWB]	自動調整
[☼]	晴天の屋外での撮影時
[☁]	曇りの屋外での撮影時
[⌂]	屋外の晴天下の日陰での撮影時
[白熱灯]	白熱灯下での撮影時
[⚡WB] ※	フラッシュ光のみでの撮影時
[1]、[2]	あらかじめセットしている設定を使用
[K]	あらかじめセットしている色温度設定を使用

※ 動画撮影中は[AWB]の動作になります。

■ オートホワイトバランスについて

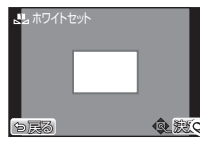
撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。

お知らせ

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB] または [1]、[2] をご使用ください。
- フラッシュ撮影時、フラッシュ撮影可能範囲(P56)外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- 設定したホワイトバランスは電源スイッチを[OFF]にしても記憶していますが、他のシーンモードでホワイトバランスを変更すると、設定したシーンモードのホワイトバランスは[AWB]に戻ります。
- 以下のシーンモードでは、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。
  ・[風景]/[建物]/[料理]/[夜景&人物]/[夜景]/[イルミネーション]/[パーティー]/[夕焼け]
- [ダイレクトフォーカス移動](P67)が[ON]に設定されているときは、カーソルボタンでの操作がAFエリアの移動に変わりますので、クイックメニュー(P45)のメニュー項目に設定して、お使いください。

■ 手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

1 [1]または[2]を選び、[ホワイトセット]をタッチする

2 白い紙など白いものだけを枠内に映し、[決定]をタッチする

お知らせ

- 被写体が明るすぎたり、暗すぎると、ホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは適切な明るさに調整して再度設定してください。

■ 色温度設定

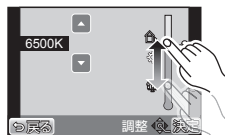
撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。色温度とは、光の色を数値[単位:K(ケルビン)]で表したもので、温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。

1 [K]を選び、[色温度設定]をタッチする

2 色温度設定バーをタッチする

- [▲]/[▼]をタッチまたはカーソルボタンの▲/▼を押しても数値を設定することができます。
- [2500K]～[10000K]まで設定できます。

3 [決定]をタッチする

撮影

ホワイトバランスを調整する（つづき）

撮影モード：P A S M C1 C2 SCN

■ ホワイトバランス微調整

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

1　ホワイトバランスを選び、[調整]をタッチする

2　ホワイトバランス微調整枠内をタッチして、微調整する

- [G+]/[M−]/[A]/[B]をタッチまたはカーソルボタンの▲/▼/◀/▶を押しても微調整することができます。

◀：A（アンバー：オレンジ系）　▲：G＋（グリーン：緑系）
▶：B（ブルー：青系）　▼：M−（マゼンタ：赤系）

3　[決定]をタッチする

お知らせ

- ホワイトバランスをA（アンバー）またはB（ブルー）方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスをG+（グリーン）またはM−（マゼンタ）方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに[+]（グリーン）または[−]（マゼンタ）が表示されます。
- ホワイトバランスを微調整しない場合は、中心点を選んでください。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- 電源スイッチを[OFF]にしても設定したホワイトバランス微調整は記憶されます。
- [1]、[2]で新しくホワイトバランスを設定し直したとき、または[K]で色温度を設定し直したときは、微調整レベルは標準（中心点）に戻ります。

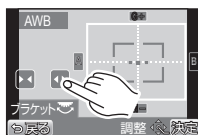
■ ホワイトバランスブラケット

1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、異なった色合いの画像を自動的に3枚撮影します。

1　上記の手順2でホワイトバランスを微調整し、[⇕]/[⇔]をタッチしてブラケット設定を行う

- 後ダイヤルを回してもブラケット設定することができます。

[⇔]または後ダイヤル右回し：横方向（A～B）
[⇕]または後ダイヤル左回し：縦方向（G＋～M−）

2　[決定]をタッチする

お知らせ

- ホワイトバランスブラケットを設定すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに[BKT]が表示されます。
- 電源スイッチを[OFF]（スリープモードを含む）にすると、ホワイトバランスブラケットの設定が解除されます。
- シャッター音は1回しか鳴りません。
- 動画記録時は、ホワイトバランスブラケットは働きません。

ISO感度を設定する

撮影モード：P A S M C1 C2

光に対する感度（ISO感度）を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

1 ▲（ISO）を押す

2 ISO感度を選び、タッチする

3 ［決定］をタッチする

	160 ⟺	6400
撮影場所（おすすめ）	明るいとき（屋外）	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い
被写体ブレ	多い	少ない

ISO感度	設定内容
AUTO ※ 最大[ISO800]	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。
iISO ※（インテリジェント） 最大[ISO800]	被写体の動きと明るさに応じて、ISO感度を調整します。
160/200/400/800/ 1600/3200/6400	それぞれのISO感度に固定します。 **（撮影メニューの[ISO感度ステップ]（P97）を[1/3 EV]に設定しているときは、設定できるISO感度の項目が増加します）**

※ 撮影メニューの[ISO感度上限設定]（P97）を[OFF]以外に設定しているときは、[ISO感度上限設定]の設定値までの範囲で自動的に設定します。

■ iISO（インテリジェントISO感度コントロール）について

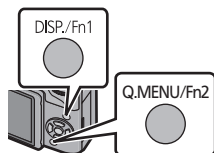
被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレをおさえます。

- シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。

お知らせ

- [AUTO]設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、56ページをお読みください。
- シーンモードの［スポーツ］、[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]では[iISO]に固定されます。
- [ダイレクトフォーカス移動]（P67）が[ON]に設定されているときは、カーソルボタンでの操作がAFエリアの移動に変わりますので、クイックメニュー（P45）のメニュー項目に設定して、お使いください。

ファンクションボタンを使う

機能をボタンに割り当てる[Fn1]、[Fn2](ファンクション)ボタンを使うと、露出やピントを固定して撮る「AF/AE ロック」や、絞りとシャッタースピードの効果を確認する「プレビューモード」などが使えます。

1 カスタムメニューの[DISP./Fn1ボタン]を[Fn1]に設定する、または[Q.MENU/Fn2ボタン]を[Fn2]に設定する(P43)

2 カスタムメニューの[Fnボタン設定]から[Fn1]または[Fn2]を選び、[MENU/SET]を押す

3 割り当てる機能を選び、[MENU/SET]を押す

● [Fn1]、[Fn2]のそれぞれにお好みの機能を割り当ててください。

撮影メニュー/撮影機能	
・AF/AE ロック(P75)	・測光モード(P95)
・プレビュー(P76)	・フラッシュ(P55)
・フォトスタイル(P92)	・フラッシュ光量調整(P96)
・フォーカスエリア選択	・ISO 感度上限設定(P97)
・FOCUS フォーカスモード(P27)	・EX テレコン(写真·動画)(P54)
・画像横縦比(P93)	・連写速度(P59)
・クオリティ(P94)	・オートブラケット(P61)

カスタムメニュー	
・半押しAF(P104)	・記録枠表示(P105)
・ガイドライン表示(P102)	

● 設定後はメニューを終了してください。

お知らせ

● モードや表示画面によっては、使えない機能もあります。
● [フォーカスエリア選択]設定時は、AFエリアまたはMFアシストの位置設定画面を表示することができます。

露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック)

使えるモード:

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

- [Fn1] の初期設定は、[AF/AE ロック] に設定されています。

1 カスタムメニューの[Fn ボタン設定]を[AF/AE ロック]に設定する(P43)

2 被写体に画面を合わせる

3 [Fn1]ボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する

- [Fn1]ボタンを離すと、ロックは解除されます。

AEロック表示

4 [Fn1]ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

- [AE]設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。

■ AF/AEロック切換について

カスタムメニューの[AF/AEロック切換]で、ピントや露出の固定内容を設定できます。

項目	設定内容
[AE]	露出だけを固定します。 ● 露出が合うと、[AEL]および絞り値とシャッタースピードの表示が点灯します。
[AF]	ピントだけを固定します。 ● ピントが合うと、[AFL]およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。
[AF/AE]	ピントと露出を固定します。 ● ピントと露出が合うと、[AFL]と[AEL]、およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。

お知らせ

- カスタムメニューの[AF/AEロック維持]を[ON]に設定すると、[Fn1]ボタンを押したあと、離してもピントや露出を固定することができます。(P103)
- AEロックを行うと、液晶モニター/ファインダーに映る画面(ライブビュー)の明るさも固定されます。
- マニュアル露出モード時は、AFロックのみ有効です。
- マニュアルフォーカス時は、AEロックのみ有効です。
- 動画撮影中に新たにAEロック、AFロックを行うことはできません。動画撮影中はロックの解除操作のみ可能です。
- 被写体の明るさが変わっても、露出は固定されます。
- AEロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- AEロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

ファンクションボタンを使う（つづき）

絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する（プレビューモード）

使えるモード: iA P A S M C1 C2 SCN ◎

プレビューモードを使うと、絞り効果とシャッタースピード効果の確認ができます。

- **絞り効果の確認**:実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度（ピントの合っている範囲）を確認することができます。
- **シャッタースピード効果の確認**:実際に撮影されるシャッタースピードでの画面を表示し、動きを確認することができます。シャッタースピードを速く設定すると、画面表示がコマ落としのように表示されます。水の流れなど、動きを止めて撮影したいときに確認してください。
- [Fn2] の初期設定は、[プレビュー] に設定されています。

1 **カスタムメニューの [Fn ボタン設定] を [プレビュー] に設定する。（P43）**

2 **[Fn2] ボタンを押して確認画面を切り換える**

- [Fn2] ボタンを押すごとに画面が切り換わります。

■ 被写界深度の性質

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	レンズの焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度（ピントの合っている範囲）		**浅い（狭い）** 例: 背景をぼかして撮りたいときなど	**深い（広い）** 例: 背景までピントを合わせて撮りたいときなど

お知らせ

- プレビューモード中でも撮影することができます。
- シャッタースピード効果確認の範囲は、8秒～1/1000秒です。

絞り/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード：ASM

A：絞り優先AE モード

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

1 モードダイヤルを [A] に合わせる

2 後ダイヤルを回して絞り値を設定する

● 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作と露出補正操作が切り換わります。

S：シャッター優先AE モード

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 モードダイヤルを [S] に合わせる

2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

● 後ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。

M：マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。
露出の状態の目安を示す、マニュアル露出アシストが画面下部に表示されます。

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 後ダイヤルを回して絞り値とシャッタースピードを設定する

● 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作とシャッタースピード設定操作が切り換わります。

■ マニュアル露出アシストについて

表示	説明
±0	適正露出になります。
0 +3	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
−3 0	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

● マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをおすすめします。

撮影

絞り/シャッタースピードを決めて撮る（つづき）

撮影モード：ASM

■ B(バルブ)について

シャッタースピードをB（バルブ）に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。（最大約120秒間）
シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。
花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。

- バルブ撮影時は、三脚やシャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）の使用をおすすめします。シャッターリモコンについては、142ページをお読みください。
- シャッタースピードをB（バルブ）に設定すると、画面に[B]が表示されます。
- バルブ撮影時は、十分に充電されたバッテリー（P18）を使用してください。
- バルブ撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、撮影メニューの[長秒ノイズ除去]を[ON]にして撮影することをおすすめします。（P98）
- マニュアル露出アシストは表示されません。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。

お知らせ

- クイックメニュー（P45）では、[F]（絞り）または[SS]（シャッタースピード）をタッチし、露出メーターバーをドラッグすると、絞り値またはシャッタースピードの設定ができます。
- 液晶モニター/ファインダーの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 後ダイヤルを回すと、[露出メーター]が表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- シャッタースピードを遅く設定したときは、シャッターボタンを全押しすると、シャッタースピードの表示がカウントダウンします。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚を使うことをおすすめします。
- フラッシュ発光時は、1/160 秒より速いシャッタースピードには設定できません。（P57）
- ISO感度が[iISO]のときに、撮影モードをシャッター優先AEに切り換えると、ISO感度は[AUTO]になります。
- ISO感度が[AUTO]または[iISO]のときに、撮影モードをマニュアル露出に切り換えると、ISO感度は[ISO160]になります。
- 絞り優先AEのときに絞りリングのあるレンズを使用する場合は、絞りリングの位置を[A]にすると後ダイヤルの設定が有効になり、[A]以外では絞りリングの設定が優先されます。
- マニュアル露出のときに絞りリングのあるレンズを使用する場合は、絞りリングの設定が優先されます。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）

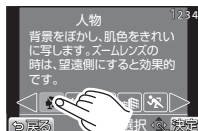
撮影モード：SCN

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせかたなどを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを[SCN]に合わせる

2 シーンモードを選び、タッチする

- [◁]/[▷]をタッチすると、項目を切り換えることができます。

3 [決定]をタッチする

お知らせ

- シーンモードを変更したい場合は、[MENU/SET]を押し、メニューから[シーンモード]を選んで上記手順 **2** に戻ります。
- シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため以下の設定はできません。
  - ・ISO感度/[フォトスタイル]の[スタンダード]、[モノクローム]以外の項目/[測光モード]/[フラッシュシンクロ]※/[超解像]/[iDレンジコントロール]/[ISO感度上限設定]/[デジタルズーム]
  - ※[背景ボケ]時のみ設定できます。

項目	設定・お知らせ
人物 昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に撮影できます。	**撮影のテクニック** ●ズーム機能のあるレンズを使用した場合、ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
美肌 昼間の屋外で、[人物]より肌の表面を特になめらかに撮影できます。（胸から上を撮りたいときに効果的です）	**撮影のテクニック** ●ズーム機能のあるレンズを使用した場合、ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。 ●背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時になめらかになります。 ●明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。
風景 遠くにある被写体に優先的にピントを合わせます。	―
建物 建物がシャープに写る設定です。ガイドラインを表示します。	―
スポーツ スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。	―

撮影

撮影モード：SCN

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定･お知らせ</th></tr>
<tr><td>背景ボケ

ピントを合わせる被写体をかんたんに指定し、背景をぼかして被写体を引き立てます。</td><td>AF エリアを設定する
1 被写体をタッチし、AFエリアを移動する
●カーソルボタンでも AF エリアを移動できます。
2 [決定]をタッチする
●クイック AF が自動的に働きます。
●ホワイトバランス設定（P70）などカーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー（P45）のメニュー項目に設定して、お使いください。
●カーソルボタンを押すと、AFエリア設定画面が表示されます。[🗑/↩]を押すとAFエリアは中央に戻ります。
●被写体および背景までの距離や使用するレンズによっては、得られる効果に差があります。できるだけ被写体に近づいて撮影することをおすすめします。（P69）</td></tr>
<tr><td>花

マクロの設定で屋外の花を自然な色で撮影できます。ガイドラインを表示します。</td><td>撮影のテクニック
●三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
●近距離で撮影する場合は、フラッシュを[⊛]にすることをおすすめします。
●ピントが合う範囲は、使用するレンズによって異なります。69ページの「撮影距離基準について」をお読みください。
●被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
●撮影時は近距離側を優先するため、遠くの被写体を撮影する場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
●近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
●レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい被写体にピントが合わない場合がありますのでお気をつけください。</td></tr>
<tr><td>料理
レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。</td><td>撮影のテクニック
●三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
●近距離で撮影する場合は、フラッシュを[⊛]にすることをおすすめします。
●その他のお知らせについては、[花]をお読みください。</td></tr>
<tr><td>コレクション
アクセサリーやコレクションなどの小物を、くっきり明るく、色鮮やかに撮影できます。</td><td>撮影のテクニック
●三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
●近距離で撮影する場合は、フラッシュを[⊛]にすることをおすすめします。
●その他のお知らせについては、[花]をお読みください。</td></tr>
</table>

項目	設定・お知らせ
夜景&人物 人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュを開いてください。([⚡S◎]に設定できます)** ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● 被写体の人に、撮影後約1秒間は動かないように伝えてください。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
夜景 夜景を鮮やかに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
イルミネーション イルミネーションをきれいに写します。	**撮影のテクニック** ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（つづき）

撮影モード：SCN

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

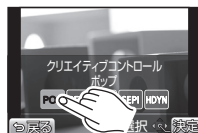
項目	設定・お知らせ
赤ちゃん1/ 赤ちゃん2 赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。[赤ちゃん1]と[赤ちゃん2]のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P114)で撮影画像に焼き込むことができます。	**誕生日/名前を設定する** **1　▲/▼で[月齢/年齢]または[名前]を選び、[MENU/SET]を押す** **2　▲/▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す** **3　誕生日/名前を入力する** 誕生日：◀/▶：項目(年・月・日)選択、▲/▼：設定、[MENU/SET]：決定 名前：文字入力の方法については91ページの「文字を入力する」をお読みください。 ● 誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。 ● 誕生日/名前が登録されていない場合に[ON]にすると、自動的に設定画面が表示されます。 **4　▲/▼で[終了]を選び、[MENU/SET]を押して終了する** 赤ちゃん1 月齢/年齢　OFF 名前　OFF 終了 戻る　選択　決定 **月齢 / 年齢や名前の表示を解除するには** 手順**2**で[OFF]に設定してください。 ● CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って月齢/年齢や名前をプリントすることができます。 ● 誕生日や名前を設定していても[月齢/年齢]または[名前]を[OFF]にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。
ペット 犬や猫などのペットを撮りたいときに合わせてください。ペットの誕生日や名前を設定できます。	[月齢/年齢]、[名前]については、上記の[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。
パーティー 結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュを開いてください。([$\sharp$S◎]または[$\sharp$◎]に設定できます)** ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
夕焼け 夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。	—

画像効果を変えて撮る（[icon]: クリエイティブコントロールモード）

撮影モード：[icon]

被写体を液晶モニターまたはファインダーに映して(ライブビュー)手軽に確認しながら、お好みの効果を設定して撮影することができます。

1 モードダイヤルを[[icon]]に合わせる

2 項目を選び、タッチする

項目	効果
POP ポップ	色を強調したポップアート風の画像効果です。
RETR レトロ	色あせた写真の雰囲気をかもし出した、柔らかい画像効果です。
HKEY ハイキー	全体的に明るい雰囲気となる画像効果です。
SEPI セピア	セピア色の画像効果です。
HDYN ハイダイナミック	暗いところから明るいところまで適度な明るさで描き出し、色を強調した印象的な画像効果です。

3 [決定]をタッチする

お知らせ

- クリエイティブコントロールモードを変更したい場合は、[MENU/SET]を押し、メニューから[クリエイティブコントロール]を選んで上記手順 **2** に戻ります。
- 撮影画面で[[icon]]をタッチすると、ボケ味コントロールを設定できます。(P34)
- クリエイティブコントロールの設定は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- ISO感度は[AUTO]に、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。

カスタムモードで撮る（C1 C2：カスタムモード）

撮影モード：C1 C2

撮影状況などに合わせて、[カスタムセット登録]で保存した登録パターン（カスタムセット）を選択することができます。
お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

1 モードダイヤルを[C1]または[C2]に合わせる

- [C1]に合わせたとき
  →[C1]に登録されたカスタムセットで撮影できます。
  （画面に[C1]が表示されます）
- [C2]に合わせたとき
  →手順 **2**、**3**、**4** へ

2 [MENU/SET]を押し、[カスタムモード]をタッチする

3 カスタムセットを選び、タッチする

- 選択されているカスタムセットの設定内容が表示されます。
- 一部のメニュー項目のみ表示されます。（表示されるメニュー項目については下記を参照してください）

Q-AF	クイックAF	FOCUS	フォーカス優先	DISP./Fn1	DISP./Fn1ボタン
ISO MAX	ISO感度上限設定	AF✳	AF補助光	Fn1	Fn1ボタンの設定※
NR	長秒ノイズ除去	AF+MF	AF+MF	Q.MENU/Fn2	Q.MENU/Fn2ボタン
（オートレビューアイコン）	オートレビュー	（レンズ無しレリーズアイコン）	レンズ無しレリーズ	Fn2	Fn2ボタンの設定※

※ [DISP./Fn1ボタン]を[Fn1]に設定するか、[Q.MENU/Fn2ボタン]を[Fn2]に設定したカスタムセットを選んだ場合のみ表示されます。

4 [決定]をタッチする

- 選択されているカスタムセット表示が画面に表示されます。

▲/▼/◄/► はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして4つまで登録しておくことができます。

● あらかじめ、保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定をしておいてください。

1　カスタムメニューから[カスタムセット登録]を選ぶ(P43)

2　▲/▼で登録したいカスタムセットを選び、[MENU/SET]を押す

● モードダイヤルの[C1]では、[C1]に登録したカスタムセットを使うことができます。モードダイヤルを合わせるだけで撮影できますので、よく使うカスタムセットを登録しておけば、便利にお使いいただけます。

● モードダイヤルの[C2]では、[C2-1]、[C2-2]または[C2-3]に登録したカスタムセットの中から選ぶことができます。3つまでカスタムセットを登録できますので、状況に合わせてお使いください。

● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

■ メニュー設定を変更する場合は

カスタムセットのいずれかを選択した状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、カスタムメニューの[カスタムセット登録]で登録内容を上書きしてください。

お知らせ

● 以下のメニュー項目はカスタムセット登録されず、他の撮影モードに反映されます。

撮影メニュー/撮影機能	セットアップメニュー	カスタムメニュー
・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の誕生日および名前設定 ・[個人認証]で登録されたデータ	・[オートレビュー]以外のメニュー	・[iAボタン切換] ・[タッチガイド] ・[タッチ再生送り速度]

撮影

動画撮影中に写真を記録する

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN ⊘

動画撮影中でも写真を記録することができます。（同時記録）

動画撮影中に、シャッターボタンを全押しする

同時記録表示

- 写真を記録中は同時記録表示が表示されます。
- タッチシャッター機能（P29）を使って、写真を撮影することもできます。

■ 動画優先、写真優先を設定する

使えるモード：P A S M C1 C2 SCN ⊘

動画撮影メニューの［写真撮影］で、動画撮影中の写真の記録方法を設定することができます。

項目	設定内容
（動画優先）	●記録画素数［S］（2 M）で写真を記録します。通常の写真の［S］（2 M）とは画質が異なる場合があります。 ●クオリティを［RAW］、［RAW］または［RAW］に設定時はJPEG画像のみ記録されます。（［RAW］設定時はクオリティは［］で記録されます） ●動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大30枚までです。
（写真優先）	●設定した記録画素数、クオリティで写真を記録します。 ●写真を記録中は画面が黒くなります。その間、動画には静止画像が記録され、音声がとぎれます。 ●動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大8枚までです。

お知らせ

- 写真の画像横縦比は［16:9］に固定されます。
- 以下の場合、同時記録はできません。
  - ・［MOTION JPEG］の［VGA］、［QVGA］設定時
  - ・EXテレコン使用時（［（写真優先）］設定時のみ）

個人認証機能を使って撮る

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

お買い上げ時、[個人認証]は[OFF]に設定されています。
顔画像を登録すると自動的に[ON]になります。

- **個人認証機能では、以下の機能も働きます。**

  撮影時
  - ・カメラが登録した顔を認識時、名前を表示※
    （名前を設定している場合）
  - ・撮影回数の多い顔をカメラが記憶し、自動的に登録画面を表示
    （[自動登録]を[ON]に設定している場合）

  再生時
  - ・名前や月齢/年齢の表示（情報を登録している場合）
  - ・登録人物から選んだ人物の画像のみを再生（[カテゴリー再生]（P112））

  ※名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。

お知らせ

- **[個人認証]は、オートフォーカスモードを[顔]に設定しているときのみ有効です。**
- 連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- 以下のシーンモードでは、[個人認証]を設定できません。
  - ・[背景ボケ]/[料理]/[夜景]/[イルミネーション]
- [フォーカスモード]を[MF]に設定している場合は、自動登録は働きません。
- 個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。
- 個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔認識よりも時間がかかります。
- 動画撮影時は[OFF]に固定されます。
- 個人認証情報を登録していても、名前を[OFF]にして撮影した画像は、[カテゴリー再生]の個人認証に分類されません。
- **個人認証情報を変更した場合（P89）でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。**
  例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は[カテゴリー再生]の個人認証に分類されなくなります。
- 撮影した画像の名前情報を変更するには[認証情報編集]の[入換え]（P122）を行ってください。

撮影

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN

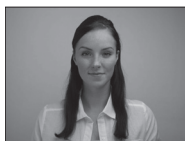
▲/▼/◄/► はカーソルボタンの上下左右を表しています。

顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。
同じ人物の顔画像を複数枚登録するなど（1登録につき最大3枚）、顔登録のしかたを工夫することにより個人認証されやすくなります。

■ 顔画像登録時の撮影ポイント

登録時の良い例

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。（登録時、フラッシュは発光しません）

■ 撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。（P89）
- 撮影するその場で追加して登録する。
- [感度]の設定を変更する。（P90）
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、再度登録し直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

■ 新規登録

1 撮影メニューから[個人認証]を選び、[MENU/SET]を押す（P43）

2 ▲/▼で[登録]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ▲/▼/◄/►で未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET]を押す

4 ガイドに顔を合わせて撮影する

- 人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。
- ►を押すと、顔登録撮影の説明が表示されます。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

5 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

●顔画像は3枚まで登録できます。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>名前</td><td colspan="2">名前を設定します。
1　▼で [設定] を選び、[MENU/SET] を押す
2　名前を入力する
●文字入力の方法については、91ページの「文字を入力する」をお読みください。</td></tr>
<tr><td>月齢/年齢</td><td colspan="2">誕生日を設定します。
1　▼で [設定] を選び、[MENU/SET] を押す
2　◀/▶で項目(年・月・日)を選んで▲/▼で設定し、[MENU/SET] を押す</td></tr>
<tr><td rowspan="2">追加登録</td><td>追加登録</td><td>顔画像を追加登録します。
1　未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET] を押す
2　「新規登録」の手順4を行う</td></tr>
<tr><td>解除</td><td>顔画像を 1 枚消去します。
◀/▶ で解除したい顔画像を選び、[MENU/SET] を押す
●画像が1枚しか登録されていない場合は、解除できません。</td></tr>
</table>

●設定後はメニューを終了してください。

■ 登録した人物の情報を変更または解除する

すでに登録している人物の顔画像や情報を変更することができます。また、登録している人物の情報を消去することができます。

1　撮影メニューから [個人認証] を選び、[MENU/SET] を押す(P43)
2　▼で [登録] を選び、[MENU/SET] を押す
3　▲/▼/◀/▶ で編集または解除したい顔画像を選び、[MENU/SET] を押す
4　▲/▼で項目を選び、[MENU/SET] を押す

項目	設定内容
情報編集	すでに登録している人物の情報を変更します。 **「新規登録」の手順5を行う**
登録順	登録順にピントや露出を合わせます。 **▲/▼/◀/▶ で登録順を選び、[MENU/SET] を押す**
解除	すでに登録している人物の情報を消去します。 **▲で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す**

●設定後はメニューを終了してください。

個人認証機能を使って撮る（つづき）

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

自動登録/感度を設定する

個人認証の自動登録や感度の設定ができます。

1 撮影メニューから[個人認証]を選び、[MENU/SET]を押す（P43）

2 ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定
自動登録	[OFF]/[ON] ●[自動登録]を[ON]に設定すると自動的に[個人認証]が[ON]になります。 ●詳しくは、下記の「自動登録について」をお読みください。
感度	[高]/[標準]/[低] ●認証されにくいときは[高]を選んでください。認証されやすくなりますが、異なる人物を認証する可能性も高くなります。 ●異なる人物を認証することが多いときは[低]を選んでください。 ●設定を元に戻したいときは、[標準]を選んでください。

●設定後はメニューを終了してください。

■ 自動登録について

[自動登録]を[ON]に設定すると、撮影回数の多い顔に対して、撮影後、自動的に登録画面が表示されるようになります。

●登録画面が表示される目安は3回です。
●自動登録だけでは極端に認証されにくい場合があります。あらかじめ撮影メニューの[個人認証]から顔画像登録を行ってください。

■ 自動登録画面から登録する

1 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

●登録している人物が一人もいない場合は、手順**3**へ進んでください。
●[いいえ]を選ぶと再度選択画面が表示されます。
　▲で[はい]を選ぶと、[自動登録]が[OFF]に設定されます。

2 ▲/▼で[新規登録]または[顔画像追加登録]を選び、[MENU/SET]を押す

項目	内容
新規登録	●すでに6人登録されているときは、登録人物の一覧が表示されます。入れ換える人物を選んでください。
顔画像追加登録	登録済みの人物に顔画像を追加登録します。 **▲/▼/◀/▶で追加登録する人物を選び、[MENU/SET]を押す** ●すでに顔画像が３枚登録されている場合は、画像入れ換えの画面が表示されます。入れ換える顔画像を選んでください。

●顔画像の追加登録や入れ換えを行ったあとは、自動的に撮影画面に戻ります。

3 「新規登録」の手順5以降の操作を行う

お知らせ

●登録画面がなかなか表示されない場合は、同じ環境や表情で撮影すると表示されやすくなります。
●すでに登録した人物に対して登録画面が表示される場合は、そのまま追加登録を行うと認証されやすくなります。
●フラッシュ撮影された画像が登録されると、認証されにくくなる場合があります。

文字を入力する

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影時に、赤ちゃんやペットの名前、旅行先などを登録しておくことができます。(ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます)

1 入力画面を表示する

- 入力画面は以下の操作から表示できます。
  - ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2](P82)、[ペット](P82)の[名前]
  - ・[個人認証]の[名前](P89)
  - ・[トラベル日付]の[旅行先](P48)
  - ・[タイトル入力](P113)

2 ▲/▼/◀/▶で文字を選び、[MENU/SET]で入力する

- 項目を選び、[MENU/SET]を押すと以下の操作が行えます。
  - ・[_]: 空白を入力
  - ・[切換]: かな(ひらがな)、カナ(カタカナ)、A/a(アルファベット)、1(数字)、&(記号)に文字を切り換える
  - ・[消去]: 文字を消去
  - ・[◀]: 入力位置を左に移動
  - ・[▶]: 入力位置を右に移動
- 入力位置のカーソルは、後ダイヤルで左右に移動できます。
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、後ダイヤルを右側に回し、カーソルを移動させてください。
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  - ・かな/カナ:最大15文字 ([個人認証]の名前は最大6文字)
  - ・A/a/1/&※:最大30文字 ([個人認証]の名前は最大9文字)

※[＼]、[「]、[」]、[・]、[ー] は最大15文字([個人認証]の名前設定時は最大6文字) です。

3 ▲/▼/◀/▶で[決定]を選び、[MENU/SET]を押して入力を終了する

文字入力例
「パリ」と入力する場合: ❶ [切換] を選び、[MENU/SET]を押し、カナに切り換える ❷ 「ハ」を選び、[MENU/SET]を押す ❸ 「゛ ゜」を選び、[MENU/SET]を2回押し、「パ」にする ❹ 「ラ」を選び、[MENU/SET]を2回押す ❺ [決定]を選び、[MENU/SET]を押す

お知らせ

- 入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。

撮影

撮影メニューを使う

● [フォトスタイル]、[フォーカスモード]、[測光モード]、[iDレンジコントロール]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

フォトスタイル

撮影したいイメージに合わせて、6 種類の効果を選択することができます。お好みに合わせて効果の色や画質を調整することができます。

使えるモード: iA P A S M C1 C2 SCN

STD. [スタンダード]	標準的な設定
VIVD [ヴィヴィッド] ※1	彩度高め、コントラスト高めの鮮やかな効果
NAT [ナチュラル] ※1	コントラスト低めの柔らかな効果
MONO [モノクローム]	色味を抜いた単色の効果
SCNY [風景] ※1、2	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した効果
PORT [人物] ※1、2	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した効果
CUST [カスタム] ※1	あらかじめ登録している設定を使用

※1 インテリジェントオートモード、シーンモード時は設定できません。
※2 シーンモードの [風景] や [人物] とほぼ同じ色や画質ですが、画質調整やホワイトバランスなどを使ってお好みの画質に調整することもできます。

■ 画質調整する

1 ◀/▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ

2 ▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で調整する

項目		効果
コントラスト	+	画像の明暗差を大きくします。
	−	画像の明暗差を小さくします。
S シャープネス	+	画像の輪郭を強調します。
	−	画像の輪郭を柔らかくします。
彩度	+	派手で鮮やかな色になります。
	−	落ち着いた色になります。
NR ノイズリダクション	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感がわずかに低下する場合があります。
	−	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。

- 登録した内容は電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
- 画質調整すると、フォトスタイルアイコンに[＋]が表示されます。
- [モノクローム]選択時は[彩度]で色調を変更できます。
- インテリジェントオートモード、シーンモード時は画質調整することはできません。

3 ▼ で [カスタム 登録] を選び、[MENU/SET] を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
- 設定を[カスタム]に登録できます。

撮影メニューの設定方法はP43へ

お知らせ

- フォトスタイルは、特有の画質を生成するため、カメラ内部で減感または増感に相当する処理を行うことがあります。その際は、シャッタースピードが通常と異なることがあります。

画像横縦比

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

使えるモード: iA P A S M C1 C2 SCN

[4:3]	4:3テレビの横縦比
[3:2]	一般のフィルムカメラの横縦比
[16:9]	ハイビジョンテレビなどの横縦比
[1:1]	正方形横縦比

お知らせ

- プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。(P155)

記録画素数

記録画素数を設定します。
画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

使えるモード: iA P A S M C1 C2 SCN

画像横縦比:[4:3]のとき

L (16M)	4592×3448画素
EX M (8M)	3232×2424 画素
EX S (4M)	2272×1704画素

画像横縦比:[3:2]のとき

L (14M)	4576×3056画素
EX M (7M)	3232×2160 画素
EX S (3.5M)	2272×1520画素

画像横縦比:[16:9]のとき

L (11.5M)	4576×2576画素
EX M (6M)	3232×1824画素
EX S (2M)	1920×1080画素

画像横縦比:[1:1]のとき

L (11.5M)	3424×3424画素
EX M (6M)	2416×2416画素
EX S (3M)	1712×1712画素

撮影メニューを使う（つづき）

お知らせ

- [EXテレコン(写真)](P54)を[ON]に設定している場合は、各画像横縦比の[L]以外の記録画素数に[EX]が表示されます。
- デジタル画像は画素という点が集まって作られています。画素が多いと大きな用紙にプリントしたときやパソコンの画面で見たときでも、きめ細かな画像になります。
- [連写速度]を[SH]に設定時は、記録画素数は[S]に固定されます。

クオリティ

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

[ファイン]	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
[スタンダード]		標準画質のJPEG画像です。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
[RAWファイン]	RAW+JPEG	RAW画像とJPEG画像（[ファイン]または[スタンダード]）を同時に記録できます。※1
[RAWスタンダード]		
[RAW]	RAW	RAW 画像のみを記録できます。※2

※ 1 本機で RAW 画像を消去すると、JPEG 画像も同時に消去されます。
※ 2 各画像横縦比の最大記録画素数（[L]）に固定されます。

お知らせ

- RAWファイルを利用すると、より高度な画像の編集が可能です。編集した画像はパソコンなどで表示できるファイル形式（JPEG、TIFFなど）で保存できます。
  RAWファイルの現像や編集には、CD-ROM（付属）のソフトウェア（市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」）をお使いください。
- 以下の効果は、RAW 画像には反映されません。
  - 撮影メニューの[フォトスタイル]、[デジタル赤目補正]、[超解像]、[iDレンジコントロール]、[色空間]
  - シーンモード
  - クリエイティブコントロールモード
- [RAW]は[RAWファイン]または[RAWスタンダード]よりも小さいデータ容量で記録できます。
- [RAW]で撮影された画像には、[プリント設定]および[お気に入り]は設定できません。
- 以下の場合、[RAWファイン]、[RAWスタンダード]または[RAW]に設定できません。
  - [連写速度]を[SH]に設定時
  - ホワイトバランスブラケット設定時

個人認証

お知らせ

- 詳しくは、87ページをお読みください。

撮影メニューの設定方法はP43へ

FOCUS フォーカスモード

[AFS]、[AFC]、[MF]

お知らせ

- 詳しくは、27ページをお読みください。

Q-AF クイックAF

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときなどに有効です。

使えるモード: P A S M C1 C2 SCN

[OFF]、[ON]

お知らせ

- バッテリーの消耗は早くなる場合があります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- オートフォーカスモードの[+]で拡大表示中は、[クイック AF] は働きません。
- プレビューモード時は、[クイックAF]は働きません。
- 低照度時は、[クイックAF]は働きません。
- [クイックAF]は、オートフォーカスのできないレンズおよび、コントラストAF非対応フォーサーズマウント規格レンズでは働きません。

測光モード

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

使えるモード: P A S M C1 C2

[(・)](マルチ測光)	画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをおすすめします。
[( )](中央重点測光)	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
[・](スポット測光)	スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。 スポット測光ターゲット

フラッシュ

[⚡A]、[⚡A◎]、[⚡]、[⚡◎]、[⚡S]、[⚡S◎]

お知らせ

- 詳しくは、55ページをお読みください。

撮影

撮影メニューを使う（つづき）

デジタル赤目補正

赤目軽減（[ ]、[ ]、[ ]）選択時にフラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

使えるモード： P A S M C1 C2 SCN

[OFF]、[ON]

お知らせ

- オートフォーカスモードが[ ]で顔認識しているときのみ働きます。
- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。
- [ON]に設定すると、アイコンに[ ]が表示されます。

フラッシュシンクロ

後幕シンクロとは、車など動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。

使えるモード： P A S M C1 C2 SCN

[先幕（さきまく）]	一般的なフラッシュ撮影の方法です。
[後幕（あとまく）]	被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。

お知らせ

- 通常は[先幕]に設定してください。
- [後幕]に設定すると、画面のフラッシュアイコンに[2nd]が表示されます。
- フラッシュシンクロの設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。（P140）
- シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。
- [後幕]設定時は、[ ]、[ ]、[ ]に設定できません。
- シーンモードでは、[背景ボケ]でのみ設定できます。

フラッシュ光量調整

撮影した写真が明るすぎたり、暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整してください。

使えるモード： P A S M C1 C2 SCN

お知らせ

- −2 EV から+2 EVの範囲で、1/3 EVごとに調整できます。
- フラッシュ発光量を調整しない場合は、“0 EV”を選んでください。
- フラッシュ発光量が調整されているときは、画面のフラッシュアイコンに[+]または[−]が表示されます。

撮影メニューの設定方法はP43へ

I.R超解像

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある画像を撮影することができます。

使えるモード： P A S M C1 C2

[OFF]、[弱]、[中]、[強]、[拡張]

お知らせ

- [拡張]は、より解像感を高めた自然な画像を撮影できます。
- [拡張]使用時は連写や連続撮影の速度が遅くなります。
- 動画撮影時は[拡張]は[弱]に変わります。

iDレンジコントロール

背景と被写体の明暗差が大きい場合など、撮影状況に合わせて、コントラストや露出を自動的に補正します。

使えるモード： P A S M C1 C2

[OFF]、[弱]、[中]、[強]

お知らせ

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- [iDレンジコントロール]有効時には、画面の[i]が黄色になります。
- [弱]、[中]、[強]は効果の最大範囲を表します。

ISO感度上限設定

被写体の明るさに応じて、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。

使えるモード： P A S C1 C2

[OFF]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]

お知らせ

- ISO感度が [AUTO] または[iISO]時に働きます。
- 動画撮影時は働きません。

ISO感度ステップ

[ISO160]～[ISO6400] までのISO感度の設定を、1/3 EVごとの設定値に変更します。

使えるモード： P A S M C1 C2 SCN

[1/3 EV]	[160]、[200]、[250]、[320]、[400]、[500]、[640]、[800]、[1000]、[1250]、[1600]、[2000]、[2500]、[3200]、[4000]、[5000]、[6400]
[1 EV]	[160]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]

お知らせ

- [1/3 EV]から[1 EV]に設定を変更すると、ISO感度は[1/3 EV] 時に選んでいた設定値に最も近い値になります。（もう一度[1/3 EV]に変更した場合、設定値は戻りません。[1 EV]時に選んでいた設定値のままになります）

撮影メニューを使う（つづき）

NR 長秒ノイズ除去

夜景撮影など、シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを、カメラが自動的に取り除き、きれいな画像を撮影することができます。

使えるモード： P A S M C1 C2 SCN

[OFF]、[ON]

お知らせ

- ノイズ除去中は、信号処理のために選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。
- シャッタースピードを遅くして撮影する場合は、三脚の使用をおすすめします。
- 動画撮影時は働きません。
- [連写速度]を[SH]に設定時は使えません。

【 】シェーディング補正

レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影することができます。

使えるモード： P A S M C1 C2 SCN

[OFF]、[ON]

お知らせ

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高い ISO 感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。
- 以下の場合は補正できません。
  - ・動画撮影時
  - ・動画撮影中の写真記録（[(動画優先)] 設定時のみ）
  - ・[連写速度]を[SH]に設定時
- 使用するレンズによっては補正できない場合があります。対応レンズについては、ホームページをご覧ください。

EXテレコン（写真）

[OFF]、[ON]

お知らせ

- 詳しくは、54ページをお読みください。

デジタルズーム

[OFF]、[2×]、[4×]

お知らせ

- 詳しくは、54ページをお読みください。

撮影メニューの設定方法はP43へ

連写速度

[SH]、[H]、[M]、[L]

お知らせ

● 詳しくは、59ページをお読みください。

オートブラケット

[/ 設定]、[補正幅]、[ブラケット順序]

お知らせ

● 詳しくは、61ページをお読みください。

セルフタイマー

[10]、[10]、[2]

お知らせ

● 詳しくは、63ページをお読みください。

色空間

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。

使えるモード: P A S M C1 C2 SCN

[sRGB]	sRGB色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。
[AdobeRGB]	AdobeRGB色空間に設定します。 AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも色再現の範囲が広いため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

お知らせ

● 色空間の設定によって、撮影した画像のファイル名は以下のように変わります。

P1000001.JPG
P : sRGB
_ : AdobeRGB

● AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、sRGBに設定してください。
● 動画撮影時は、[sRGB]に固定されます。

手ブレ補正

[OFF]、[ ]、[ ]

お知らせ

● 詳しくは、53ページをお読みください。

撮影

動画撮影メニューを使う

- [フォトスタイル]、[フォーカスモード]、[測光モード]、[iDレンジコントロール]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
  ・詳しくは、撮影メニューの同じ項目をお読みください。

撮影モード

動画のデータ形式を設定します。

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

[AVCHD]：
- ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。高精細な動画を長時間記録できます。
- AVCHD対応機器にカードを入れて、そのまま再生できます。詳しくは、お使いの機器の説明書で対応を確認してください。
- SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。

[MOTION JPEG]：
- パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。小さな画像サイズでも記録できるので、メモリーカードの容量が残り少ないときや、あとでパソコンからメールに添付するときなどに便利です。
- SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。

画質設定

記録する動画の画質を設定します。

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

[AVCHD]を選んだ場合

項目	記録画素数 / ビットレート	コマ数	画像横縦比
[FSH]	1920×1080画素 / 約 17 Mbps	60i(センサー出力 30コマ/秒)	16:9
[SH]	1280×720画素 / 約 17 Mbps	60p(センサー出力 30コマ/秒)	

- 「ビットレート」とは一定時間あたりのデータの量で、この場合は数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate(可変ビットレート)の略で、撮影する被写体により、ビットレート(一定時間あたりのデータの量)が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
- [FSH]は[SH]よりも高解像度、高画質の動画を撮影できます。

[MOTION JPEG]を選んだ場合

項目	記録画素数	コマ数	画像横縦比
[HD]	1280×720画素	30 コマ/秒	16:9
[VGA]	640×480画素		4:3
[QVGA]	320×240画素		

お知らせ
- **[AVCHD]および[MOTION JPEG]で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。この場合は、本機で再生してください。AVCHD対応機器について、詳しくは下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

動画撮影メニューの設定方法はP43へ

写真撮影

[（動画優先）]、[（写真優先）]

お知らせ

- 詳しくは、86ページをお読みください。

AF連続動作

[OFF]、[ON]

お知らせ

- 詳しくは、36ページをお読みください。

EXテレコン（動画）

[OFF]、[ON]

お知らせ

- 詳しくは、54ページをお読みください。

風音低減

音声記録時の風雑音を記録しにくくします。

使えるモード: iA P A S M C1 C2 SCN

[OFF]、[弱]、[中]、[強]

お知らせ

- 風音低減を設定しているときは、通常と音質が異なります。

マイクレベル表示

マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。

使えるモード: P A S M C1 C2 SCN

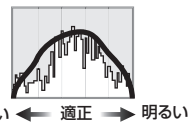
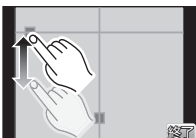
[OFF]、[ON]

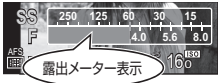
マイクレベル設定

音声入力のレベルを4段階に調整します。

使えるモード: P A S M C1 C2 SCN

フリッカー軽減

動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。

使えるモード: P A S M C1 C2

[OFF]、[1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120]

お知らせ

- [OFF]以外を選ぶと、動画撮影中のシャッタースピードが選択したシャッタースピードに固定されます。

カスタムメニューを使う

項目	設定・お知らせ
カスタムセット登録	[C1]、[C2-1]、[C2-2]、[C2-3] ● 詳しくは、85ページをお読みください。
DISP.(ディスプレイ)/Fn1(ファンクション)ボタン	● 詳しくは、30ページをお読みください。
Q.MENU(クイックメニュー)/Fn2(ファンクション)ボタン	● 詳しくは、45ページをお読みください。
Fn(ファンクション)ボタン設定	● 詳しくは、74ページをお読みください。
ヒストグラム ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。	[OFF] [ON]: ヒストグラムをドラッグ(P12)して、位置を設定することができます。 ● 撮影画面でも直接タッチ操作できます。 位置設定 終了 ● ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状(グラフの分布)を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。 暗い ← 適正 → 明るい ● **撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。** ・露出補正時またはマニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが“0”以外のとき ・フラッシュが発光するとき ・フラッシュを閉じているときに、適正露出にならないときや、暗いところで液晶モニター/ファインダーの明るさが正確に表示できないとき ● 撮影時のヒストグラムは目安です。 ● パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。
ガイドライン表示 撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。	[OFF]、[⊞]、[⊠] [⊞]: ガイドライン上の[■]をドラッグ(P12)して、位置を設定することができます。 ● 画面の端など、タッチ操作でガイドラインを移動しにくいときは、カーソルボタンを使って位置を設定してください。 ● 撮影画面でも直接タッチ操作できます。 終了 ● 被写体を交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

カスタムメニューの設定方法はP43へ

項目	設定・お知らせ
ハイライト表示 オートレビューまたは再生時に、白とびの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。	[OFF]、[ON] ● 白とびが起こっている場合は、ヒストグラム(P102)を参考に、露出をマイナス方向に補正して(P58)再度撮影することをおすすめします。 ● フラッシュ撮影時、被写体からの距離が近すぎると白とびが起きる場合があります。このとき、ハイライト表示を[ON]に設定していると、フラッシュ光が当たったところが白とびとなって、黒と白の点滅で表示されます。 撮影画像には影響されません。 ● マルチ再生(P38)、カレンダー再生(P39)、再生ズーム(P39)時は働きません。 ハイライト表示[ON] ハイライト表示[OFF]
露出メーター 露出メーターを表示するかしないかを設定します。	[OFF]、[ON] ● [ON]に設定すると、露出補正、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード操作時に[露出メーター]が表示されます。 露出メーター表示 ● 適正でない範囲が、赤色で表示されます。 ● [露出メーター]が表示されないときは、[DISP.]を押して液晶モニター/ファインダーの表示情報を切り換えてください。(P30) ● 約4秒間何も操作しないと[露出メーター]が消灯します。
AF/AEロック切換	[AE]、[AF]、[AF/AE] ● 詳しくは、75ページをお読みください。
AF/AEロック維持 ピントや露出を固定して撮影する際の[Fn1]ボタンのボタン動作を設定します。	[OFF]: [Fn1]ボタンを押している間だけピントや露出が固定されます。(P75) [Fn1]ボタンを離すと、ロックが解除されます。 [ON]: [Fn1]ボタンを押したあと、離してもピントや露出が固定されます。 もう一度[Fn1]ボタンを押すと、ロックが解除されます。
ダイレクトフォーカス移動	[OFF]、[ON] ● 詳しくは、67、68ページをお読みください。
フォーカス優先 ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。	[OFF]: シャッターチャンスを優先させるため、シャッターボタンを全押しすると、撮影されます。 [ON]: ピントが合うまで撮影できません。 ● [OFF]に設定すると、[フォーカスモード]を[AFS]または[AFC]に設定していても、ピントが合っていない場合がありますのでお気をつけください。 ● 動画撮影時は働きません。

カスタムメニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ
半押しAF シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせるか合わせないかを設定します。	[OFF]、[ON]
AF補助光 暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。（撮影に応じて大きなAFエリアが表示されます）	[OFF]、[ON] ● 補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。 ・交換レンズ（H-FS014042）装着、W端時：約 1.0 m～約3.0 m ・交換レンズ（H-FS045200）装着、W端時：約 1.0 m～約2.5 m ● AF補助光は、画面中央部の被写体に対してのみ有効です。被写体を画面中央に配置してご使用ください。 ● レンズフードは外してください。 ● 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。 ● 交換レンズ（H-FS014042、H-FS045200）装着時、AF補助光が少しさえぎられますが、性能には問題ありません。 ● 径の大きなレンズをお使いの場合は、AF補助光が大きくさえぎられ、フォーカスが合いにくくなる場合があります。 ● シーンモードの[風景]、[建物]、[夜景]、[夕焼け]では、[OFF]に固定されます。
AF+MF 自動でピントを合わせたあと、手動でピントを合わせることができます。	[OFF] [ON]： AFロックしている間（フォーカスモードが[AFS]時のシャッターボタン半押し、または[AF/AEロック]でのAFロック）にフォーカスリングを回して手動でピントを微調整することができます。
MFアシスト	[OFF]、[ON] ● 詳しくは、68ページをお読みください。
MFガイド	[OFF]、[ON] ● 詳しくは、68ページをお読みください。
LVF表示スタイル ファインダーの表示方法を設定します。	[ ]：ファインダースタイル [ ]：液晶モニタースタイル
LCD表示スタイル 液晶モニターの表示方法を設定します。	[ ]：ファインダースタイル [ ]：液晶モニタースタイル

カスタムメニューの設定方法はP43へ

項目	設定・お知らせ
[iA]ボタン切換 インテリジェントオートモードに切り換えるときの[iA]ボタンの操作方法を設定します。	**[押して切換]**：[iA]ボタンを押すとインテリジェントオートモードに切り換わります。 **[押し続けて切換]**：[iA]ボタンをしばらく押したままにするとインテリジェントオートモードに切り換わります。
動画ボタン 動画ボタン動作の有効、無効を設定します。	[OFF]、[ON]
記録枠表示 動画撮影時の画角と、写真撮影時の画角を切り換えます。	[写真アイコン]：写真 [動画アイコン]：動画 ● 記録枠表示は目安です。
残枚数/残時間切換 記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。	**[写真:残枚数アイコン(残枚数)]**：写真の記録可能枚数を表示します。 **[動画:残時間アイコン(残時間)]**：動画の記録可能時間を表示します。
液晶優先再生	[OFF]、[ON] ● 詳しくは、12ページをお読みください。
タッチ設定 タッチ操作の有効、無効を設定します。[OFF]に設定時は画面に該当のタッチアイコンは表示されません。	**[タッチQ.MENU]**：[Q.MENU](タッチクイックメニュー)操作 [OFF]、[ON] **[ボケ味コントロール]**：[ボケ味アイコン](ボケ味コントロール)操作 [OFF]、[ON] **[タッチシャッター]**：[タッチシャッターアイコン](タッチシャッター)操作 [OFF]、[ON] **[タッチ DISP.]**：[DISP.](ディスプレイ)操作 [OFF]、[ON] **[タッチ AF]**：タッチした被写体にピントを合わせる操作 [OFF]、[ON] ● ボケ味コントロール機能を使えないレンズを使用した場合、[ボケ味コントロール]は選択できません。

撮影

カスタムメニューを使う（つづき）

カスタムメニューの設定方法はP43へ

項目	設定・お知らせ
タッチガイド 再生時にタッチパネルのガイド画面を表示するかしないかを設定します。	[OFF]、[ON]
タッチ再生送り速度 タッチ操作で画像を連続して送るときの画像送りの早さを設定します。	[H]：高速 [L]：低速
ダイヤル操作ガイド ダイヤル操作ガイドを表示するかしないかを設定します。	[OFF]、[ON] ● [ON]に設定すると、露出補正、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード設定の切り換えが可能な画面にダイヤル操作ガイドが表示されます。 ダイヤル操作ガイド
メニュー位置メモリー 最後に操作したメニューの位置を記憶します。	[OFF]、[ON]
ピクセルリフレッシュ 撮像素子と画像処理の最適化を行います。	● 撮像素子と画像処理の最適化については、お買い上げ時は最適な状態に設定されています。被写体にない明るい点が記録され、気になるときは、本機能をお使いください。 ● 終了後は、電源を入れ直してください。
センサークリーニング 撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。	● ダストリダクション機能は電源スイッチを[ON]にすると自動的に働きますが、特にごみが気になるときは、本機能をお使いください。（P158）
レンズ無しレリーズ 本体にレンズを取り付けていないときは、シャッターを切れないように設定することができます。	[OFF]：本体にレンズを取り付けていないときやレンズが正しく取り付けられていないときには、シャッターが切れません。 [ON]：レンズの装着にかかわらず、シャッターが切れます。 ● ライカレンズ用マウントアダプター（別売：DMW-MA2M、DMW-MA3R）使用時は [ON]に設定してください。

連写画像を見る・編集する

■ 連写グループについて

連写速度を[SH]に設定して連続撮影された画像は、連写アイコン[▭]が付いた連写グループとして、まとめて記録されます。

- グループ単位での消去や編集ができます。(例えば、[▭]が付いた連写グループを消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)

連写アイコン

1/98
9枚
P F3.5 60 ±0 160 AWB

お知らせ

- 写真の合計が、50000枚を超えると、それ以降に撮影された連写画像はグループ化されません。
- 他機で撮影した連写画像は、連写グループ画像として認識されない場合があります。
- 時計設定を行わずに撮影した場合、連写画像はグループ化されません。
- 1枚を残した状態で、それ以外の画像をすべて消去すると、連写グループではなく1枚の画像として扱われます。

連写画像を連続再生する

連写アイコン[▭]が付いた画像を選び、[▶]をタッチする

- カーソルボタンの▲を押しても再生することができます。
  再生中の画面右下の表示は、カーソルボタンの▲/▼/◀/▶に対応しています。

■ 連写グループ再生中の操作

▶/II	連続再生/一時停止	■	停止
◀◀	早戻し再生	▶▶	早送り再生
I◀◀	前の画像に戻す(一時停止中)	▶▶I	次の画像へ送る(一時停止中)

連続再生一時停止中にできる操作

- 連写グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。(マルチ再生、再生ズーム、画像の消去など)
- [MENU/SET]を押すと、連写再生メニューで連写グループ内の画像を1枚ずつ編集することができます。

1枚設定	連続再生中の連写グループ内の画像を1枚ずつ編集します。
複数設定	連続再生中の連写グループ内の画像を、複数選択して編集します。

以下の編集メニューが使えます。

・[タイトル入力](P113)、[文字焼き込み](P114)、[トリミング(切抜き)](P117)、[横縦比変換](P117)、[お気に入り](P119)、[プリント設定](P120)、[プロテクト](P121)

連写画像を見る・編集する（つづき）

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

連写画像を編集する

連写グループ内の画像を１枚ずつまたはグループ単位 (グループ内すべての画像) で編集できます。

- 以下の編集メニューが使えます。
- ･[タイトル入力](P113)、[文字焼き込み](P114)、[トリミング(切抜き)](P117)、[横縦比変換](P117)、[お気に入り](P119)、[プリント設定](P120)、[プロテクト](P121)、[認証情報編集](P122)

1 **通常再生中に [MENU/SET] を押し、再生メニューを表示する（P43）**

2 **▲/▼ で再生メニューを選び、[MENU/SET] を押す**

3 **▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す**

1枚設定	連写アイコン[ ]が付いた画像を選ぶと、グループ単位で一括編集できます。 ● 連写グループ以外の画像も編集できます。
複数設定	
連写内1枚設定	連写グループ内の画像を 1 枚ずつ編集します。 ● 連写アイコン[ ]が付いた連写グループのみが一覧表示されます。▲/▼/◀/▶ で連写グループを選び、[MENU/SET] を押して手順**4**へ進んでください。
連写内複数設定	

- ご使用の再生メニューにより、表示されない項目があります。
- [トリミング(切抜き)]、[横縦比変換]では連写グループ単位での一括編集はできません。

4 **画像を選び、編集を行う**

お知らせ

- 連写グループ内の画像に[お気に入り]、[プリント設定]、[プロテクト]設定をすると、グループの先頭画面の各アイコンに設定枚数([プリント設定]時は設定枚数と合計枚数)が表示されます。
- [文字焼き込み]、[トリミング(切抜き)]、[横縦比変換]を行った画像は、連写画像とは別に新規保存されます。

動画から写真を作成する

撮影した動画から、1 枚の写真を作成できます。

1 タッチ操作での動画再生中に、[▶/II] をタッチする

2 [📷] をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後は [■] をタッチして再生を終了してください。

お知らせ

- [記録画素数]は[S](2 M)、[画像横縦比]は[16:9]、[クオリティ]は [ ] で保存されます。
- 動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。
- [MOTION JPEG]の[VGA]、[QVGA]で撮影された動画からは、写真を作成できません。
- 他機で撮影された動画は写真で保存することができない場合があります。
- 動画から作成された写真には、再生時に[ ]が表示されます。

再生メニューを使う

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影した画像の回転表示やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

- [文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]または[横縦比変換]は、編集した画像を新しく作成します。カードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをおすすめします。

2D/3D切換

3D 画像の再生方法を切り換えることができます。

- 3D再生が可能な場合にのみ表示されるメニューです。詳しくは、125ページをお読みください。

スライドショー

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、写真のみや、動画のみ、3D写真のみなどをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。

1 再生メニューから[スライドショー]を選ぶ

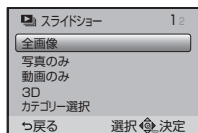
2 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

- [3D]の画像を3Dで再生する方法については、125ページをお読みください。
- [カテゴリー選択]時は、▲/▼/◀/▶ でカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押して手順**3**へ進んでください。カテゴリーの詳細については112ページをお読みください。

スライドショー 1 2
全画像
写真のみ
動画のみ
3D
カテゴリー選択
戻る 選択 決定

3 ▲で[開始]を選び、[MENU/SET] を押す

4 ▼を押してスライドショーを終了する

- スライドショーを終了すると、通常再生になります。

■ スライドショー中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

▲	再生/一時停止
▼	停止
◀	前の画像へ※
▶	次の画像へ※
後ダイヤル(左回し)	音量下げる
後ダイヤル(右回し)	音量上げる

※一時停止中および動画または連写グループ再生中のみ操作できます。

- [🗑/↩]を押すとメニュー画面に戻ります。

再生メニューの設定方法はP43へ

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

[効果]

画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。

[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]、[おまかせ]

- [アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- [おまかせ]は、[カテゴリー選択]選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにおすすめの効果で再生します。
- [動画のみ]または[カテゴリー選択]の[ ]のスライドショー時、[効果]は[OFF]に固定されます。
- 連写グループのスライドショー時は、[効果]を設定していても無効になります。
- 縦向きに表示された画像を再生するときは、一部の[効果]は動作しません。

[設定]

再生間隔やリピートを設定できます。

項目	設定
[再生間隔]	1 秒、2 秒、3 秒、5 秒
[リピート]	OFF、ON
[音設定]	[OFF]: 音を出しません。 [AUTO]: 写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。 [音楽]: 音楽を再生します。 [音声]: 音声(動画のみ)を再生します。

- [再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。
- 連写グループまたは動画のスライドショー時、[再生間隔]を設定していても無効になります。

再生モード

[通常再生]、[写真]、[AVCHD]、[MOTION JPEG]、[3D]、[カテゴリー再生]または[お気に入り再生]を選び、再生することができます。

1　再生メニューから[再生モード]を選ぶ

2　▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

- [3D]の画像を3Dで再生する方法については、125ページをお読みください。

上記手順2で[カテゴリー再生]選択時

3　▲/▼/◀/▶でカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押す

- 画像が見つかったカテゴリーのアイコンが青になります。
- 分類されるカテゴリーは以下のとおりです。

	シーンモードなどの撮影情報
	個人認証※
	人物、i人物、美肌、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん、i赤ちゃん
	風景、i風景、建物、夕焼け、i夕焼け
	夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、イルミネーション

	シーンモードなどの撮影情報
	スポーツ、パーティー
	赤ちゃん、i赤ちゃん
	ペット
	料理
	トラベル日付
	動画
	連写速度を[SH]で連続撮影した写真

※ ▲/▼/◀/▶で再生したい人物を選び[MENU/SET]を押して再生してください。

再生メニューの設定方法はP43へ

タイトル入力

撮影画像に文字(コメント)を入力しておくことができます。入力後、[文字焼き込み](P114)で撮影画像に焼き込むことができます。

1 再生メニューから[タイトル入力]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

- 連写アイコン[]が付いた画像を選ぶと、グループ単位で一括編集できます。[連写内1枚設定]、[連写内複数設定]については、108ページをお読みください。

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでにタイトルが入力されている画像には[]が表示されます。

[複数設定]選択時

❶ 画像を選び、[MENU/SET]で設定する(繰り返す)
- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。

❷ ◀を数回押して[実行]を選び、[MENU/SET]を押して実行する

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 文字を入力する(P91)

- 設定後はメニューを終了してください。

お知らせ

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字(コメント)をプリントすることができます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- 動画、クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像、他機で撮影された画像はタイトル入力できません。

再生メニューを使う（つづき）

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

1 再生メニューから[文字焼き込み]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

- 連写アイコン[]が付いた画像を選ぶと、グループ単位で一括編集できます。
  [連写内1枚設定]、[連写内複数設定]については、108ページをお読みください。

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に[]が表示されます。

[複数設定]選択時

❶ 画像を選び、[MENU/SET]で設定する（繰り返す）

- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。

❷ ◀を数回押して[実行]を選び、[MENU/SET]を押して実行する

[1枚設定]

◀/▶ で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶ で選びます。

4 ▲/▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

5 ▲/▼で焼き込む項目を選び、[MENU/SET]を押す

6 ▲/▼で設定を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定内容
[撮影日時]	[OFF] [日付]：年月日を焼き込みます。 [日時]：年月日時分を焼き込みます。
[名前]	[OFF] [](個人認証)：[個人認証]で登録された名前を焼き込みます。 [/](赤ちゃん/ペット)： シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定で登録された名前を焼き込みます。
[旅行先]	[OFF] [ON]：[旅行先]で設定された旅行先名を焼き込みます。
[トラベル日付]	[OFF] [ON]：[トラベル日付]で設定されたトラベル日付を焼き込みます。
[タイトル]	[OFF] [ON]：[タイトル入力]で入力されたタイトルを焼き込みます。

7 [/]を押す

8 ▲/▼で[実行]を選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

再生メニューの設定方法はP43へ

お知らせ
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
  - ・動画
  - ・時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
  - ・文字焼き込みされた画像
  - ・クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像
  - ・他機で撮影された画像

動画分割

撮影した動画を2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにおすすめです。**分割すると、元に戻すことができません。**

1 **再生メニューから[動画分割]を選ぶ**

2 **◀/▶で分割編集したい動画を選び、[MENU/SET]を押す**

3 **分割したい位置で▲を押す**
- もう一度▲を押すと、続きから動画が再生されます。
- 一時停止中に ◀/▶ を押すと、分割位置の細かい調整をすることができます。

4 **▼を押す**
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。
- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、動画が消失するおそれがあります。

お知らせ
- 動画の最初や最後のほうでは分割できない場合があります。
- 他機で撮影された動画は、[動画分割]できない場合があります。
- [MOTION JPEG]動画の場合、分割すると画像の順番が変わります。カレンダー再生(P39)や、[再生モード](P112)の[MOTION JPEG]で表示することをおすすめします。
- [AVCHD]動画の場合、画像の順番は変わりません。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。

再生メニューを使う（つづき）

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

リサイズ(縮小)　画像サイズ(画素数)を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。

1 再生メニューから[リサイズ(縮小)]を選ぶ

2 ▲/▼ で [1 枚設定] または [複数設定] を選び、[MENU/SET] を押す

3 画像、サイズを選ぶ

[1 枚設定]選択時

❶ ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET]を押す

❷ ◀/▶ でサイズを選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

[複数設定]選択時

❶ ▲/▼ でサイズを選び、[MENU/SET]を押す

❷ ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET]で設定する（繰り返す）

- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。

❸ ◀ を数回押して[実行]を選び、[MENU/SET]を押して実行する

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- リサイズ(縮小)を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はリサイズ(縮小)できない場合があります。
- 動画、連写グループ、文字焼き込みされた画像、クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像はリサイズ(縮小)できません。

再生メニューの設定方法はP43へ

✂トリミング(切抜き) 画像を切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 再生メニューから[トリミング(切抜き)]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[連写内1枚設定]を選び、[MENU/SET]を押す

- 連写グループは[1枚設定]では編集できません。[連写内1枚設定](P108)をご使用ください。

3 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

4 後ダイヤルと▲/▼/◀/▶で切り抜く部分を選ぶ

後ダイヤル(右回し): 拡大
後ダイヤル(左回し): 縮小
▲/▼/◀/▶: 移動

5 [MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- トリミング(切抜き)を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミング(切抜き)できない場合があります。
- 動画、文字焼き込みされた画像、クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像はトリミング(切抜き)できません。
- トリミング(切抜き)を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

横縦比変換

[16:9]で撮影した画像を、プリント用に[3:2]、[4:3]または[1:1]に変換することができます。

1 再生メニューから[横縦比変換]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[連写内1枚設定]を選び、[MENU/SET]を押す

- 連写グループは[1枚設定]では編集できません。[連写内1枚設定](P108)をご使用ください。

3 ▲/▼で[3:2]、[4:3]または[1:1]を選び、[MENU/SET]を押す

4 ◀/▶で[16:9]の画像を選び、[MENU/SET]を押す

5 ◀/▶で左右の位置を決定し、[MENU/SET]を押して決定する

- 縦に回転されている画像は▲/▼で枠を移動できます。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 横縦比変換を行うと、変換後の画素数が元の画像より大きくなる場合があります。
- 他機で撮影された画像は横縦比変換できない場合があります。
- 動画、文字焼き込みされた画像、クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像は横縦比変換できません。
- 横縦比変換した画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

画像回転／回転表示

本機を縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示させたり、画像を手動で90°ごとに回転させることができます。

画像回転（画像を手動で回転する）

1 再生メニューから［画像回転］を選ぶ

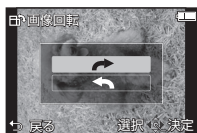
- ［回転表示］を［OFF］に設定すると、［画像回転］は選択できません。

2 ◀/▶ で画像を選び、［MENU/SET］を押す

- 連写グループは回転できません。

3 ▲/▼ で回転方向を選び、［MENU/SET］を押す

↷：時計回りに90°回転します。
↶：反時計回りに90°回転します。

- 設定後はメニューを終了してください。

回転表示（画像を自動で回転して表示する）

1 再生メニューから［回転表示］を選ぶ

2 ▼で［ON］を選び、［MENU/SET］を押す

- ［OFF］に設定すると、画像は回転されずに表示されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

お知らせ

- ［回転表示］は、縦位置検出機能(P26)に対応したレンズ(P14)を使用しているときのみ使えます。
- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。［Exifとは、一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです］
- 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。
- マルチ再生時は、回転表示されません。
- 本機の上下を逆にして撮影した画像は回転表示されません。

再生メニューの設定方法はP43へ

★お気に入り

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。([お気に入り再生])
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。([★以外全消去])

1　再生メニューから[お気に入り]を選ぶ

2　▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す
- 連写アイコン[]が付いた画像を選ぶと、グループ単位で一括編集できます。
[連写内1枚設定]、[連写内複数設定]については、108ページをお読みください。

3　画像を選び、[MENU/SET]で設定する
- すでにお気に入りが登録されている画像には[★]が表示されます。

[複数設定]選択時
- この手順を繰り返します。
- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

▲/▼/◀/▶で選びます。

■[お気に入り]設定を全解除する

1　再生メニューから[お気に入り]を選ぶ

2　▲/▼で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。
- [再生モード]を設定中は、[全解除]を選択できません。

お知らせ
- 999枚まで設定できます。
- 他機で撮影された画像では、[お気に入り]設定ができない場合があります。
- [クオリティ]を[RAW]にして撮影された画像は、お気に入りに設定できません。

再生メニューを使う（つづき）

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。

1　再生メニューから[プリント設定]を選ぶ

2　▲/▼ [１枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

- 連写アイコン[ ]が付いた画像を選ぶと、グループ単位で一括編集できます。
  [連写内１枚設定]、[連写内複数設定]については、108ページをお読みください。

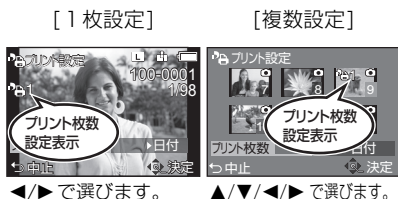
3　画像を選び、[MENU/SET]を押す

4　▲/▼ でプリント枚数を設定し、[MENU/SET]で決定する

- [複数設定]選択時は、手順**3**、**4**を繰り返してください。
- 設定後はメニューを終了してください。

[１枚設定]

◀/▶ で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶ で選びます。

■ [プリント設定]を全解除する

1　再生メニューから[プリント設定]を選ぶ

2　▲/▼ で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、▶ を押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

お知らせ

- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。
- 動画、[クオリティ]を[RAW]にして撮影された画像は、プリント設定できません。

再生メニューの設定方法はP43へ

プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

1 **再生メニューから[プロテクト]を選ぶ**

2 **▲/▼ [1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す**

- 連写アイコン[ ]が付いた画像を選ぶと、グループ単位で一括編集できます。[連写内1枚設定]、[連写内複数設定]については、108ページをお読みください。

3 **画像を選び、[MENU/SET]で設定する**

[複数設定]選択時

- この手順を繰り返します。
- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[1枚設定]

◀/▶ で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶ で選びます。

■ [プロテクト]設定を全解除する

1 **再生メニューから[プロテクト]を選ぶ**

2 **▲/▼で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す**

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 画像をプロテクトしなくても、カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

再生メニューを使う（つづき）

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

再生メニューの設定方法はP43へ

認証情報編集

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

1 再生メニューから［認証情報編集］を選ぶ

2 ▲/▼で［入換え］または［解除］を選び、[MENU/SET] を押す

3 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

- 連写アイコン[　]が付いた画像を選ぶと、グループ単位で一括編集できます。

4 ◀/▶ で人物を選び、[MENU/SET] を押す

5 （［入換え］選択時）▲/▼/◀/▶ で入れ換えたい人物の画像を選び、[MENU/SET] を押す

- 確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- 個人認証情報をすべて解除した画像は、［カテゴリー再生］の個人認証に分類されません。

3D写真を楽しむ

3D写真を撮る

本機に3D交換レンズ(別売:H-FT012)を取り付けると、迫力ある3D写真を撮影することができます。3D写真を見るには3D対応テレビが必要です。

3D写真

※イラストはイメージ図です。

1 本機に3D交換レンズを取り付ける

2 被写体に画面を合わせ、シャッターボタンを全押しして撮影する

- 3D撮影時は、ピントを合わせる操作は不要です。
- 3D交換レンズを装着して撮影した写真はMPO形式(3D)で保存されます。

3Dの写真を安全に見るために、撮影時には以下の点にお気をつけください。

・できるだけ本機を水平にして撮影してください。
・被写体に近づきすぎないでください。[3D交換レンズ(別売:H-FT012)装着時は、被写体から0.6 m 以上離れて撮影してください]
・乗車中や歩行中などは手ブレにお気をつけください。

お知らせ

- **3D写真の縦撮影には対応していません。**
- 安定した写真を撮影するために、三脚やフラッシュの使用をおすすめします。
- 被写体までの距離が0.6 m～約1 mでは、左右の視差が大きくなり、画面の両端では立体効果が得られない場合があります。
- 3D交換レンズ使用時はレンズが暗くなるため、自動設定されるISO感度が通常より大きくなる場合があります。
- 3D写真の記録可能枚数は、2 GBのカードを使用の場合、約 500 枚です。(画像横縦比[4:3]、クオリティ[3D]に設定時)
- 3D交換レンズの取扱説明書もお読みください。

3D写真を楽しむ（つづき）

■ 3D撮影時の制限事項

3D交換レンズ（別売：H-FT012）を使っての撮影時には、以下の機能が使えません。

（撮影機能）

- オートフォーカス/マニュアルフォーカス操作
- 絞り値設定
- ズーム操作
- 動画撮影※1
- クリエイティブコントロールモードの[ハイダイナミック]
- ボケ味コントロール機能

※ 1 動画ボタン、動画撮影メニューは無効または使用できなくなります。

（撮影メニュー）

- [記録画素数]※2/[クオリティ] ※3/[フォーカスモード]/[クイック AF]/[デジタル赤目補正]/[超解像]/[iD レンジコントロール]/[シェーディング補正]/[EXテレコン（写真）]/[デジタルズーム]/[連写速度]の[SH]/[手ブレ補正]

※2 以下のように固定されます。

画像横縦比	記録画素数
4:3	1824×1368画素
3:2	1824×1216画素
16:9	1824×1024画素
1:1	1712×1712画素

※3 3D交換レンズ装着時は、以下のアイコンが表示されます。

[3D]（MPO＋ファイン）： MPO画像とファイン相当のJPEG画像を同時に記録します。
[3D]（MPO＋スタンダード）： MPO画像とスタンダード相当のJPEG画像を同時に記録します。

（カスタムメニュー）

- [AF/AEロック切換]/[ダイレクトフォーカス移動]/[フォーカス優先]/[半押しAF]/[AF補助光]/[AF+MF]/[MFアシスト]/[MFガイド]/[動画ボタン]/[記録枠表示]/[残枚数/残時間切換]/[タッチ設定]の[ボケ味コントロール]、[タッチAF]

3D写真を見る

本機と3D対応テレビを接続して3D記録した写真を再生すると、迫力ある3D写真を楽しむことができます。
3D対応のSDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した3D写真を再生することもできます。

本機で撮影した3D写真を再生できる機器についての最新情報は、下記サポートサイトをご確認ください。 http://panasonic.jp/support/dsc/

準備：[HDMI出力解像度]（P51）を[AUTO]または[1080i]に設定する。
[3Dテレビ出力]（P51）を[3D]に設定する。

HDMIミニケーブルで本機と3D対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する（P127）

- [ビエラリンク]（P51）を[ON]に設定していてビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。詳しくは、128ページをお読みください。
- 3D記録された写真には、再生時のサムネイル表示に[3D]が表示されます。

■ 3D記録した写真のみを選んで3D再生する

再生メニューの[再生モード]で[3D]を選んでください。（P112）

■ 3D記録した写真のみをスライドショーで3D再生する

再生メニューの[スライドショー]で[3D]を選んでください。（P110）

■ 3D記録した写真の再生方法を切り換える

1 3D記録した写真を選ぶ

2 再生メニューから[2D/3D切換]を選び、[MENU/SET]を押す（P43）

- 2D（従来の画像）で再生されている場合は3Dに、3Dで再生されている場合は2Dに再生方法が切り換わります。
- 3D撮影写真の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合は、2Dで再生してください。

3D写真を楽しむ（つづき）

■ 3D写真では働かない/使用できない機能

- カスタムメニューの [ハイライト表示]※
- 再生ズーム※
- 消去※
- 再生メニューの編集機能([タイトル入力]/[文字焼き込み]/[動画分割]/[リサイズ(縮小)]/[トリミング(切抜き)]/[横縦比変換]/[画像回転]/[回転表示]/[お気に入り]※/[プリント設定]※/[プロテクト]※/[認証情報編集]※)

※ 2Dとして表示する場合は使用できます。

お知らせ

- 3Dで撮影した写真を本機の液晶モニター/ファインダーで再生した場合、2D(従来の画像)で再生されます。
- 3D記録した写真と2D記録した写真を切り換えて再生する場合は、数秒間黒画面が表示されます。
- 3D写真のサムネイルを選択時、または3D写真再生後のサムネイル表示は、再生開始や表示に数秒間かかります。
- 3D写真の視聴時、テレビ画面に近いと目の疲れが出ることがあります。
- テレビが3D写真に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください)

3D写真を残す

レコーダーやパソコンにも 3D写真を保存することができます。

■ レコーダーでダビングする

3Dに対応したレコーダーでダビングすると、3D写真は MPO 形式のまま記録されます。

- ダビングした写真が3D写真に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください)

3D記録した写真のダビングについて

ダビングできる機器についての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/dsc/

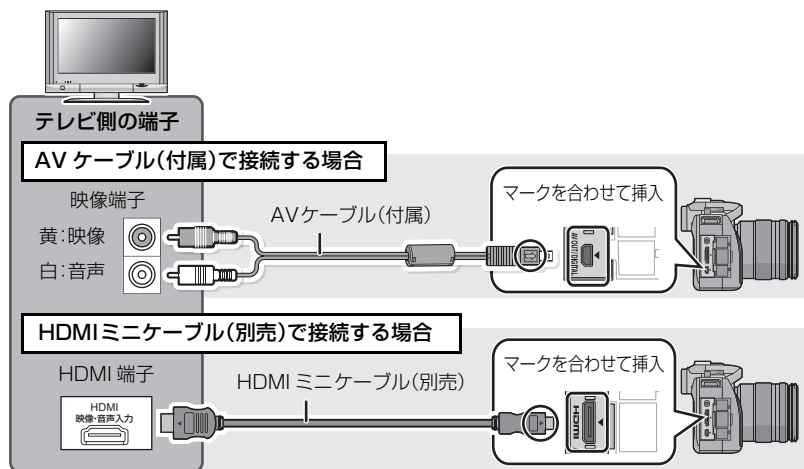
■ パソコンにコピーする

詳しくは、131ページの「「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンにコピーする」をお読みください。

テレビで見る

本機で撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

準備: 本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

1 本機とテレビをつなぐ

- AV ケーブル接続時は、[TV画面タイプ](P50)を確認してください。
- HDMI ミニケーブル接続時は、[HDMI出力解像度](P51)を確認してください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子の変形で故障の原因になります)
- HDMIミニケーブル(別売)を使って本機をHDMI対応のハイビジョンテレビと接続すると、より高画質な写真や動画を楽しむことができます。

2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶]を押す

- [ビエラリンク](P51)を[ON]に設定して、HDMIミニケーブルでビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。(P128)

お知らせ

- AV ケーブルで接続する場合は、付属のAVケーブル以外は使わないでください。
- HDMI ミニケーブルで接続する場合は、当社製HDMIミニケーブル(別売)をお使いください。
  - ・品番:RP-CDHM15(1.5 m)、RP-CDHM30(3.0 m)
- AV ケーブル接続時は、音声はモノラルで再生されます。
- HDMI ミニケーブル接続時は、音声はステレオで再生されます。
- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。

テレビで見る（つづき）

- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- AVケーブルとHDMIミニケーブルを同時に接続しているときは、HDMIミニケーブルからの出力が優先されます。
- USB接続ケーブルとHDMIミニケーブルを同時に接続しているときは、USB接続ケーブルでの接続が優先されます。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
- AVケーブル接続時はファインダー表示はできません。
- HDMI出力しているときは、液晶モニター/ファインダーに画像は表示されません。
- テレビの説明書もお読みください。

SDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した写真を再生することができます。
- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- [AVCHD]で撮影した動画は、AVCHDのロゴマークが付いている当社製テレビ(ビエラ)で再生することができます。その他の場合、動画を再生するときは、AVケーブル(付属)を使用し、本機をテレビに接続してください。
- 再生に対応したカードについては、テレビの説明書をお読みください。

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）を使う

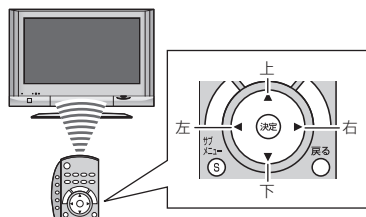
ビエラリンク（HDMI）とは
- 本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ビエラリンク（HDMI）はHDMI CEC (Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク（HDMI） Ver.5に対応しています。ビエラリンク（HDMI） Ver.5とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2010年12月現在)

準備：[ビエラリンク]（P51）を[ON]に設定する。

1 **HDMIミニケーブルで、本機とビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビ（ビエラ）をつなぐ（P127）**

2 **本機の電源を入れ、[▶]を押す**

3 **テレビのリモコンで操作する**
- 画面に表示される操作アイコンを参考に操作してください。

当社製テレビ(ビエラ)

お知らせ

- 動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で[音設定]を[AUTO]または[音声]に設定してください。
- 操作アイコン表示中にしばらく何も操作しないと、操作アイコンが非表示になります。
  また操作アイコン非表示中に以下のボタンのいずれかを押すと、操作アイコンが表示されます。
  ・▲/▼/◀/▶、[決定]、[サブメニュー]、[戻る]、[赤]、[緑]、[黄]
- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1以外に接続することをおすすめします。
- 本機の[ビエラリンク](P51)を[ON]に設定している場合は、本機のボタンを使っての操作は制限されます。
- 接続したテレビ側のビエラリンク(HDMI)が働くように設定しておいてください。
  (設定方法などはテレビの取扱説明書をお読みください)
- ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の[ビエラリンク](P51)を[OFF]に設定してください。

■ その他の連動操作について

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMIミニケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の[▶]を押すと、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)
- テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください)
- ビエラリンク(HDMI)が正しく働かない場合は、155ページをご確認ください。

お知らせ

- お使いのテレビがビエラリンク(HDMI)対応かわからないときは、接続した当社製テレビにビエラリンク(HDMI)のロゴマークが付いているかご確認いただくか、テレビの取扱説明書をお読みください。

- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 当社製HDMIミニケーブル(別売)をお使いください。
  ・品番:RP-CDHM15(1.5 m)、RP-CDHM30(3.0 m)
- パソコンやプリンターと接続しているときは、HDMIミニケーブルを接続してもビエラリンクが働きません。
- ビエラリンク動作時、本機の[HDMI出力解像度]は自動的に判別されます。

記録した写真や動画を残す

本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式(JPEG、RAW、MPO、AVCHD、Motion JPEG)によって他の機器への取り込み方法が異なります。お使いの機器により、以下の方法をお選びください。

SDカードをレコーダーに入れてダビングする

取り込み可能なファイル形式: 写真(JPEG、MPO)/動画(AVCHD)

当社製ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーに本機で撮影したSDカードを入れると、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスクにダビングすることができます。

本機で撮影したSDカードを直接入れてダビングできる機器、ハイビジョン(AVCHD)に対応した機器についての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/dsc/

- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

AVケーブルを使って再生映像をダビングする

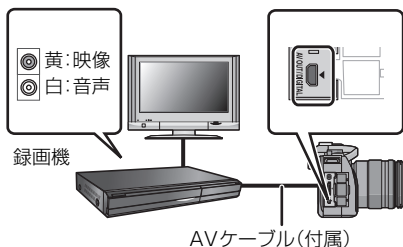
取り込み可能なファイル形式: 動画(AVCHD、Motion JPEG)

本機で再生した映像をブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオなどを使い、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスク、ビデオなどにダビングします。ハイビジョン(AVCHD)対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このとき映像はハイビジョンではなく、標準の画質になります。

1 本機と録画機をAVケーブル(付属)で接続する

2 本機で再生を始める

3 録画機で録画を始める

- 録画(ダビング)を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

お知らせ

- 横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の[TV画面タイプ](P50)を[4:3]に設定してダビングしてください。[16:9]に設定してダビングした動画を4:3のテレビで見ると、縦長の映像になります。
- ダビング時は本機の[DISP.]を押し、画面表示を消しておくことをおすすめします。(P40)
- ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンにコピーする

取り込み可能なファイル形式: 写真 (JPEG、RAW、MPO)/ 動画 (AVCHD、Motion JPEG)

CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンに写真や[AVCHD]、[MOTION JPEG]で撮影した動画を取り込んだり、[AVCHD]で撮影した動画から、従来の標準画質のDVDビデオを作成することなどができます。
またDVDへの画像書き込み、複数の写真をつなぎ合わせて1枚のパノラマ写真に合成したり、お好みの音楽や効果を付けてスライドショーを作成することなどができ、それらをDVDに保存することもできます。

1 お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールする
- 動作環境やインストールについて、詳しくは別冊の「パソコン接続ガイド」をお読みください。

2 本機とパソコンを接続する
- 接続のしかたについては、133ページ「パソコンと接続する」をお読みください。

3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする
- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF)をお読みください。

お知らせ
- 取り込んだ[AVCHD]動画に関するファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去、変更、移動をすると再生、編集などができなくなりますので、[AVCHD]動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。

パソコンと接続する

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。
- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。
- **SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。(撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください)カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。**
  http://panasonic.jp/support/sd_w/
- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと便利です。
- CD-ROM(付属)のソフトウェアや動作環境、インストールなど詳しくは、**別冊の「パソコン接続ガイド」**をお読みください。

■ 使用できるパソコン

	Windows			Mac
	98/98SE以前	Me/2000	XP/Vista/7	OS 9/OS X
PHOTOfunSTUDIOは使える?	使えません		使えます※1	使えません
[AVCHD]動画をパソコンに取り込める?	取り込めません		取り込めます※2	取り込めません
USB接続ケーブルを使ってデジタルカメラの写真、[MOTION JPEG]動画をパソコンに取り込める?	取り込めません	取り込めます		取り込めます(OS 9.2.2/OS X[10.1～10.6])

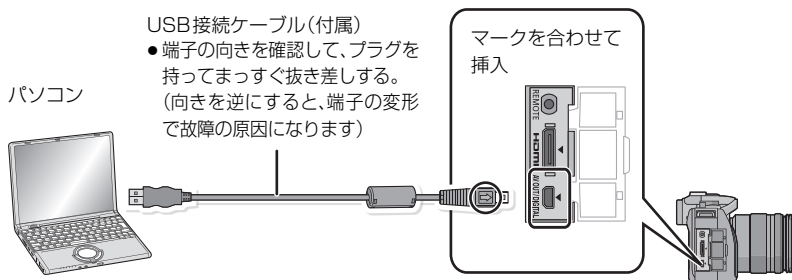
- Windows 98/98SE以前またはMac OS 8.x以前のパソコンは、USB接続はできませんが、SDメモリーカードリーダー/ライターが利用できれば取り込めます。

※1 Internet Explorer 6.0 以上がインストールされている必要があります。
お使いになる機能によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコンの環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※2 [AVCHD]動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

写真、[MOTION JPEG] 動画を取り込む（[AVCHD] 動画以外）

準備：本機の液晶モニターの液晶面を表にする。
　　　本機とパソコンの電源を入れる。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC8）を使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、電源表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。「安全にUSB接続ケーブルを取り外す」（P134）をお読みのうえ、USB接続ケーブルを抜いてください。データが破壊されるおそれがあります。

1 USB接続ケーブル（付属）を本機とパソコンに挿入する

- **付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。**

2 ▲/▼ で [PC] を選び、[MENU/SET] を押す

- セットアップメニューで[USBモード]（P50）を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にPC と接続します。
- [USBモード]を[PictBridge（PTP）]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。[キャンセル]（中止）を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外したあと、[USBモード] を[PC]に設定し直してください。

3 パソコンを操作する

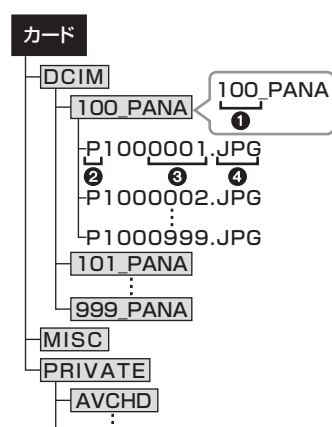
- 取り込みたい画像の入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップすると、パソコンに画像を保存することができます。

お知らせ

- AC アダプター（別売）を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊されるおそれがあります。

パソコンと接続する（つづき）

■ カードの中をパソコンで見る（フォルダー構造）

Windowsの場合：「コンピューター」にドライブ（「リムーバブルディスク」）を表示
Macの場合：　デスクトップ上にドライブ（「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」）を表示

DCIM：　画像
❶ フォルダー番号
❷ 色空間
P：　sRGB
_：　AdobeRGB
❸ ファイル番号
❹ JPG：　写真
MOV：　MOTION JPEG 動画
RW2：　RAW ファイルの画像
MPO：　3D画像
MISC：　DPOFプリント
お気に入り
AVCHD：　AVCHD動画

以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。
- セットアップメニューの[番号リセット]（P52）実行後
- 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合（他社のカメラで撮影した場合など）
- フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合

■ 安全にUSB接続ケーブルを取り外す

パソコンの画面でタスクトレイの「　」アイコンを選び、「DMC-G3の取り出し」をクリックする
- お使いのパソコンの設定によっては、このアイコンが表示されない場合があります。
- アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラの液晶モニターに[通信中]が表示されていないことを確認してから取り外してください。

■ PTPモードで接続する
（Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7/Mac OS Xのみ）

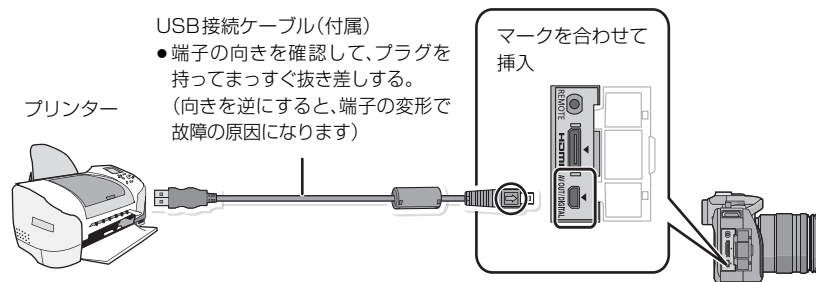
[USBモード]を[PictBridge（PTP）]にしてください。
- カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。
- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。
- PTPモードでは [AVCHD] で撮影された動画は再生できません。

プリントする

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備: 本機とプリンターの電源を入れる。
　　　あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC8）を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、電源表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。

1 USB接続ケーブル（付属）を本機とプリンターに挿入する

- プリンターと接続するとケーブル切断禁止アイコン[⊠]が表示されます。[⊠]表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。

2 ▲/▼で[PictBridge(PTP)]を選び、[MENU/SET]を押す

お知らせ

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- AC アダプター（別売）を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- 動画はプリントできません。

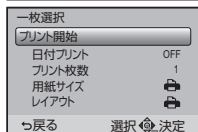
プリントする (つづき)

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

画像を選んで 1 枚ずつプリントする

1 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

2 ▲で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] を押す

- プリント開始前に設定できる項目については137ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

複数の画像を選んでプリントする

1 ▲を押す

2 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

- プリント確認画面が表示された場合は、[はい] を選んでプリントしてください。

項目	設定内容
複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す。 (もう一度 [MENU/SET] を押すと設定が解除されます) ● 選択が終了したら◀を数回押して [実行] を選び、[MENU/SET] を押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
プリント設定(DPOF)	[プリント設定] で設定(P120)された画像のみをプリントします。
お気に入り	[お気に入り] 設定(P119)された画像のみをプリントします。

3 ▲で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] を押す

- プリント開始前に設定できる項目については137ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

プリントの各種設定

「画像を選んで1枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[ ]にして、プリンター側で設定してください。(詳しくはプリンターの説明書をお読みください)
- [プリント設定(DPOF)]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

■ 日付プリント

項目	設定内容
OFF	日付プリントされません。
ON	日付プリントされます。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを [OFF] にしてください。
- 使用するプリンターによっては、画像横縦比を[1:1]に設定して撮影した画像の日付が、縦方向にプリントされる場合があります。

■ プリント枚数

プリントする枚数(最大999枚まで)を設定できます。

- 後ダイヤルでも設定できます。

■ 用紙サイズ

項目	設定内容
	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
16:9	101.6 mm×180.6 mm
A4	210 mm×297 mm

項目	設定内容
A3	297 mm×420 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm
カード	54 mm×85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

プリントする（つづき）

■ レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)

項目	設定内容
(プリンターアイコン)	プリンターの設定が優先されます。
(1面ふちなしアイコン)	1面ふちなし印刷
(1面ふちありアイコン)	1面ふちあり印刷

項目	設定内容
(2面アイコン)	2面印刷
(4面アイコン)	4面印刷

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ レイアウト印刷について

1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[(4面アイコン)]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[(4面アイコン)]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

お知らせ

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
- RAWファイルをプリントする場合、本機で同時に記録されたJPEG画像がプリントされます。JPEG画像がない場合はプリントできません。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

- **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

日付プリントを設定する

[プリント設定]のプリント枚数設定時にカーソルボタンの▶を押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。([個人認証]またはシーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]、または[タイトル入力]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って日付プリントすることができます。

※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

別売品のご紹介

品名	品番
バッテリーパック	DMW-BLD10
バッテリーチャージャー [変換プラグ(C タイプ)付き(P143)]	DMW-BTC7
DCカプラー※1	DMW-DCC9
ACアダプター※1	DMW-AC8
シャッターリモコン	DMW-RSL1
ズームアシストレバー	DMW-ZL1
本革バッグ	DMW-BAL1
ソフトバッグ	DMW-BAG1、DMW-BAG2、DMW-CZ18
ソフトケース	DMW-CG1※2、DMW-CG2※3
レンズキャップ	DMW-LFC52※4
レンズリアキャップ	DMW-LRC1※4
ボディキャップ	DMW-BDC1
三脚アダプター※5	DMW-TA1
フラッシュライト	DMW-FL220、DMW-FL360、DMW-FL500
ショルダーストラップ	DMW-SSTL1、DMW-SSTG1、DMW-SSTG2、 DMW-SSTG3、DMW-SSTG5
ロングショルダーストラップ※6	DMW-SSTG6
MCプロテクター	DMW-LMC52※4
NDフィルター	DMW-LND52※4
PLフィルター(サーキュラータイプ)	DMW-LPL52※4
HDMIミニケーブル	RP-CDHM15、RP-CDHM30
交換レンズ	H-VS014140、H-FS014045、H-FS045200、 H-F007014、H-ES045、H-H020、H-F008、 H-H014、H-FS100300
3D交換レンズ	H-FT012
マウントアダプター	DMW-MA1(フォーサーズマウント用)
ライカ用マウントアダプター	DMW-MA2M(ライカMマウント用) DMW-MA3R(ライカRマウント用)

※1 DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。
※2 交換レンズ(H-FS014042)装着時
※3 交換レンズ(H-FS045200)装着時
※4 交換レンズ(H-FS014042、H-FS045200)以外をお使いの場合は、お使いのレンズに対応した別売品をお使いください。
※5 取り付けたレンズが三脚の台座に接触する場合にお使いください。
※6 斜め掛けに適したロングタイプのショルダーストラップです。

別売品のご紹介（つづき）

- 別売品の最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。

http://panasonic.jp/support/dsc/
記載の品番は2011年6月現在のものです。変更されることがあります。

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

外部フラッシュ（別売）

外部フラッシュ（別売:DMW-FL220、DMW-FL360、DMW-FL500）を使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

準備:本機の電源スイッチを[OFF]にし、内蔵フラッシュを閉じる。

■ 専用フラッシュライト（別売:DMW-FL220）を使う場合

1 ホットシューに専用フラッシュライトを取り付け、本機と専用フラッシュライトの電源を入れる

2 撮影メニューから[フラッシュ]を選ぶ（P43）

3 ▲/▼ でモードを選び、[MENU/SET] を押す

- 外部フラッシュ接続中は以下のアイコンが表示されます。

⚡:外部フラッシュ強制発光
⚡S:外部フラッシュスローシンクロ

■ 本体（DMC-G3）との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合

- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本体側で設定されている絞り値とISO感度に合わせることのできる製品をお使いください。
- 絞り優先AEまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値とISO感度を外部フラッシュ側でも設定してください。（シャッター優先AEモードでは絞り値が変化するので適正露出が得られません。またプログラムAEモードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません。）

お知らせ

- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO感度を設定できます。
- 市販の外部フラッシュには、シンクロ端子が高圧のものや、極性が逆のものがあります。このようなフラッシュを使用した場合、本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。
- 専用フラッシュライト以外の通信機能のある外部フラッシュを使用すると正常に動作しないだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、使用しないでください。
- 外部フラッシュの電源スイッチが[OFF]でも、装着すると外部フラッシュモードになるものがあります。外部フラッシュを使用しないときは、外部フラッシュを外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- 外部フラッシュを装着すると置いたときに不安定になるため、撮影時は三脚の使用をおすすめします。
- 持ち運びするときは、外部フラッシュを取り外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落のおそれがありますので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 外部フラッシュ使用時にホワイトバランスを[⚡WB]に設定した場合、撮影結果によってはホワイトバランスを微調整してください。(P72)
- 広角時に近くで撮影すると、画面の下部がケラレる場合があります。
- 詳しくは、外部フラッシュの説明書をお読みください。

フィルター(別売)

MCプロテクター(別売)は、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。
NDフィルター(別売)は、色調に変化を与えずに、光量だけを1/8(3絞り分)に減少させることができます。
PLフィルター(別売)は、金属や球面以外(平らな非金属、水蒸気や空気中の見えない微粒子など)からの反射光をおさえ、コントラストを強調する写真を撮影することができます。

お知らせ

- 複数のフィルターを同時に取り付けないでください。
- フィルターを付けたまま、レンズキャップやレンズフードを取り付けることができます。
- フィルター以外のコンバージョンレンズなどを装着して使用することはできません。故障するおそれがあります。
- 詳しくは、各種フィルターの説明書をお読みください。

別売品のご紹介（つづき）

シャッターリモコン(別売)

シャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)を使用すると、三脚使用時に手ブレを防いだり、B(バルブ)撮影時や連写時にシャッターボタンを全押しした状態で固定することができます。本体のシャッターボタンと同様の働きをします。

お知らせ

- 以下の場合、シャッターリモコンでは操作できません。
  - ・スリープモードを解除するとき
  - ・動画を撮影開始 / 終了するとき
- 詳しくは、シャッターリモコンの説明書をお読みください。

ACアダプター(別売)/DCカプラー(別売)

ACアダプター(別売:DMW-AC8)を接続し電源コンセントにつなぐと、本機をパソコンやプリンターに接続するときに、バッテリーの消耗を気にせず使うことができます。ACアダプターを使用するには、DC カプラー(別売:DMW-DCC9)が必要です。

お知らせ

- ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書もお読みください。

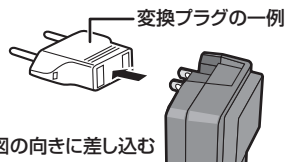
海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。

ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

■ 変換プラグの付けかた

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C,SE	オランダ	C,SE	ギリシャ	A,B, B3,C, SE	スイス	A,B, C,SE
スウェーデン	B,C, SE	スペイン	A,C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A,C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B,C	フランス	A,C, SE	ベルギー	B,C, SE	ロシア	A,C, SE				
アジア											
インド	B,BF, B3,C	インドネシア	B,B3, C,SE	シンガポール	B,BF, B3	タイ	A,BF, C	大韓民国	A,C, SE	台湾	A,C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF, C, SE	香港特別行政区	B,BF, B3,C	マカオ特別行政区	B,BF, B3,C	マレーシア	B,BF, B3,C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B, C,O
中南米											
アルゼンチン	BF,C, SE	プエルトリコ	A,BF, C	ブラジル	A,C, SE	メキシコ	A,C, SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF, B3	エジプト	BF,B3, C,SE	クウェート	B,B3, C	トルコ	A,B, C,SE	南アフリカ共和国	B,BF, B3,C	モロッコ	A,C, SE

タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

液晶モニター/ファインダーの表示

液晶モニター/ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

●画面は液晶モニターで表示画面を[ ](液晶モニタースタイル)に設定時の例です。

プログラムAEモード[P]時(お買い上げ時)

■撮影時

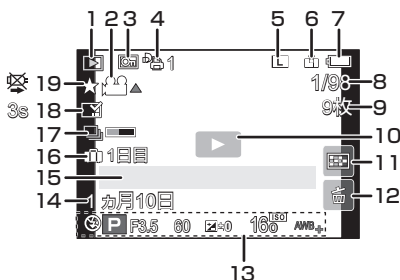
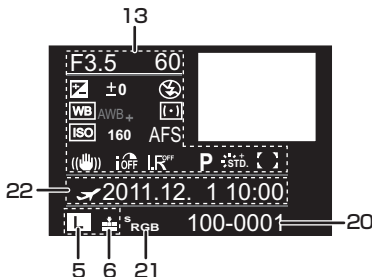
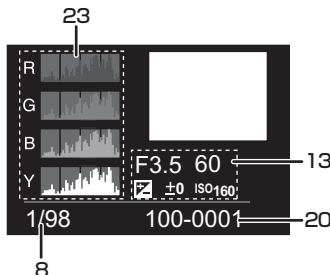
1 撮影モード(P25)
2 フラッシュモード(P55)
3 撮影モード(動画撮影時)(P100)
画質設定(P100)
4 記録画素数(P93)
5 クオリティ(P94)
6 手ブレ補正(P53)
手ブレ警告(P53):
7 連写(P59):
オートブラケット(P61):
セルフタイマー(P63):
8 写真撮影(P86)
9 バッテリー残量(P19)
10 タッチクイックメニュー(P45)※1
記録動作(赤点滅)/
フォーカス(P27)(緑点灯):●
11 タッチシャッター(P29)※1
12 ディスプレイ(P30)※1
13 記録可能枚数(P23)※2
14 ダイヤル操作ガイド(P106)
15 ISO感度(P73)
16 露出補正値(P58)/
明るさ(P33)/
マニュアル露出アシスト(P77)
17 シャッタースピード(P28)
18 絞り値(P28)
19 測光モード(P95)
20 オートフォーカスモード(P64)
21 フォーカスモード(P27)
22 露出メーター(P103)
23 AFエリア(P27、64)
24 カード(P22)(記録時のみ表示)/
記録経過時間(P36):XXmXXs ※3

撮影時（各種設定後）

25 カスタムセット(P84)
26 フラッシュ光量調整(P96)
27 後幕(P96)
28 EXテレコン(動画時)(P54)
29 EXテレコン(写真時)(P54)
30 ヒストグラム(P102)
31 デジタルズーム(P54)
32 風音低減(P101)
33 ボケ味コントロール(P34)
34 スポット測光ターゲット(P95)
35 セルフタイマー(P63)※6
36 ホワイトバランスブラケット(P72)
37 記録可能時間(P23)※2: 残XXmXXs ※3
38 ホワイトバランス微調整(P72)
39 ホワイトバランス(P70)/
　色合い(P33)：
40 現在日時/旅行先設定(P47)※4:
41 プログラムシフト(P35)
42 AEロック(P75)
43 個人認証(P87)
44 AFロック(P75)
45 マイクレベル表示(P101)
　月齢/年齢(P82)※5
　旅行先(P48)※4
46 同時記録表示(P86)
　名前(P82)※5
　トラベル経過日数(P48)※4
47 超解像(P97)
48 iDレンジコントロール(P97)
49 フォトスタイル(P92)

※1 液晶モニターにのみ表示されます。
※2 カスタムメニューの[残枚数/残時間切換]の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。
※3 h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です。
※4 電源を入れたとき/時計設定後/再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。
※5 シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん 2]や[ペット]で電源を入れた場合に約5秒間表示されます。
※6 カウントダウン中に表示されます。

液晶モニター/ファインダーの表示 (つづき)

再生時

詳細情報表示

ヒストグラム表示

■ 再生時

1 再生モード(P38)
2 動画再生(P41):▲/▲
連写再生(P107):▲
3 プロテクト(P121)
4 プリント枚数(P120)
5 記録画素数(P93)
撮影モード(動画撮影時)(P100)/
画質設定(P100):
6 クオリティ(P94)
7 バッテリー残量(P19)
8 画像番号/トータル枚数
9 連写枚数
動画記録時間(P41):XXhXXmXXs※1
10 再生(動画・連写画像)(P41、107)
11 マルチ再生(P38)
12 消去(P42)
13 撮影情報※2
14 月齢/年齢(P82)
15 名前※3(P82、89)
旅行先※3(P48)
タイトル※3(P113)
16 トラベル経過日数(P48)
17 情報取得中アイコン(P148)
18 文字焼き込み済み表示(P114)
再生経過時間(P41):XXhXXmXXs※1
19 お気に入り表示(P119)
ケーブル切断禁止アイコン(P135)
20 フォルダー・ファイル番号(P134)※2
21 色空間(P99)※4
22 撮影日時/ワールドタイム(P47)
23 ヒストグラム(P40)

※1 h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です。
※2 [AVCHD]で撮影した動画には表示されません。
※3 [タイトル]、[旅行先]、[名前](赤ちゃん/ペット)、[名前](個人認証)の優先順位で表示されます。
※4 撮影した動画には表示されません。

メッセージ表示

確認/エラー内容を液晶モニター/ファインダーに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから(P121)消去をしてください。
消去できない画像があります/この画像は消去できません	DCF規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P52)してください。
この画像には設定できません	DCF規格に準拠していない画像は[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[プリント設定]ができません。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか?	本機では使用できないフォーマットです。 ●別のカードを入れてお試しください。 ●パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P52)し直してください。 データは消去されます。
レンズが確認できません または ?C レンズ無しレリーズがオフになっています	●ライカレンズ用マウントアダプター(別売:DMW-MA2M、DMW-MA3R)使用時は、カスタムメニューの[レンズ無しレリーズ](P106)を[ON]に設定してください。
レンズが正しく装着されていません レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください	●レンズを一度外し、レンズ取り外しボタンを押さずに再度付け直してください。(P15) 再度電源を入れ直し、それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
レンズと通信できませんでした レンズとの接点が汚れていないかご確認ください	●レンズを本体から取り外し、レンズ側と本体側の接点を乾いた綿棒で軽くふいてください。再度レンズを取り付け、電源を入れ直し、それでも表示される場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です/このカードは使用できません	本機に対応したカードをお使いください。(P22) ● SDメモリーカード(8 MB～2 GB) ● SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB) ● SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)
カードを入れ直してください/別のカードでお試しください	●カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 ●miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。 ●別のカードを入れてお試しください。
リードエラー/ライトエラー カードを確認してください	●データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源スイッチを [OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを[ON]にして記録または読み込みしてください。 ●カードが破壊されている可能性があります。 ●別のカードを入れてお試しください。

メッセージ表示（つづき）

メッセージ	実行していただきたいこと
放送方式(NTSC/PAL)の異なるデータが存在するため、記録できません	●パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P52)してください。 ●別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	●[AVCHD]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードをお使いください。 また、[MOTION JPEG]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードをお使いください。 ●「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P52)することをおすすめします。 カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。 パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P52)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P52)
16:9TV用で出力します/ 4:3TV用で出力します	●[TV画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P50) ●USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。 USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P133、135)
情報取得中のため、編集操作はできません	パソコンや他機で画像の消去やファイル名の変更をしたカードを本機に入れると、自動的に新しい情報を取得して連写グループを再構成します。画像ファイルが多いと再生画面に情報取得中アイコン[ ]が長時間表示されることがあり、その間消去や再生メニューの使用はできません。 ●情報取得中に電源スイッチを[OFF]にした場合、それまでに情報を取得できた画像のみが連写グループとして保存されます。再度電源を入れると情報取得が継続して再開されます。

Q & A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法（P149～156）をお試しください。

それでも解決できない場合は、**セットアップメニューの［設定リセット］（P52）を行うと症状が改善する場合があります。**
これらの処置をしても直らないときは、173ページをお読みください。

■ バッテリー、電源について

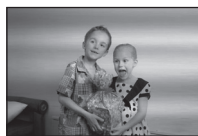
Q（質問）	A（回答）
電源スイッチを［ON］にしても動作しない。またはすぐに切れる。	●バッテリーが消耗しています。充電してください。 ●電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。 →［エコモード］（P49）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。
電源が勝手に切れる。	●ビエラリンク（HDMI）対応のテレビとHDMIミニケーブル（別売）で接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。 →ビエラリンク（HDMI）を使用しない場合は、本機の［ビエラリンク］を［OFF］に設定してください。（P51）

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
撮影できない。 シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。	●ピントは合っていますか？ →お買い上げ時は、［フォーカス優先］が［ON］に設定されているため、ピントが合うまで撮影されません。ピントが合っていない場合でもシャッターボタンの全押しで撮影されるようにしたいときは、［フォーカス優先］を［OFF］に設定してください。（P103）
撮影した画像が白っぽい。	●レンズや撮像素子に指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。 →汚れたときは、電源スイッチを［OFF］にし、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。撮像素子が汚れたときは、158ページをお読みください。
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	→露出が正しく補正されているか確認してください。（P58） ●不適切な状態でAEロック（P75）がかかっていませんか？
1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。	→ホワイトバランスブラケット（P72）の設定を解除してください。
ピントが合わない。	●ピントが合う範囲から外れています。（P28） ●手ブレや被写体ブレしています。（P53） ●［フォーカス優先］が［OFF］になっていませんか？（P103） この場合、［フォーカスモード］を［AFS］または［AFC］に設定していても、ピントが合っていないことがあります。 ●［半押しAF］が［OFF］になっていませんか？（P104） ●不適切な状態でAFロック（P75）がかかっていませんか？

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ 撮影について(つづき)

Q(質問)	A(回答)
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	●特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。 →本機を両手でしっかり持って撮影してください。(P26) →遅いシャッタースピードで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー(P63)を使って撮影してください。 ●手ブレ補正機能に対応したレンズをお使いですか？(P14)
ホワイトバランスブラケット撮影ができない。	●カードのメモリー残量はありますか？
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	●ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？ (お買い上げ時は、ISO感度が[AUTO]に設定されているため、室内などの撮影ではノイズが出ます) →ISO感度を低くしてください。(P73) →[フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整してください。(P92) →明るい場所で撮影してください。 →[長秒ノイズ除去]を[ON]に設定してください。(P98) ●[記録画素数](P93)または[クオリティ](P94)を低く設定していませんか？ ●[デジタルズーム]を設定していませんか？(P54)
蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。	●これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。 ●動画撮影中にちらつきや横しまが目立つ場合、[フリッカー軽減](P101)を設定すると、シャッタースピードを固定することで、ちらつきや横しまを軽減できます。 シャッタースピードは[1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120]から選択できます。
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	●蛍光灯やLEDなどの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。 ●極端に明るい場所や被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。
被写体にない明るい点が記録される。	●撮像素子の画素欠けの可能性があります。カスタムメニューの[ピクセルリフレッシュ](P106)を行ってください。

■ 撮影について(つづき)

Q(質問)	A(回答)
露出補正ができない。	●露出補正操作になっていますか? →後ダイヤルを押して露出補正操作に切り換えてください。(P58)
被写体をロックできない。(動体追尾できない)	●周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AF枠に合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分を追尾AF枠に合わせて設定してください。(P65)

■ 動画について

Q(質問)	A(回答)
動画が撮影できない。	●容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを[ON]にしたあとしばらくの間撮影できない場合があります。
動画撮影が途中で止まる。	●[AVCHD]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。 また、[MOTION JPEG]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。 ●使用するカードによっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 →「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合や、何度も記録・消去を繰り返したカードまたはパソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとり本機でフォーマット(P52)することをおすすめします。
動画撮影中に画面が暗くなる。	●動画撮影中、バッテリーの消耗を防ぐため時間経過により画面が暗くなることがありますが、撮影された動画に影響はありません。
一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される。	●動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。
被写体がゆがんで見える。	●本機の撮像素子にMOSを使用しているため、被写体がすばやく横切った場合、少しゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。
動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が録音される。	●静かな環境下での撮影や、使用するレンズによっては、絞りやフォーカスの動作音が動画に録音されることがあります。これは異常ではありません。動画撮影中のフォーカス動作は[AF連続動作](P36)で[OFF]に設定することができます。 ●動画撮影中にズームやボタン、ダイヤル操作などをすると、その動作音が記録される場合がありますのでお気をつけください。

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ レンズについて

Q(質問)	A(回答)
撮影された画像がゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	● 使用するレンズによっては、ズームの倍率によりレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります。また広角では遠近感が強調されるため、画面の周辺がゆがんだように写る場合もあります。これらは異常ではありません。
レンズを他のデジタルカメラに取り付けたときに、手ブレ補正をオフにできない、または手ブレ補正が働かない。	● 交換レンズ(H-FS014042)は、対応したカメラでのみ手ブレ補正機能が正しく働きます。 → 従来の当社製デジタルカメラ(DMC-GF1、DMC-GH1、DMC-G1)をご使用の場合は、撮影メニューの[手ブレ補正](P53)を[OFF]に設定できません。下記サイトにてデジタルカメラのファームウェアアップデートを行うことをおすすめします。 http://panasonic.jp/support/dsc/download/ → 他社製デジタルカメラに本レンズを装着時は、手ブレ補正機能は働きません。(2011年6月現在) 詳しくは、各製造元へお問い合わせください。

■ フラッシュについて

Q(質問)	A(回答)
フラッシュが発光しない。	● フラッシュを閉じていませんか？ → [⚡OPEN]レバーをスライドさせて、フラッシュを開いてください。(P55)
フラッシュが2回発光する。	● フラッシュは2回発光します。特に赤目軽減(P55)に設定している場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

■ 液晶モニター/ファインダーについて

Q(質問)	A(回答)
液晶モニター/ファインダーが明るすぎたり、暗すぎる。	→ 液晶モニター/ファインダーの明るさなどを正しく調整してください。(P49) ● [液晶モード]の設定を確認してください。(P49)
一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。	● シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化することで発生する現象です。故障ではありませんので、安心してお使いください。
液晶モニターに画像が出ない。	● ファインダー表示になっていませんか？ → [LVF/LCD]を押して、液晶モニター表示に切り換えてください。(P12)

■ 液晶モニター/ファインダーについて(つづき)

Q(質問)	A(回答)
[LVF/LCD]を押しても液晶モニターとファインダーが切り換わらない。	●パソコンやプリンターと接続しているときは、本機の画面は液晶モニター表示のみになります。
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	●これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	●暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。
ファインダー撮影で目を動かしたり、カメラを速く動かしたときに赤や緑、青のちらつきが見える。	●これは本機ファインダーの駆動方式の特徴であり異常ではありません。記録される画像には問題ありません。

■ 再生について

Q(質問)	A(回答)
再生した画像が回転しない/意図しない方向に回転して表示される。	●[回転表示](P118)を[OFF]にすると画像は回転せずに表示されます。 ●[画像回転](P118)で画像を回転することができます。 ●縦位置検出機能(P26)に対応したレンズ(P14)のみ[回転表示]を[ON]にすると画像が回転されて表示できます。
再生できない。 撮影した画像がない。	●[(▶)]を押しましたか？ ●カードは入っていますか？ ●カードに再生できる画像はありますか？ ●パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。 →パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをおすすめします。 ●[再生モード]を設定していませんか？ →[通常再生]に設定してください。(P112)
フォルダー・ファイル番号が[ー]で表示されたり、画面が黒くなる。	●規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？ ●撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？ →このような画像を消去するには、フォーマット(P52)してください。(他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください)
カレンダー再生で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	●本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？(P47) ●パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー再生時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ 再生について（つづき）

Q（質問）	A（回答）
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	● 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。 撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
画面に「サムネイル表示」と表示される。	● 他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	● デジタル赤目補正（[⚡A]、[⚡]、[⚡S]）が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。 → フラッシュを閉じるか、フラッシュモードを [⚡A]、[⚡] にする、または［デジタル赤目補正］を［OFF］にして撮影することをおすすめします。（P96）
本機で撮影した動画が他機で再生できない。	● 本機で撮影した動画（Motion JPEG）は他社製デジタルカメラでは再生できない場合があります。また、当社製デジタルカメラ（LUMIX）※においても再生できない場合があります。 ※ 2008年12月以前発売分、および2009年発売のFS、LSシリーズ ● [AVCHD]で撮影した動画は、AVCHDに対応していない機器では再生できません。AVCHD対応機器でも正しく再生できない場合があります。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	● 正しく接続されていますか？ → テレビの入力切換を外部入力にしてください。
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	● テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。
テレビで動画の再生ができない。	● カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ → AVケーブル（付属）またはHDMIミニケーブル（別売）をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。（P127）
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	→ 本機の［TV画面タイプ］を確認してください。（P50）

■ テレビ、パソコン、プリンターについて(つづき)

Q(質問)	A(回答)
ビエラリンク(HDMI)が働かない。	● HDMIミニケーブル(別売)で正しく接続されていますか?(P127) → HDMIミニケーブル(別売)が奥まで確実に入っていることを確認してください。 → 本機の[▶]を押してください。 ● 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか?(P51) → テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください) → 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。 → 本機の電源を入れ直してください。 → テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)
パソコンに接続して画像を転送できない。	● 正しく接続されていますか? ● パソコンが本機を正常に認識していますか? → 本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P50、133)
パソコンにカードが認識されない。	→ USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。
パソコンにカードが認識されない。(SDXCメモリーカードを使用している)	→ お使いのパソコンが SDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/ → 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。 → 液晶モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってからUSB接続ケーブルを抜いてください。
プリンターに接続して、プリントができない。	● PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。 → 本機の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。(P50、135)
プリントすると、画像の端が切れる。	→ トリミング(切抜き)や「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング(切抜き)または「ふちなし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの説明書をお読みください) → お店によっては、横縦比を[16:9]に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ その他

Q(質問)	A(回答)
電源[ON]時に、本体から音がする。	● ダストリダクション機能(P158)が動作する音で、故障ではありません。
レンズ部から音がする。	● 電源[ON]または[OFF]時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。 ● ズーム操作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がして、液晶モニター内の画像が急激に変わることがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
画像の一部が白と黒に点滅する。	● 白とびが起こっている部分を示す、ハイライト表示機能です。(P103) ● [ハイライト表示]が[ON]になっていませんか？
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	● 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(P104)が赤く点灯します。
AF補助光が点灯しない。	● カスタムメニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか？(P104) ● 明るい場所ではAF補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	● ご使用中、本機表面や液晶の裏側が多少熱くなることがありますが、性能･品質には問題ありません。
時計が合っていない。	● 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P24)
ファイル番号が連続して記録されない。	● 特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。(P134)
ファイル番号がさかのぼって記録される。	● 電源スイッチを[OFF]にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー･ファイル番号を記憶することができません。従って、再度電源スイッチを[ON]にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録される場合があります。
タッチしたものと違うものが選択される。	→タッチパネル調整(P51)を行ってください。

使用上のお願い

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出したりACアダプター（別売：DMW-AC8）、DCカプラー（別売：DMW-DCC9）を一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ズームリングやフォーカスリングに付いたほこりや汚れは、ほこりの出にくい乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

使用上のお願い（つづき）

■ 撮像素子のごみの付着について

本機はレンズ交換方式のため、レンズ交換の際に本体の内部にごみが入り込むことがあり、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。
本体の内部にごみやほこりが付着するのを防ぐために、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避け、レンズを外して本体を保管するときは、必ずボディキャップを付けてください。その際、ボディキャップのごみも必ず除去してください。

ダストリダクション機能について
本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は、電源スイッチを[ON]にすると自動的に働きますが、特にごみが気になる場合はカスタムメニューの[センサークリーニング]（P106）を行ってください。

撮像素子のごみの除去
撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいので、やむを得ずご自身でクリーニングされる場合は、以下のことを必ずお守りください。

- ブロワー（市販）で撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにお気をつけください。
- ブロワーをレンズマウントより中に入れないでください。
- ブロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、ブロワーが撮像素子に触れると傷が付きます。
- ブロワー以外のものは使用しないでください。
- ブロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口（P174～176）にお問い合わせください。

■ ファインダーのアイカップのお手入れについて

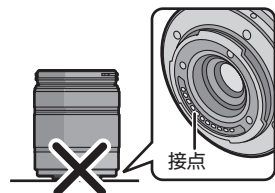
- アイカップは取り外しできませんので、汚れた場合などお手入れの際は、乾いた柔らかい布で軽くふき、外れないようお気をつけください。
- 万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

液晶モニター/ファインダーについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニター/ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニター/ファインダーの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズ表面に汚れ(水、油、指紋など)がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- レンズ取付部を下にして置かないでください。また、レンズの接点を汚さないようにお気をつけください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P143)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

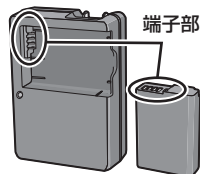
- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

使用上のお願い（つづき）

チャージャーについて

- ラジオ（特にAM受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約0.1 W の電力を消費しています）
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊されるおそれがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

個人情報について

赤ちゃんモード/個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。（P52）
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、設定はお買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、上記の「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。

長期間使用しないときは

●バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
（推奨温度：15 ℃～25 ℃、推奨湿度：40%RH～60%RHです）
●バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
●バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源スイッチが[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れています。これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
●長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをおすすめします。
●押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。
●**長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。**

画像データについて

●不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚/一脚について

●三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
●三脚/一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
●三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。
無理な力で回すと本機のねじを損傷するおそれがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
●本機に径の大きなレンズを取り付けた場合、三脚/一脚によっては台座にレンズが接触するものがあります。接触した状態でねじを締めると、本機やレンズを損傷することがありますので、三脚アダプター（別売：DMW-TA1）を取り付けてから三脚/一脚に装着することをおすすめします。
●三脚/一脚の説明書もよくお読みください。

ショルダーストラップについて

●本体に重いレンズ（約1 kg以上）を付けた場合、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。本体とレンズを持って持ち運びしてください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

使用上のお願い（つづき）

●本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
●本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

●G MICRO SYSTEMは、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠したLUMIXのレンズ交換式デジタルカメラシステムです。
●マイクロフォーサーズTM 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング（株）の日本･米国･EU･その他各国の商標または登録商標です。
●フォーサーズTM 及びフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング（株）の日本･米国･EU･その他各国の商標または登録商標です。
●SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
●"AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
●HDAVI ControlTM は商標です。
●Adobeは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
●WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
●Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
●その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
●AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
●個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
●ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

仕様

電源	DC 8.4 V
消費電力	3.1 W（液晶モニター撮影時）[交換レンズ（H-FS014042）装着時] 3.3 W（液晶モニター撮影時）[交換レンズ（H-FS045200）装着時] 1.9 W（液晶モニター再生時）[交換レンズ（H-FS014042）装着時] 2.1 W（液晶モニター再生時）[交換レンズ（H-FS045200）装着時]

カメラ有効画素数	1600万画素
撮像素子	4/3型 Live MOSセンサー　総画素数1668万画素、 原色カラーフィルター
デジタルズーム	最大4倍
EX テレコン （各画像横縦比設定の最大記録画素数以外）	ON/OFF単純拡大（他社レンズにも対応）
フォーカス	オートフォーカス/ マニュアルフォーカス 顔認識/追尾AF/23点/1点 /ピンポイント（タッチフォーカスエリア選択可能）
シャッターシステム	フォーカルプレーンシャッター
連写撮影：連写速度 **連写コマ数**	20コマ/秒(超高速)､4コマ/秒(高速)､3コマ/秒(中速)､2コマ / 秒(低速) 最大7コマ（RAWファイルあり） カードの空き容量に依存（RAWファイルなし）
ISO感度 **（標準出力感度）**	オート/インテリジェントISO/160/200/400/800/1600/3200/6400（1/3 EV ステップに変更可能）
最低被写体照度	約 9 lx(i ローライトモード時､シャッタースピード 1/30 秒) [交換レンズ（H-FS014042）装着時] 約 12 lx(i ローライトモード時､シャッタースピード 1/30 秒) [交換レンズ（H-FS045200）装着時]
シャッタースピード	B（バルブ）（最大約 120 秒間）、60 ～ 1/4000秒 動画撮影中の写真記録 動画優先時：1/30 ～ 1/16000秒 写真優先時：B（バルブ）（最大約 120 秒間）、60 ～ 1/4000秒
測光範囲	EV 0 ～ EV 18
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/フラッシュ/ホワイトセット1/ホワイトセット2/色温度設定
露出	プログラムAE（P）、絞り優先 AE（A）、シャッター優先 AE（S）、マニュアル露出（M）、オート 露出補正（1/3 EVステップ、−5 EV～+5 EV）
測光方式	マルチ測光/中央重点測光/スポット測光

仕様（つづき）

液晶モニター	3.0 型 TFT 液晶（3:2）（約46万ドット）（視野率約100%） タッチパネル
ファインダー	カラー液晶ビューファインダー（約144万ドット相当） （視野率約100%） （視度調整付き −4～+4diopter）
フラッシュ	内蔵ポップアップ式　GN10.5相当（ISO160・m） 撮影可能範囲：約50 cm～約6.7 m [交換レンズ（H-FS014042）装着、W端、[ISO AUTO]設定時] 撮影可能範囲：約1.0 m～約5.8 m [交換レンズ（H-FS045200）装着、W端、[ISO AUTO]設定時]
	オート/赤目軽減オート/強制発光/赤目軽減強制発光/ スローシンクロ/赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
フラッシュ同調速度	1/160 秒以下
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード
記録画素数 　**写真**	 画像横縦比[4:3]設定時 　4592×3448画素/3232×2424画素/2272×1704画素 画像横縦比[3:2]設定時 　4576×3056画素/3232×2160画素/2272×1520画素 画像横縦比[16:9]設定時 　4576×2576画素/3232×1824画素/1920×1080画素 画像横縦比[1:1]設定時 　3424×3424画素/2416×2416画素/1712×1712画素
画質設定 　**動画**	 AVCHD（音声付き） 　[FSH] 設定時　1920×1080画素（60i 記録※ / 約17 Mbps） 　[SH] 設定時　1280×720画素（60p 記録※ / 約17 Mbps） 　※イメージセンサーからの出力は 30 コマ/秒です MOTION JPEG（音声付き） 　[HD]設定時　1280×720画素（30コマ/秒） 　[VGA]設定時　640×480画素（30コマ/秒） 　[QVGA]設定時　320×240画素（30コマ/秒）

クオリティ（圧縮率）	RAW/RAW+ファイン/RAW+スタンダード/ファイン/ スタンダード/MPO＋ファイン/MPO＋スタンダード
記録画像ファイル形式 写真 音声付き動画	 RAW/JPEG（DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF 対応）/MPO AVCHD/QuickTime Motion JPEG
インターフェース デジタル アナログビデオ オーディオ	 USB 2.0（High Speed） NTSC コンポジット オーディオライン出力（モノラル）
端子 REMOTE AV OUT/DIGITAL HDMI	 Ø2.5 mm ジャック 専用ジャック（8pin） miniHDMI Cタイプ
寸法	約 幅 115.2 mm×高さ83.6 mm×奥行き 46.7 mm （突起部除く）
質量	約544 g [カード、交換レンズ (H-FS014042)、バッテリー含む] 約761 g [カード、交換レンズ (H-FS045200)、バッテリー含む] 約336 g（本体）
推奨使用温度	0 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%RH～80%RH
言語切換	なし（日本語のみ）

専用バッテリーチャージャー: DE-A93A

定格入力	100 V－240 V　50/60 Hz
入力容量	14 VA（100 V）－22 VA（240 V）
定格出力	DC 8.4 V　0.65 A

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BLD10

電圧/ 容量	7.2 V/1010 mAh

仕様（つづき）

交換レンズ　H-FS014042
(LUMIX G VARIO 14–42 mm/F3.5–5.6 ASPH./MEGA O.I.S.)

焦点距離	f=14 mm ～ 42 mm （35 mm フィルムカメラ換算：28 mm ～ 84 mm）
絞り形式	7枚羽根　円形虹彩絞り
開放絞り	F3.5（W 端時）～ F5.6（T 端時）
最小絞り値	F22
レンズ構成	9 群　12枚（非球面レンズ 1 枚）
撮影範囲	0.3 m ～∞（撮像面から）
最大撮影倍率	0.16×（35 mm フィルムカメラ換算：0.32×）
手ブレ補正	あり
O.I.S.スイッチ	なし（手ブレ補正の設定は撮影メニューで行います）
マウント	マイクロフォーサーズマウント
画角	75 °（W端時）～ 29°（T端時）
フィルター径	52 mm
最大径	約60.6 mm
全長	約63.6 mm（レンズ先端からレンズマウント基準面まで）
質量	約165 g

交換レンズ　H-FS045200
(LUMIX G VARIO 45–200 mm/F4.0–5.6/MEGA O.I.S.)

焦点距離	f=45 mm ～ 200 mm （35 mm フィルムカメラ換算：90 mm ～ 400 mm）
絞り形式	7枚羽根　円形虹彩絞り
開放絞り	F4.0（W 端時）～ F5.6（T 端時）
最小絞り値	F22
レンズ構成	13 群　16枚（非球面なし）
撮影範囲	1.0 m ～∞（撮像面から）
最大撮影倍率	0.19×（35 mm フィルムカメラ換算：0.38×）
手ブレ補正	あり
O.I.S.スイッチ	あり（ON/OFF切り換え）
マウント	マイクロフォーサーズマウント
画角	27 °（W端時）～ 6.2°（T端時）
フィルター径	52 mm
最大径	約70 mm
全長	約100 mm（レンズ先端からレンズマウント基準面まで）
質量	約380 g

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)**

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。	気をつけていただく内容です。

危険

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する

(※以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない

(※以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
・電源を切り、販売店にご相談ください。

チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流100 V～240 V以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

電源プラグは、正しく扱う

火災・感電・ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意

⚠警告

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。
- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。
- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。
- 本体やチャージャーには、金属部があります。

ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。
- 首に掛けての使用はしない

ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

⚠注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離（数cm）で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

⚠注意

3Dの撮影について

3D交換レンズを付けて最短撮像距離より近い被写体を撮影しない

3D効果がより強く見える場合があり、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 3D交換レンズ(別売:H-FT012)装着時の最短撮像距離は0.6 mです。

3D交換レンズを付けて撮影の際、本機の揺れに注意する

車に乗車中や歩行中などに撮影したブレた画像は、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 三脚の使用をおすすめします。

3Dの視聴について

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。

■近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する

■3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。

⚠注意

3Dの視聴について

3D撮影画像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

3D撮影画像を3D対応テレビで見る場合は、画面の有効高さの3倍以上離れて見る

（推奨距離の目安）:

42型　約 1.6 m 程度
46型　約 1.7 m 程度
50型　約 1.9 m 程度
54型　約 2.0 m 程度

推奨距離より近い距離でのご使用は、視覚疲労の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴年齢については、およそ 5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様がご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは・・・

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	（　　）	ー	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは・・・

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」（147～156ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ/レンズキット/ ダブルズームレンズキット/ ボディ
●品　番	DMC-G3K DMC-G3W DMC-G3
●故障の状況	できるだけ具体的に

●**保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**
保証期間：お買い上げ日から本体1年間
（但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

●**保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
部品代 部品および補助材料代
出張料 技術者を派遣する費用

※**補修用性能部品の保有期間** 8年
当社は、このデジタルカメラ/レンズキット/ダブルズームレンズキット/ボディの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた･お手入れなどのご相談は･･･

パナソニック LUMIX（ルミックス）ご相談窓口　365日 受付9時～20時
電 話 フリーダイヤル 携帯･PHS OK **0120-878-638** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は･･････････････

パナソニック 修理ご相談窓口
電 話 フリーダイヤル **0120-878-554** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 • 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示･提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検　**長年ご使用のデジタルカメラ/レンズキット/ダブルズームレンズキット/ボディの点検を！**

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やチャージャーが破損した ・その他の異常や故障がある

ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	住所
北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241 （函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高 山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

地区	拠点	電話番号	住所
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天 草	☎(0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　1210

さくいん

Q&A その他

さくいん（つづき）

Q&A
その他

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-638**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト

http://lumix.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

- 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　イメージング事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

VQT3N39
F0511HN0